

一般国道 4 4 2 号八女筑後バイパス

埋蔵文化財調査報告書 I

福岡県八女市大字室岡所在遺跡の調査報告書

八女市文化財調査報告書 第73集

2006

八女市教育委員会

一般国道442号八女筑後バイパス

埋蔵文化財調査報告書 I

福岡県八女市大字室岡所在遺跡の調査報告書

よんちようぼり
四丁堀遺跡

にしやま　うえ
西山ノ上遺跡

序

国道442号八女筑後バイパスは一般国道442号の混雑緩和のため、現国道の北側、筑後市前津から八女市納楚までの4.52Km区間に計画されたものです。

この事業に伴い平成13年度から、当教育委員会では事業地内の埋蔵文化財発掘調査を進めております。平成13年度は八女市室岡地区の遺跡を中心として発掘調査を実施しましたが、調査の結果、貴重な遺跡が発見され、この地域の古代文化を考える上で重要な成果をあげることができました。

発掘調査にあたりまして、終始ご協力いただきました福岡県、福岡県八女土木事務所、地元町内会、福岡県教育委員会、福岡県南筑後教育事務所をはじめ、関係各位に深く感謝申し上げます。

なお、本書が八女の古代文化研究の一助になれば幸いです。

平成18年3月31日

八女市教育委員会

教育長 中島 清志

例 言

- 1 一般国道442号八女筑後バイパス建設事業に伴う発掘調査は、福岡県八女土木事務所の依頼を受け、平成13年度を初年度として毎年継続して実施しているが、本書は、平成13年度に発掘調査を実施した遺跡の発掘報告書である。
- 2 発掘調査は八女市教育委員会が主体となり実施した。なお、出土遺物の整理は岩戸山歴史資料館で行い、遺物も同所で保管している。
- 3 遺構の実測は、基本的には国土地理院の設定する第Ⅱ座標系を基準としている。
- 4 本書に用いた写真の内、事業全体の航空写真は平成11年度に八女市が作成したもので、遺跡別の空中写真は(株)空中写真企画に委託して撮影したものである。なお、各遺跡、遺構、遺物の写真については各担当者が中心となり撮影した。
- 6 本書の執筆、編集は赤崎が行った。

本文目次

1 はじめに	1
2 位置と環境	2
3 発掘調査	5
(1) 四丁堀遺跡	5
① 発掘調査の概要	5
1 地点・遺構と遺物	5
2 地点・遺構と遺物	11
3 地点・遺構と遺物	14
(2) 西山ノ上遺跡	17
① 発掘調査の概要	17
遺構と遺物	17
4 まとめ	80

挿図目次

第1図	一般国道442号八女筑後バイパス四丁堀遺跡・西山ノ上遺跡と周辺の遺跡分布図 [1/25, 000]
第2図	一般国道442号八女筑後バイパス四丁堀遺跡1・2・3地点、西山ノ上遺跡調査位置図 [1/2, 500]
第3図	一般国道442号八女筑後バイパス四丁堀遺跡1・2・3地点遺構配置図 [1/400]
第4図	1地点 土壌 (SK12-19・21・25) 実測図 [1/60]
第5図	1地点 溝 (SD01) 土層実測図 [1/60]
第6図	1地点 溝 (SD02) 土層実測図 [1/60]
第7図	1地点 溝 (SD03) 土層実測図 [1/60]
第8図	1地点 溝 (SD04・06・07・08・11・12・13) 土層実測図 [1/60]
第9図	1地点 溝 (SD09) 不明遺構 (SX02) 土層実測図 [1/60]
第10図	1地点 溝 (SD10) 土層実測図 [1/60]
第11図	1地点 溝 (SD01・03) 出土土器実測図 [1/4]
第12図	1地点 溝 (SD10) 出土土器実測図 [1/2]
第13図	1地点 溝 (SD01) 出土土器実測図 [1/4]
第14図	2地点 土壌 (SK01) 実測図 [1/60]
第15図	2地点 土壌 (SK02・03) 実測図 [1/60]
第16図	2地点 不明遺構 (SX01・02) 実測図 [1/60]
第17図	2地点 溝 (SD01・02) 土層実測図 [1/60]
第18図	2地点 溝 (SD01) 出土土器実測図 [1/4]
第19図	2地点 溝 (SD01) 出土土器実測図 [1/4]
第20図	3地点 土壌 (SK17) 実測図 [1/60]
第21図	3地点 土壌 (SK01・05・06・14・16) 出土土器実測図 [1/4]
第22図	3地点 溝 (SD01) 土層実測図 [1/60]
第23図	3地点 溝 (SD01) 出土土器実測図 [1/4]
第24図	一般国道442号八女筑後バイパス 西山ノ上遺跡遺構配置図 [1/400]
第25図	堅穴住居 (SB02) 実測図 [1/60]
第26図	堅穴住居 (SB03) 実測図 [1/60]
第27図	堅穴住居 (SB07) 実測図 [1/60]
第28図	土壌 (SK01-16) 実測図 [1/60]
第29図	土壌 (SK18-31) 実測図 [1/60]
第30図	土壌 (SK32-38・40・41・43・44・47-51) 実測図 [1/60]
第31図	不明遺構 (SX01-06) 実測図 [1/60]
第32図	溝 (SD02) 土層実測図 [1/60]
第33図	掘立柱建物 (SB04) 実測図 [1/80]
第34図	掘立柱建物 (SB05・06・08・09) 実測図 [1/60]
第35図	掘立柱建物 (SB10・11) 実測図 [1/60]
第36図	掘立柱建物 (SB12) 実測図 [1/60]
第37図	土壌 (SK39・42・45・46・52-54) 実測図 [1/60]
第38図	井戸 (SE01) 実測図 [1/60]
第39図	溝 (SD01) 土層実測図 [1/60]
第40図	溝 (SD03・04) 土層実測図 [1/60]
第41図	溝 (SD05) 土層実測図 [1/60]
第42図	溝 (SD07)・櫓 (SA05) 実測図 [1/60]
第43図	近世墓 (K01-18) 実測図 [1/80]
第44図	堅穴住居 (SB02) 出土土器実測図 [1/4]
第45図	堅穴住居 (SB03・07) 出土土器実測図 [1/4]
第46図	土壌 (SK01・02) 出土土器実測図 [1/4]
第47図	土壌 (SK03・05・06) 出土土器実測図 [1/4]
第48図	土壌 (SK08・09・10・13・14・15) 出土土器実測図 [1/4]
第49図	土壌 (SK18) 出土土器実測図 [1/4]
第50図	土壌 (SK19・20・21) 出土土器実測図 [1/4]
第51図	土壌 (SK24・25・26) 出土土器実測図 [1/4]
第52図	土壌 (SK27・28・29・30) 出土土器実測図 [1/4]
第53図	土壌 (SK31・32・34・35・36・37) 出土土器実測図 [1/4]
第54図	土壌 (SK38・39) 出土土器実測図 [1/4]
第55図	土壌 (SK41・42・44) 出土土器実測図 [1/4]
第56図	土壌 (SK45・46・47・48・50) 出土土器実測図 [1/4]
第57図	溝 (SD01) その1 出土土器実測図 [1/4]
第58図	溝 (SD01) その2 出土土器実測図 [1/4]
第59図	溝 (SD02・03) 出土土器実測図 [1/4]
第60図	溝 (SD04) その1 出土土器実測図 [1/4]
第61図	溝 (SD04) その2 出土土器実測図 [1/4]
第62図	溝 (SD04) その3 出土土器実測図 [1/4]
第63図	溝 (SD05) その1 出土土器実測図 [1/4]
第64図	溝 (SD05) その2 (SD06) 出土土器実測図 [1/4]
第65図	井戸 (SE01) 出土土器実測図 [1/4]
第66図	土壌 (SK04・18・30・37・48) 溝 (SD01・02) 出土土器実測図 [1/2]
第67図	堅穴住居 (SB03) 土壌 (SK04・10・18・21・29・40) 溝 (SD01・02) B6KP.7 出土土器実測図 [1/2]
第68図	堅穴住居 (SB02・03) 土壌 (SK24) 溝 (SD04) 出土土器実測図 [1/3]
第69図	溝 (SD01・04・05) 井戸 (SE01) 出土土器実測図 [1/4]
第70図	堅穴住居 (SB02・03) 土壌 (SK40・46) 溝 (SD01・02・04・05) 井戸 (SE01) ビット 出土土器実測図 [1/4]
第71図	土壌 (SK39) 出土土器実測図 [1/2]

表目次

表1	1地点	SD01・03	出土土器観察表
表2	1地点	SD01・10	出土石製品観察表
表3	2地点	SD01	出土土器観察表
表4	2地点	SD01	出土石製品観察表
表5	3地点	SK01	出土土器観察表
表6	3地点	SD01	出土土器観察表
表7	SB02・03・07		出土土器観察表
表8	SK01・02・03・05・06・08		出土土器観察表
表9	SK08・09・10・13・14・15・18・19・20・21		出土土器観察表
表10	SK21・24・25・26・27・28・29・30・31・32・34・35・36・37		出土土器観察表
表11	SK37・38・39・41		出土土器観察表
表12	SK41・42・44・45・46		出土土器観察表
表13	SK46・47・48・50		出土土器観察表
表14	SD01		出土土器観察表
表15	SD01・02・03		出土土器観察表
表16	SD03・04		出土土器観察表
表17	SD04・05・06		出土土器観察表
表18	SE01		出土土器観察表
表19	SK04・18・30・37・48、SD01・02		出土土製品観察表
表20	SB03、SK04・10・18・21・29・40、SD01・02・05、ビット		出土石製品観察表
表21	SB02・03、SK24、SD04		出土石製品観察表
表22	SD01・04・05、SE01		出土石製品観察表
表23	SB02・03、SK05・46、SD01・02・04・05、SE01、ビット		出土石製品観察表
表24	SK39		出土鉄製品観察表

図版目次

図版1	(1) 一般国道442号八女筑後バイパス調査地航空写真 (H. 11年撮影)
図版2	(1) 一般国道442号八女筑後バイパス四丁堀遺跡 (1地点、3地点) 全景 東から (2) 一般国道442号八女筑後バイパス四丁堀遺跡 (2地点) 全景 北東から
図版3	(1) 四丁堀遺跡1地点西側半分 (2) 四丁堀遺跡3地点東側半分 (3) 1地点SD01 (4) 1地点SD01
図版4	(1) 1地点SD02、SX01 (2) 1地点SD03 (3) 1地点SD06 (4) 1地点SD06
図版5	(1) 1地点SD09 (2) 1地点SD09 (3) 1地点SD10 (4) 1地点SD11、12
図版6	(1) 2地点SK02、03 (2) 2地点SD02、SK02、03 (3) 2地点SD02 (4) 3地点SD01
図版7	(1) 一般国道442号八女筑後バイパス西山ノ上遺跡全景 西から
図版8	(1) 一般国道442号八女筑後バイパス西山ノ上遺跡全景 北から
図版9	(1) SB02 (2) SB02中央土塊 (3) SB03 (4) SB07
図版10	(1) SB04 (2) SB05 (3) SB06 (4) SB08
図版11	(1) SB09 (2) SB10 (3) SB11 (4) SB12
図版12	(1) SK01 (2) SK02 (3) SK03 (4) SK04
図版13	(1) SK05 (2) SK06 (3) SK07 (4) SK08
図版14	(1) SK09 (奥) SK11 (左) SK16 (右) (2) SK10 (3) SK12 (左) SK13 (右) (4) SK14
図版15	(1) SK15 (2) SK18 (3) SK19 (4) SK20
図版16	(1) SK21 (2) SK22 (3) SK23 (4) SK24
図版17	(1) SK25 (2) SK26 (3) SK29 (4) SK28、39、42、45、46
図版18	(1) SK31 (2) SK33 (3) SK35 (4) SK36
図版19	(1) SK37 (2) SK38 (3) SK40 (左) SK41 (右) (4) SK43
図版20	(1) SK44 (2) SK47 (3) SK48 (4) SK49
図版21	(1) SK50 (2) SK52 (3) SD01 (4) SD02
図版22	(1) SD03、04 西から (2) SD03、04 南東から (3) SD05 (4) SD06
図版23	(1) SD07、SA05 (2) SD07、SA05 (3) SE01 (4) SX01
図版24	(1) SX02 (2) SX02 (3) SX03 (4) SX05

1 はじめに

一般国道442号線は、大分県大分市を起点とし、竹田市、熊本県小国町を經由して、福岡県大川市に至る総延長174.6 Km（実延長148.6 Km）の広域幹線道路であり、九州を横断する有数の主要幹線道路として、福岡・熊本・大分三県の産業、経済、文化活動に重要な役割を果たしている。

八女市では、市内の長野地区から九州縦貫自動車道八女IC付近の室岡地区までの区間約10 Kmで、市街地の東西を横断しており、特に市内を南北に縦断する国道3号線との交差点付近では、慢性的な交通混雑が見られている。

八女筑後バイパスは、既に供用済みである八女都市計画道路（室岡平田線 L=1.82 km）と一体となって、八女筑後両市内の交通混雑の解消を目的とした延長L=4.52 Kmの4車線道路（一部区間2車線）であり、平成8年度から事業着手（暫定2車線）し、現在事業が実施されている。

しかし、事業予定地には室岡遺跡群など周知の遺跡のほか、数多くの文化財の包蔵が予想されたため福岡県土木事務所と協議を重ね、平成13年2月14日付けで発掘調査の依頼が提出され、平成13年2月14日付けで57条の通知が提出された。これを受けて八女市教育委員会では13年度事業として事業地内の発掘調査を実施する事とし、平成13年2月14日に委託契約を締結した。平成13年は八女市の室岡地区に所在する包蔵地の内、道路建設敷地内の2カ所の遺跡について発掘調査を実施した。

14年度以降、室岡地区、亀ノ甲地区、蒲原地区において、買取等の終了した地区から調査を進めており、17年度は、平成13年度に発掘調査を実施した遺跡について、出土遺物等の整理作業と報告書を作成した。

平成13年度及び平成17年度の調査関係者は次のとおりである。

平成13年度

八女市教育委員会

教育長	樋口 欽一
教育部長	石松 憲治
生涯学習課課長	諸富 和生
生涯学習課長補佐	佐野 正義
生涯学習課参事補佐	
兼社会教育係長	鹿野 耕一
文化財係長	赤崎 敏男
同係員	中川寿賀子
	大塚 恵治
同嘱託	山田 朗子

小杉山大輔（11月1日より）

平成17年度

八女市教育委員会

教育長	中島 清志
生涯学習課課長	下川文比古
生涯学習課長補佐	古庄 龍美
文化財係長	赤崎 敏男
同係員	中川寿賀子
	大塚 恵治

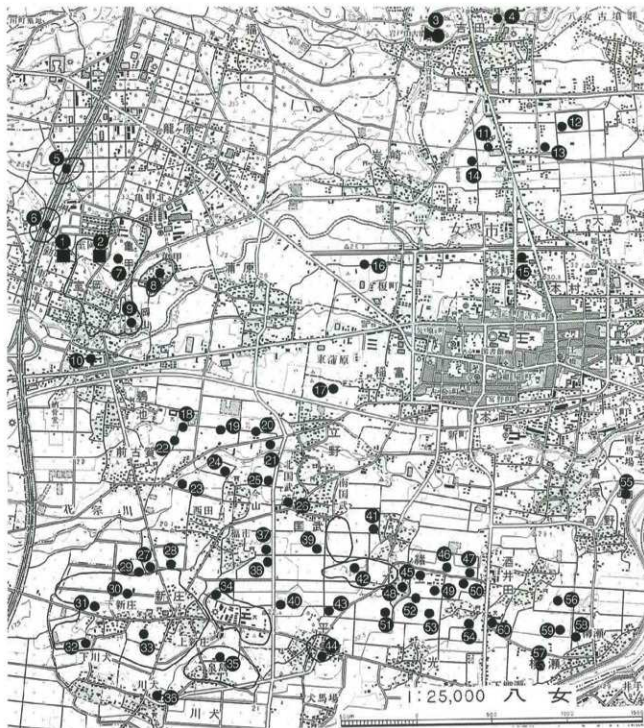
2 位置と環境

八女丘陵から派生した洪積台地の南端は、矢部川による侵食によって段丘が顕著であり、台地上では標高約33m、南側に広がる沖積地は標高約23mと、両者の間には10m近い高低差を生んでいる。台地の南東端には標高44.8mの、通称「岡山さん」があり、半島状に突き出た姿はひととき目立ち、山頂には平成4年に調査を行った円墳（岡山公園古墳）があり、山頂からは八女の平野部を一望に見渡すことができる。

一般国道442号八女筑後バイパスは、現国道の北側にはほぼ並行して八女市を東西に横断し、八女市納楚付近で現在の442号線と合流する。事業地西側の室岡付近では八女丘陵から派生した洪積台地が広がり、中位の段丘から低位の段丘を形成している。

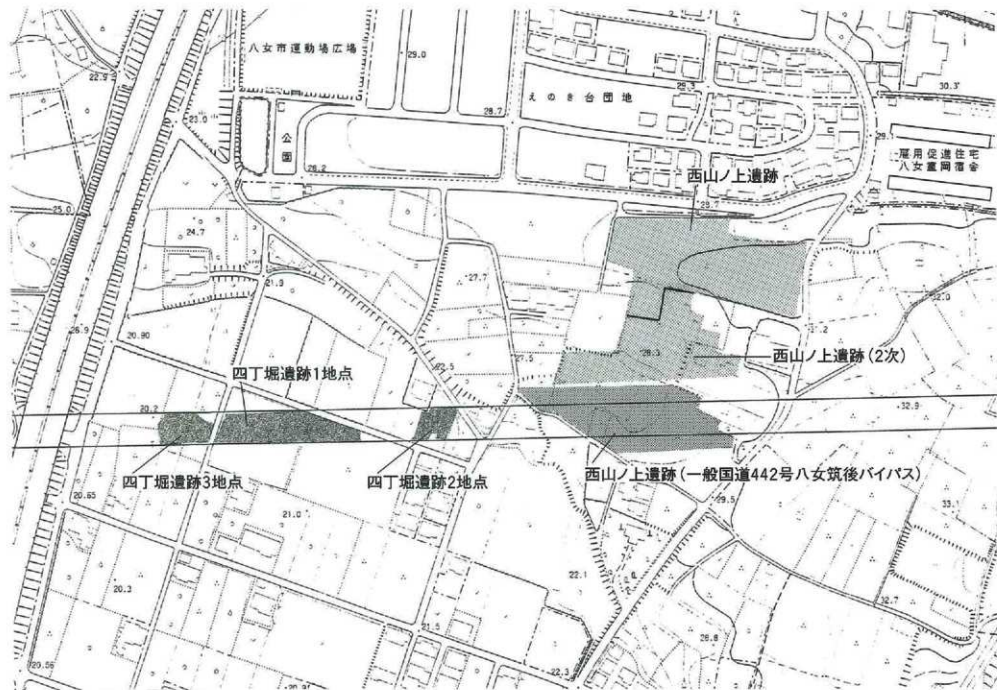
台地の北側には脊梁状に八女丘陵が東西に連なり、丘陵上には国指定史跡の八女古墳群（岩戸山古墳、乗場古墳、善蔵塚古墳、丸山塚古墳、茶臼塚古墳、丸山古墳）をはじめ、鶴見山古墳、釘崎古墳群、辻の西遺跡など、4世紀から6世紀にかけての筑紫君やその一族の古墳のほか、多くの群集墳が築かれている。

室岡台地上にはこれまで各所において発掘調査が実施されている。台地南端には昭和37年から38年にかけて調査された亀ノ甲遺跡があり、住居跡4軒、甕棺墓20基、箱式石棺墓25基、土壇墓21基、溝1条が発見されている。東側には丘陵上を南北に走る九州縦貫自動車道があり、建設に伴って昭和46年から47年にかけて相次いで調査が行われ、西中ノ沢遺跡から弥生時代住居跡7軒、坊野遺跡から弥生時代住居跡2軒、野口遺跡から弥生・古墳時代住居跡13軒、掘立柱建物2棟、道添遺跡から弥生・古墳時代住居跡29軒、掘立柱建物1棟、円形周溝2基が発見されている。昭和58年にも北小路遺跡から住居跡6軒、ピット8、甕棺墓6基、箱式石棺墓11基、土壇墓4基、石蓋土壇墓1基、木棺墓1基、大溝1条、中世遺構2が発見されている。山ノ上遺跡では昭和56年から昭和61年間で3回の調査によって、住居跡14軒、貯蔵穴54基、土壇11基、甕棺墓1基、箱式石棺墓2基、土壇墓3基、溝5条が発見されている。山井川の南側には低位の段丘が広がっており、岡山小学校校庭遺跡から弥生時代住居跡、平成4年に行った3度にわたる室岡工業団地内遺跡の調査によって弥生時代後期から古墳時代の住居跡113軒、歴史時代の掘立柱建物跡37棟が発見されている。この他、植木穴掘削中偶然の機会に多量の弥生時代後期の遺物が出土した弥五郎遺跡などがあり、中位から低位の段丘上には弥生時代前期から歴史時代に到るまで数多くの遺跡が存在している。現在の国道442号線から南側に広がる沖積地については、平成5年度から8年度まで4年間、県営農村活性化住環境整備事業に伴って数多くの遺跡の発掘調査を実施し、二重環濠を有する弥生時代前期の立野・大坪遺跡をはじめ貴重な遺跡が発見されている。



1. 一般国道442号八女筑後バイパス四丁堀遺跡1・2・3地点 2. 一般国道442号八女筑後バイパス西山ノ上遺跡
3. 岩戸山古墳 4. 乗場古墳 5. 西中ノ沢遺跡 6. 坊野遺跡 7. 室岡遺跡群 8. 亀ノ甲東原遺跡
9. 岡山公園古墳 10. 岡山小学校校庭遺跡 11. 美男川遺跡 12. 道手遺跡 13. 長峰地区条里
14. 下古田地区条里 15. 福島中学校校庭遺跡 16. 惣津遺跡 17. 一竿遺跡 18. 樋の口遺跡2次
19. 土穴遺跡 20. 立野・六反田遺跡 21. 立野・大坪遺跡 22. 五反田遺跡 23. 川原遺跡 24. 井手口遺跡
25. 篠原遺跡 26. 松本遺跡 27. 水町遺跡 28. 西田前遺跡 29. 吉書田遺跡 30. 宮ノ后遺跡
31. ヒヤケ遺跡 32. 六反田遺跡 33. 新庄遺跡群 34. 大石本遺跡 35. 泉島遺跡 36. 川大遺跡
37. 前田・大坪遺跡 38. 中里遺跡 39. 国武遺跡 40. 上島町遺跡 41. 袴田遺跡 42. 打越遺跡 43. 新替遺跡
44. 平遺跡 45. 野田遺跡 46. 深田遺跡 47. 京田遺跡(3次) 48. 緒玉天満宮遺跡 49. 二反田遺跡
50. 京田遺跡(1次・2次) 51. 宿町遺跡 52. 水洗遺跡 53. 宮ノ前遺跡 54. 石町遺跡 55. 鍛冶屋遺跡
56. 鳥田・長田遺跡 57. アモメ遺跡 58. 茶ノ木ノ本遺跡 59. 松ノ本遺跡 60. 三河小学校校庭遺跡

第1図 一般国道442号八女筑後バイパス四丁堀遺跡・西山ノ上遺跡と周辺の遺跡分布図 [1/25,000]



(1) 四丁堀遺跡

① 発掘調査の概要

四丁堀遺跡は、洪積台地の南端から西側にやや下がった台地上にあり、室岡集落の北側で、九州縦貫自動車道の東側に隣接している。周辺の標高は21m前後で畑や果樹園として利用されている。

平成13年度には路線内で用地の取得の終了した3ヵ所を中心に発掘調査を実施した。

1 地点

1地点は台地上にあり、周辺の標高は21m前後で畑や梨園として利用されていた。

遺構と遺物

遺構として調査区のほぼ全域から、溝13条、土壇25基、不明遺構2基が発見された。

土壇 (SK)

SK01—SK11、SK20、SK22～SK24

ほぼ長方形の土壇で、梨畑の土壌改良を目的に掘削されたもの。

SK12 (第4図)

ほぼ楕円形で、 150×120 cm、深さ23 cm。

SK13 (第4図)

円形で、120 cm。

SK14 (第4図)

円形で、ほぼ60 cm、深さ20 cm。

SK15 (第4図)

不整形で、 $75 \times 60 + a$ cm、深さ38 cm。

SK16 (第4図)

円形で、 150 cm + a 、深さ10 cm。

SK17 (第4図)

円形で、 140 cm + a 、深さ22 cm。

SK18 (第4図)

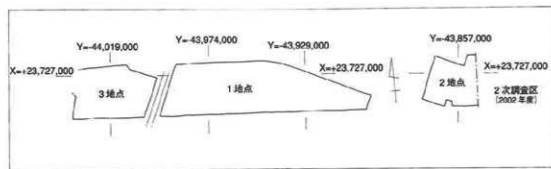
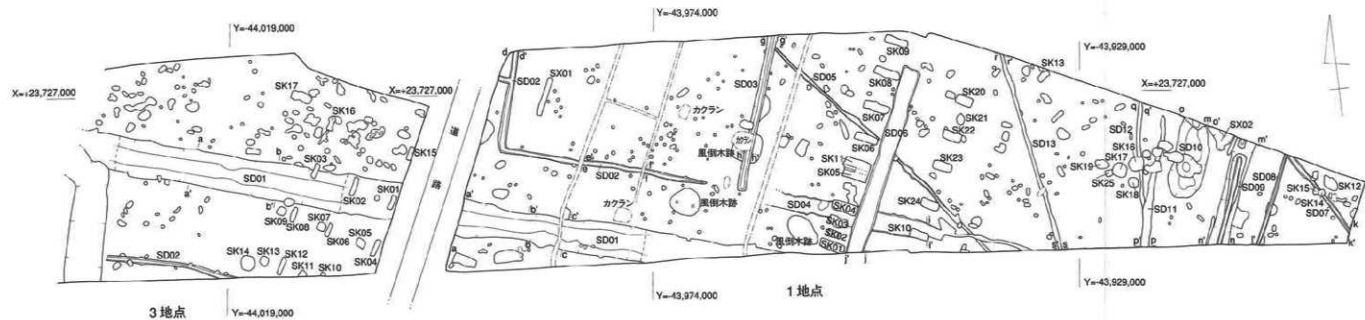
円形で、 110 cm + a 、深さ15 cm。

SK19 (第4図)

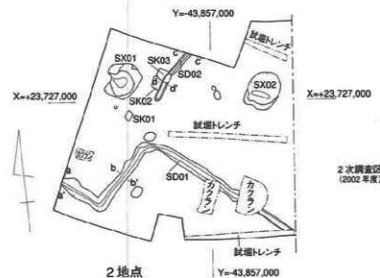
ほぼ楕円形で、 150×87 cm、深さ23 cm。

SK21 (第4図)

楕円形で、 130×80 cm、深さ20 cm。



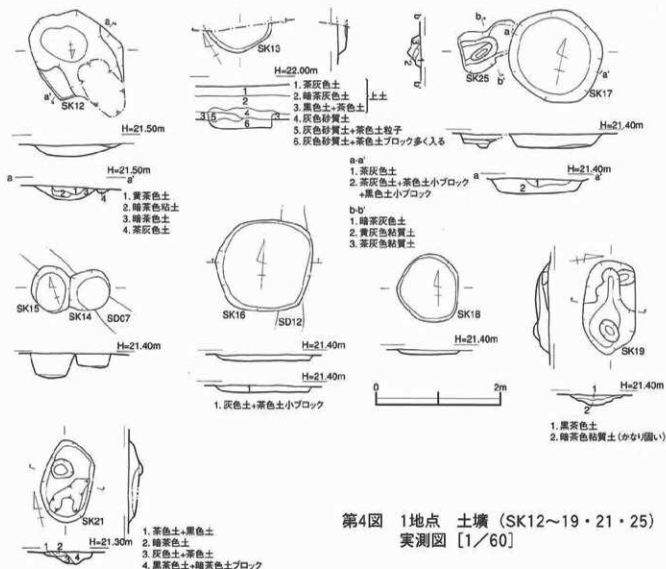
四丁堀遺跡1・2・3地点 位置図



2地点

SK 25 (第4図)

不整形で、90+α×52 cm、深さ10 cm。



第4図 1地点 土坑 (SK12~19・21・25)
実測図 [1/60]

不明遺構 (SX)

SX01 (図版4)

長方形で410×60 cm、深さ10 cm。出土遺物なし。

SX02 (第9図)

調査区外に延びるため、一部のみ検出した。270×52 cm、深さ52 cm。出土遺物なし。

溝 (SD)

SD01 (第5・11・22図、表1・6、図版3)

調査区の東西に延びる溝で34 mを検出した。幅は3.0-4.5 m、深さ70-100 cmで東から西に流れ、断面は緩やかな逆台形を呈している。地山上に堆積する黒色土を切り込んでいるため、

比較的あたらしいものと思われる。遺物として土師器皿、須恵器甕、陶器鉢が出土している。時期的には江戸期より下らないと考えられる。

SD02 (第6図、図版4)

SD01と並行する溝で、直角に曲がり、32.5mを検出した。幅は25cm、深さ6-20cmで東から西に流れ、断面は緩やかな逆台形を呈している。地山上に堆積する黒色土を切り込んでいるため、比較的あたらしいものと思われる。

SD03 (第7・11図、表1、図版4)

調査区のほぼ南北に延びる溝で16.5mを検出した。幅は70-90cm、深さ40-45cmで北から南に流れ、南側途中で切れている。断面は逆台形を呈している。地山上に堆積する黒色土を切り込んでいるため、比較的あたらしいものと思われる。遺物として陶器鉢、摺鉢が出土している。

SD04 (第8図)

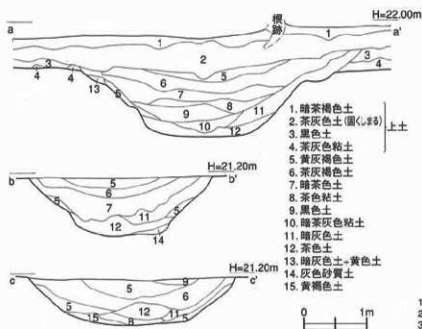
大きく削平を受けていたが、28.5mを検出した。幅は2m、深さ0-9cmで東から西に流れている。堆積土は灰色土のため、比較的あたらしいものと思われる。遺物はない。

SD05

調査区の北西から南東に延びる溝で、31mを検出した。幅は30-70cm、深さ3-6cmで東から西に流れる。比較的あたらしいものと思われる。遺物は出土していない。

SD06 (第8図、図版4)

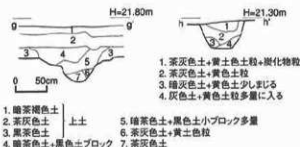
南北に延びる溝で、20.5mを検出した。幅は1.8m、深さ16cmで大きく削平を受けている。比較的あたらしいものと思われる。遺物は出土していない。



第5図 1地点 溝 (SD01)
土層実測図 [1/60]



第6図 1地点 溝 (SD02)
土層実測図 [1/60]



第7図 1地点 溝 (SD03)
土層実測図 [1/60]

SD07 (第8図)

調査区の東端、北西から南東に延びる溝で、10.5mを検出した。幅は35-55cm、深さ5-12cmで、比較的あたらしいものと思われる。遺物は出土していない。

SD08 (第8図)

調査区の北から南に延びる溝で、10mを検出した。幅は35-40cm、深さ5-14cmで埋土は灰色土で、比較的あたらしいものと思われる。遺物は出土していない。

SD09 (第9図、図版5)

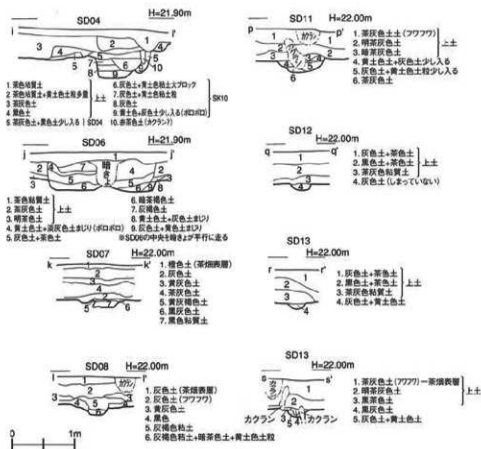
調査区の南北に延びる溝で12mを検出した。幅は1.8-2.3m、深さ40-50cmで断面は逆凸形を呈している。床面の二段掘り部分が北側で途切れ、南北に分断される。埋土は灰色土で、比較的あたらしいものと思われる。遺物は出土していない。

SD10 (第10・13図、表2、図版5)

調査区の南北に延びる溝で8.5mを検出した。幅は2.6-3.6cm、深さ97-118cmで北から南に流れ、南側途中で切れている。断面は北側のみ急な逆台形を呈している。遺物として黒曜石の剥片が出土している。

SD11 (第8図、図版5)

調査区の東端、北から南に延びる溝で、14mを検出した。幅は45-120cm、深さ5-20cmで、途中、削平のためか切れ、SD12を切る。比較的あたらしいものと思われる。遺物は出土していない。



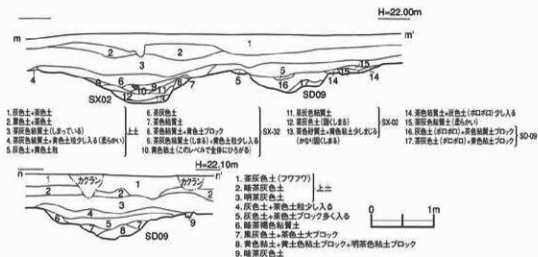
第8図 1地点 溝 (SD04・06・07・08・11・12・13) 土層実測図 [1/60]

SD12 (第8図、図版5)

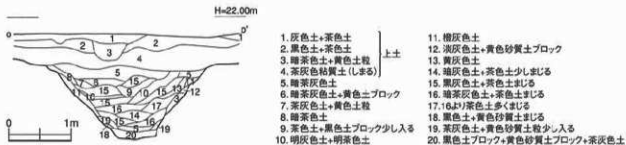
調査区のほぼ北から南に延びる溝で、11.5mを検出した。幅は30-50cm、深さ4-11cmで埋土は灰色土で、比較的あたらしいものと思われる。遺物は出土していない。

SD13 (第8図)

調査区のほぼ北から南に延びる溝で、21.5mを検出した。幅は30-50cm、深さ9-12cmで埋土は灰色土で、比較的あたらしいものと思われる。遺物は出土していない。

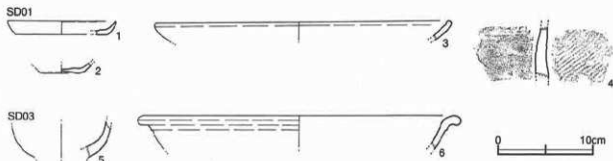


第9図 1地点 溝(SD09) 不明遺構(SX02) 土層実測図 [1/60]



第10図 1地点 溝(SD10) 土層実測図 [1/60]

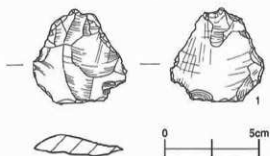
今回の発掘調査によって発見された遺物はわずかであるが、溝内から須恵器、土師器、陶器、黒曜石片が発見されている。



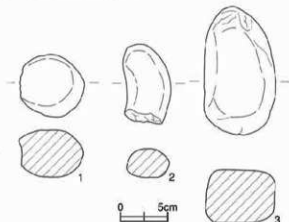
第11図 1地点 溝(SD01・03) 出土土器実測図 [1/4]

採回 番号	出土 遺構	遺物 番号	器 種	口径 (cm)	器高 (cm)	胎 土	色 調	焼成	調 整		備考
									外面	内面	
第11回	SD01	1	土師器 皿	11.4	1.4	小石が混じる 砂粒を含む	茶褐色	普通	ヨコナデ ヘラ切り	ヨコナデ	
＊	＊	2	土師器 皿			細砂粒を含む 赤粘土混じる	淡褐色	普通	ヨコナデ 糸切り	ナデ	
＊	＊	3	陶器 鉢	32		精選されている	暗灰色の胎に淡灰色の釉がかかる	良好	施釉	施釉	
＊	＊	4	須恵器 甕			小石が混じるが 精選されている	暗灰色/灰色	普通	タタキ	カキ目	
＊	SD03	5	青磁陶器 埴			精選されている	淡灰色の胎に透明釉がかかる	良好	施釉 ヨコナデ	施釉	近世
＊	＊	5	陶器 燈鉢	32.6			茶褐色の胎に暗褐色の釉がかかる	良好	施釉	施釉	近世

表 1 1地点 SD01・03 出土土器観察表



第12図 1地点 溝 (SD10)
出土石製品実測図 [1/2]



第13図 1地点 溝 (SD01)
出土石製品実測図 [1/4]

採回番号	出土遺構	遺物番号	器種	長さ (cm)	厚さ (cm)	岩質	色調	備考
第12図	SD10	1	剥片	5	0.9	黒曜石		
第13図	SD01	1	磨石			安山岩		
＊	＊	2	磨石			安山岩		
＊	＊	3	磨石			安山岩		

表 2 1地点 SD01・10 出土石製品観察表

2 地点

2 地点は 1 地点の東端から東側道路を隔てた 50 m の地点にあり、台地の端部にあたる。周辺の標高は 21 m 前後で畑として利用されていた。

遺構として調査区のほぼ全域から、溝 2 条、土塋 3 基、不明遺構 2 基が発見された。

遺構と遺物

土塋 (SK)

SK01 (第14図)

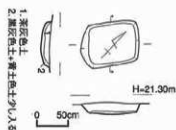
長方形で、93×72 cm、深さ 20 cm。

SK02 (第15図、図版 6)

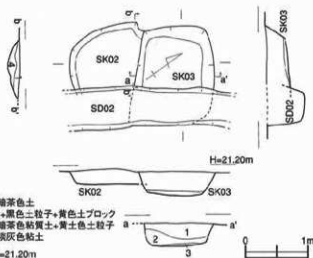
楕円形で、110+α×90+α cm、深さ 22 cm で、SD02、SK03 に切られる。

SK03 (第15図、図版 6)

長方形で、160×110 cm、深さ 64 cm で、SD02 を切る。



第14図 2地点 土壌 (SK01)
実測図 [1/60]



第15図 2地点 土壌 (SK02・03)
実測図 [1/60]

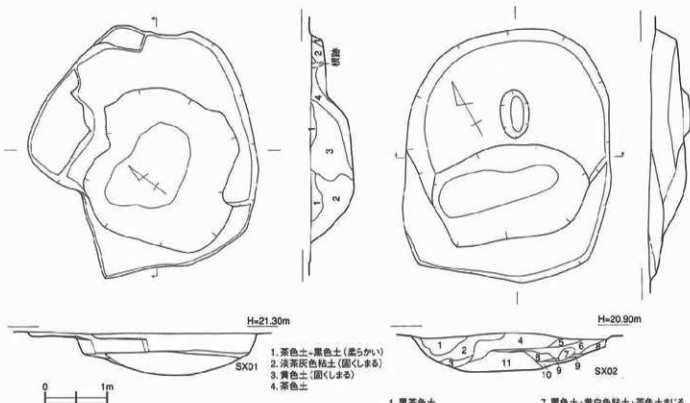
不明遺構 (SX)

SX01 (第16図)

不整形で350×297cm、深さ70cm。出土遺物なし。

SX02 (第16図)

不整形で400×317cm、深さ60cm。出土遺物なし。



第16図 2地点 不明遺構 (SX01・02)
実測図 [1/60]

溝 (SD)

SD01 (第17・18・19図、表3・4)

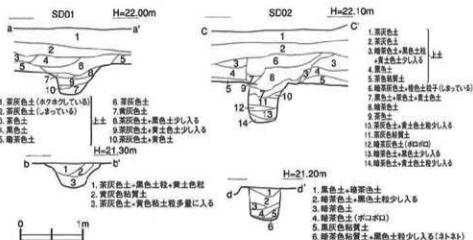
調査区の東西に延びる溝で31mを検出した。幅は70-120cm、深さ38-56cmで東から西に流れ、断面は逆台形を呈している。溝は途中直角に折れており、灌漑のための施設とも考えられる。遺物として土師器口縁部片、陶器片鉢、磨石が1点遺物として出土している。

SD02 (第17図、図版6)

南北に延びる溝で6mを検出した。幅は55-67cm、深さ38-65cmで、断面は長方形を呈している。

地山上に堆積する黒色土を切り込んでおり、立ち上がりも急である。遺物は出土しなかった。

今回の発掘調査によって発見された遺物はわずかながら、SD01から石器と土師器片、陶器片鉢、磨石が発見されている。



第17図 2地点 溝 (SD01・02) 土層実測図 [1/60]



第18図 2地点 溝 (SD01)
出土土器実測図 [1/4]

採図番号	出土遺構	遺物番号	器種	口径 (cm)	高さ (cm)	胎土	色調	焼成	調整		備考
									外面	内面	
第18図	SD01	1	土師器 口縁部片	22		砂粒を含む	暗褐色/暗茶褐色	普通	ヨコナデ	ヨコナデ	
*	*	2	陶器 鉢			精選されている	暗黄褐色の胎に透明釉がかかる	良好	施釉	施釉	近世

表3 2地点 SD01 出土土器観察表



採図番号	出土遺構	遺物番号	器種	長さ (cm)	厚さ (cm)	岩質	色調	備考
第19図	SD01	1	磨石			安山岩		

表4 2地点 SD01 出土土製品観察表

第19図 2地点 溝 (SD01)
出土土製品実測図 [1/4]

3 地点

3 地点は1 地点の道路を隔てた西側隣接地で、周辺の標高は20 m前後で茶畑として利用されていた。

遺構として調査区のはほぼ全域から、溝2条、土塋17基が発見された。

遺構と遺物

土塋 (SK)

SK01 (第21図、表5)

長方形で、 148×44 cm、深さ30 cm。

SK02

長方形で、 198×45 cm、深さ42 cm。

SK03

長方形で、 158×50 cm、深さ33 cm。

SK04

長方形で、 $49 \times 37 + a$ cm、深さ30 cm。

SK05 (第21図、表5)

ほぼ正方形で、 93×86 cm、深さ36 cm。

SK06 (第21図、表5)

長方形で、 170×40 cm、深さ37 cm。

SK07

正方形で、 88×84 cm、深さ24 cm。

SK08

長方形で、 145×48 cm、深さ33 cm。

SK09

正方形で、 88×88 cm、深さ30 cm。

SK10

長方形で、 $50 + a \times 35$ cm、深さ30 cm。

SK11

方形で、 $80 \times 50 + a$ cm、深さ36 cm。

SK12

長方形で、 180×42 cm、深さ30 cm。

SK13

正方形で、 85×84 cm、深さ34 cm。

SK14 (第21図、表5)

楕円形で、 171×130 cm、深さ30 cm。

SK15

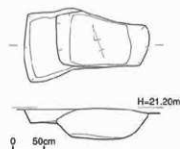
長方形で、140×50+α cm、深さ28 cm。

SK16 (第21図、表5)

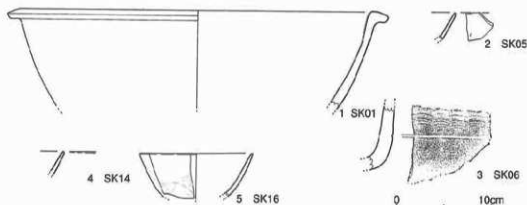
長方形で、167×44 cm、深さ38 cm。

SK17 (第20図)

長方形で、195×102 cm、深さ47 cm。



第20図 3地点 土壌 (SK17)
実測図 [1/60]



第21図 3地点 土壌 (SK01・05・06・14・16) 出土土器実測図 [1/4]

採掘 番号	出土 遺物 番号	器 種	口徑 (cm)	器高 (cm)	胎 土	色 調	焼成	観 望		備考
								外面	内面	
第21図	SK01	1 陶器 鉢	36		精選されている	暗灰黄褐色の胎に濃緑灰の光沢のある釉がかかる	良好	施釉	施釉	
*	SK05	2 磁器染付 埴			精選されている	乳白色の胎に光沢のある透明釉がかかる	良好	施釉	施釉	近世
*	SK06	3 陶器 火鉢			小石が混じる 砂粒を多く含む	暗灰黄褐色	普通	小石が混じる 砂粒を多く含む	ヨコナデ	近世
*	SK14	4 磁器染付 埴	12		精選されている	淡黄色の胎に緑青の光沢のある釉がかかる	良好	施釉	施釉	近世
*	SK16	5 磁器染付 埴			精選されている	乳白色の胎に光沢のある透明釉がかかる	良好	施釉	施釉	近代

表5 3地点 SK01 出土土器観察表

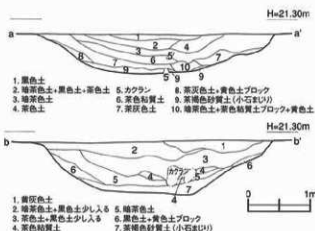
溝 (SD)

SD01 (第22・23図、表6)

1地点から東西に延びる溝で33.5mを検出した。幅は404 cm、深さ61-95 cmで、断面は逆台形を呈している。遺物として土師器皿、陶器埴、摺鉢、鉢、磁器染付埴、平瓦が出土している。

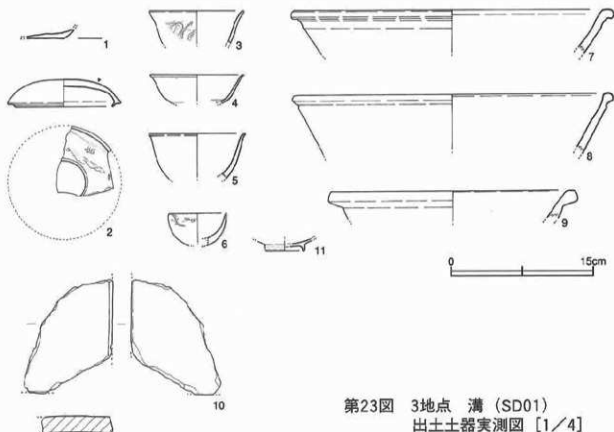
SD02

東西に延びる溝で14.5mを検出した。幅は37-70 cm、深さ11-18 cmで、断面は逆台形を呈している。遺物は出土しなかった。



第22図 3地点 溝 (SD01)
土層実測図 [1/60]

今回の発掘調査によって発見された遺物はわずかであるが、SD01から土師器片、陶器片、磁器片が発見されている。



第23図 3地点 溝 (SD01)
出土土器実測図 [1/4]

発掘 番号	出土 遺構	遺物 番号	器 種	口径 (cm)	器高 (cm)	胎 土	色 調	焼成	調 整		備考
									外面	内面	
第23図	SD01	1	土師器 皿			砂粒を含む	黄褐色	普通	ナデ 糸切	ナデ	沈線
*	*	2	磁器染付 塩釜	10.2	2.8	精選されている	白色の胎に青白色の釉がかかる	良好	施釉	施釉 カキヨ	近世
*	*	3	磁器染付 塩	10		精選されている	白灰色の胎に白色の光沢のある釉がかかる	良好	施釉	施釉	近世
*	*	4	磁器染付 塩	10		精選されている	乳白色の胎に透明釉がかかる	良好	施釉	施釉	近世
*	*	5	陶器 塩			精選されている	緑茶青赤色の胎に黄褐色の光沢のある釉がかかる	良好	施釉	施釉	近世
*	*	6	磁器染付 塩	6		精選されている	灰白色の胎に淡灰色の釉がかかる	良好	施釉	施釉	近世
*	*	7	陶器 摺鉢	33.8		精選されている	緑黄褐色の胎に緑茶褐色の釉	良好	施釉	施釉	近世
*	*	8	陶器 摺鉢	33.6		精選されている	黄褐色の胎に緑褐色の釉がかかる	良好	施釉 ヨコナデ	施釉 ヨコナデ	近世
*	*	9	陶器 鉢			小石が混じる 砂粒を含む	緑赤茶色	普通	へうろ ヨコナデ	ヨコナデ	近世
*	*	10	平瓦			細砂粒を含む	緑茶灰褐色/黄茶暗灰褐色	普通			近世
*	*	11	磁器染付 塩			精選されている	白色の胎に乳青色の釉がかかる	良好	施釉	施釉	近世

表6 3地点 SD01 出土土器観察表

(2) 西山ノ上遺跡

① 発掘調査の概要

国道442号バイパスは空岡台地上を東西に横断して建設され、四丁堀遺跡は洪積台地の南端から西側にやや下がった標高21m前後に位置している。台地の最も高い部分は南側の縁辺部で、標高33.4mを測る。この台地は緩やかに西側に向かって下り今回の調査区の西端で標高28mと約5mの比高差がみられる。

今回の発掘調査は西側に向かって下る緩斜面部分にあたり、路線内で用地取得の終了した延長約115m、道路幅と法面の部分を入れた幅約40mを中心に発掘調査を実施した。

発掘調査の結果、今回発見されたのは縄文時代、弥生時代、中世、近世（近代）の遺構や遺物で、その中心は弥生時代と中世の遺構と遺物である。

遺構と遺物

(1) 縄文時代の遺構と遺物

今回発見された縄文時代の遺構は、土壌1基があり、落とし穴と考えられる。また、この他にも縄文期の遺構と思われる土壌もあるが、明確ではない。

土壌 (SK)

SK43 (第30図、図版19)

調査区の北側にあり、SD01によって切られている。隅丸長方形で長さ0.9+αm、幅1.1mの土壌で床面に小ピットが存在する。深さ60cm。落とし穴と思われる。遺物は出土していない。

(2) 弥生時代の遺構と遺物

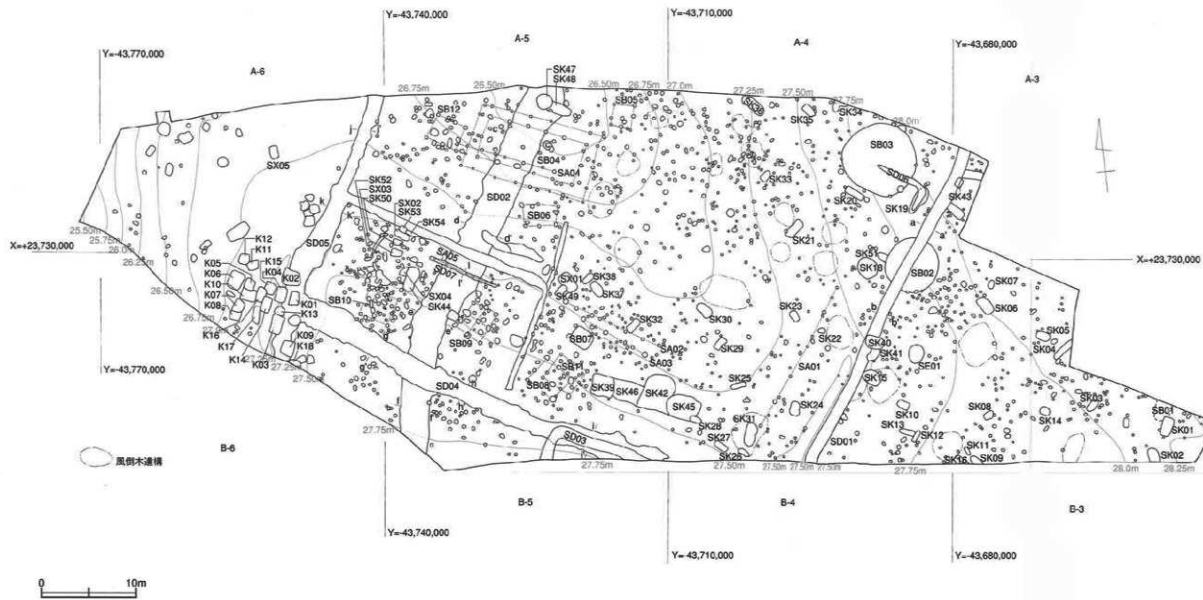
今回発見された弥生時代の遺構は、竪穴住居3軒、土壌38基、墳墓5基、環濠1条、多数の柱穴がある。遺構の多くは調査区の東側で検出されている。弥生時代後期の環濠が調査区のやや西側で南北方向に検出されており、また、同期の墳墓が環濠に隣接して内外から発見されている。

竪穴住居 (SB)

竪穴住居は調査区の東側に集中して円形の竪穴住居2軒、方形の竪穴住居1軒が発見された。全体に削平は余り受けていず、壁面や床面が良く残っていた。

SB02 (第25・44・68・70図、表7・21・23、図版9)

SD01によってほぼ中央を壊されているが、長径がほぼ南北で長さ6.0m、短径がほぼ東西で5.7mの円形竪穴住居である。全体に床面まで壁は35-45cmと良く残っている。床面はほぼ平坦で、柱穴は残りが良い。床面中央にはSD01によって切られた長径約1.1m、短径0.7m、深さ35cmの楕円形のピットがある。中央ピットの両側に直径約15cm前後、深さ

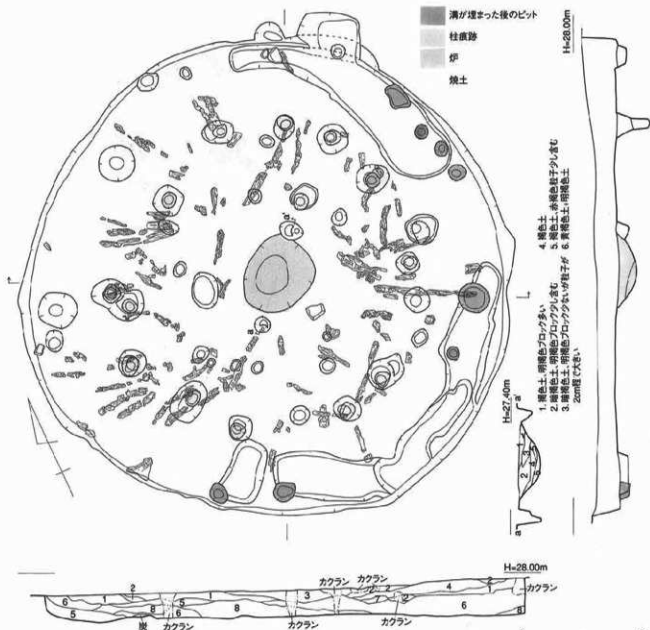


第24図 一般国道442号八女筑後バイパス 西山ノ上遺跡遺構配置図 [1/400]

SB03 (第26・45・67・68・70圖、表7・20・21・23、圖版9)

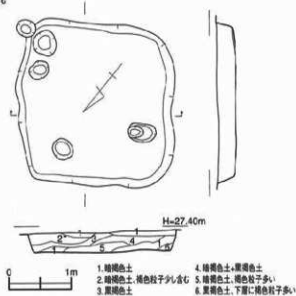
[illegible]

第25図 竪穴住居 (SB02) 実測図 [1/60]



第26図 竪穴住居 (SB03) 実測図 [1/60]

思われる。床面中央には長径約1.2m、短径1.0m、深さ25cmの楕円形のビットがある。また、壁面から約1.5m前後の部分に直径30-40cm、深さ40-60cmのビットが規則的に円状に周っており、黄灰色の粘土が検出されたが、SB02同様、柱の根元に巻かれている。また、SB03の床面全体から炭化物が検出され火災に遭ったものと思



第27図 竪穴住居 (SB07) 実測図 [1/60]

われる。炭化物の中には柱状や板状を残す物が多く、柱材や壁材として使用されていたものと考えられる。遺物は土器として壺、甕、蓋が多く出土し、石器として石剣、扁平片刃石斧、紡錘車、砥石、磨石が出土している。

SB07 (第27・45図、表7、図版9)

調査区のほぼ中央にやや離れて発見された。南北の長さ2.55m、東西の長さ2.6m、方形の竪穴住居で、全体に床面まで壁は30cmと良く残っている。床面はほぼ平坦で、床面の西側から直径25cm、深さ30cm前後のピット2個が検出されたが、柱穴とは考え難い。また、炉は検出できなかった。出土遺物として甕が出土している。

土壌 (SK)

弥生時代の土壌は調査区の中央から東よりに38基検出された。竪穴住居の周辺に集中することではなく、その多くは単独で分布している。平面形は隅丸長方形、楕円形が大半を占め、わずかに円形がまじる。規模も長さ1.5-2m前後、幅0.5-1.0m前後が多く、比較的小形の土壌が多い。ほとんどの土壌から遺物は出土しているが、多量に遺物を出土する土壌は少ない。特にSK04から紡錘車、SK21、40から石庖丁、SK30から投弾が出土しているが、石製品、土製品とも少ない。土壌の性格については、不明な点が多いが、貯蔵穴や廃棄のための用途が考えられる。

SK01 (第28・46図、表8、図版12)

隅丸長方形で長さ2.0m、幅1.2mの土壌で、深さ85cm。遺物として甕が多く出土している。

SK02 (第28・46図、表8、図版12)

楕円形?で長さ1.7+am、幅1.2m、深さ20-35cmの土壌で中央部が一段深い。遺物として壺、甕が出土している。

SK03 (第28・47図、表8、図版12)

隅丸長方形で長さ1.4m、幅0.8mの土壌で、深さ40cm。遺物として壺、甕、蓋が出土している。

SK04 (第28・66・67図、表19・20、図版12)

隅丸長方形で長さ2.1m、幅0.65mの土壌で、深さ20-30cm。遺物として紡錘車1点と支脚がわずかに出土した。

SK05 (第28・47図、表8、図版13)

隅丸長方形で長さ1.6m、幅0.85mの土壌で、深さ20cm。遺物として甕がわずかに出土している。

SK06 (第28・47図、表8、図版13)

隅丸長方形で長さ2.0m、幅1.2mの土壌で、深さ80cm。壁はほぼ垂直となる。遺物として壺、甕がやや多量に出土している。

SK07 (第28図、図版13)

楕円形で長さ1.0m、幅0.6mの土壌で、深さ30cm。遺物は出土しなかった。

SK08 (第28・48図、表8・9、図版13)

隅丸方形で長さ0.9m、幅0.8mの土壌で、深さ40cm。遺物として壺、甕が出土している。

SK09 (第28・48図、表9、図版14)

形は不明で長さ $1.2 + a$ m、幅 $0.6 m + a$ の土壌で、深さ40 cm。遺物として甕がわずかに出土している。

SK10 (第28・48・67図、表9・20、図版14)

長方形で長1.3 m、幅0.75 mの土壌で、東側にピットがあり、壁はほぼ垂直となる。深さ55-60 cm。遺物として甕と、サヌカイト製の石匙が1点出土している。

SK11 (第28図、図版14)

隅丸長方形で長さ0.9 m、幅0.3 mの小型土壌で、深さ15-25 cm。遺物は出土しなかった。

SK12 (第28図、図版14)

隅丸長方形で長さ1.4 m、幅0.5 mの土壌で、深さ10-30 cm。遺物は出土しなかった。

SK13 (第28・48図、表9、図版14)

隅丸長方形で長さ1.6 m、幅0.5 mの土壌で、深さ15-25 cm。遺物として甕がわずかに出土している。

SK14 (第28・48図、表9、図版14)

円形で直径1.1 mの土壌で、深さ95 cm底の部分が狭くなる。遺物として甕がわずかに出土している。

SK15 (第28・48図、表9、図版15)

隅丸方形で長さ1.9 m、幅1.4 mの土壌で、深さ30 cm。遺物として甕がわずかに出土している。

SK16 (第28図、図版14)

細い長方形で長さ $1.6 + a$ m、幅0.25 mの土壌で、深さ30 cm。遺物は出土しなかった。

SK18 (第29・49・66・67図、表9・19・20、図版15)

円形で直径2.3 mの土壌で、深さ80 cm。床面中央部に浅いピット、壁の直下に直径6-10 cmの小穴が巡る。小穴は深さも5-10 cmとバラバラでまた、上部が広く、下部が狭いため、杭等を打ち込んだものと考えられる。遺物として壺、甕、蓋、支脚が多量に、黒曜石製の石鏃が1点出土している。

SK19 (第29・50図、表9、図版15)

隅丸長方形で長さ2.6 m、幅1.4 m、深さ70 cmの土壌で、壁中程に凹が見られる。遺物として壺蓋、蓋、壺、甕がやや多く出土している。

SK20 (第29・50図、表9、図版15)

長方形で長さ1.9 m、幅0.65 mの土壌で、深さ40 cm。床面に接して灰白色粘土が、遺物として壺、甕が出土している。

SK21 (第29・50・67図、表9・10・20、図版16)

長方形で長さ2.1 m、幅0.9 mの土壌で、深さ55 cm。遺物として甕と、片岩製の石庖丁が1点出土している。

SK22 (第29図、図版16)

楕円形で長さ0.8 m、幅0.5 mの小型土壌で、深さ15 cm。遺物は出土しなかった。

SK23 (第29図、図版16)

隅丸長方形で長さ1.2m、幅0.7mの小型土壇で、深さ10cm。遺物は出土しなかった。

SK24 (第29・51・68図、表10・21、図版16)

隅丸長方形で長さ1.45m、幅0.9mの土壇で、深さ40cm。遺物として甕がやや多く、また、砂岩製砥石が出土している。

SK25 (第29・51図、表10、図版17)

楕円形で長さ1.6m、幅0.5mの土壇で、深さ5-10cm。遺物として甕が出土している。

SK26 (第29・51図、表10、図版17)

隅丸長方形で長さ1.3m、幅0.5mの土壇で、深さ30cm。遺物として甕がわずかに出土している。

SK27 (第29・52図、表10)

隅丸長方形で長さ1.5m、幅0.6mの土壇で、深さ30-40cm。遺物として壺、甕が出土している。

SK29 (第29・52・67図、表10・20、図版17)

隅丸長方形で長さ1.4m、幅0.75mの土壇で、深さ20cm。灰白色粘土が大量に検出された。遺物として甕とサヌカイト製の石鏃が1点出土している。

SK30 (第29・52・66図、表10・19)

隅丸長方形で長さ1.8m、幅0.9mの土壇で、深さ75cm。遺物として甕と、土製品として投弾が1点出土している。

SK31 (第29・53図、表10、図版18)

楕円形で長さ2.6m、幅1.1mの土壇で、深さ100cm。最下層に灰白色粘土が貼り付けてあった。遺物として甕がやや多く出土している。

SK32 (第30・53図、表10)

隅丸長方形で長さ1.65m、幅0.7mの土壇で、深さ50cm。遺物として甕がわずかに出土している。

SK33 (第30図、図版18)

楕円形で長さ1.2m、幅0.75mの土壇で、深さ20cm。遺物は出土しなかった。

SK34 (第30・53図、表10)

隅丸長方形で長さ1.25+αm、幅1.6mの土壇で、深さ30-70cm、中央に深さ7cmの小ピットがある。遺物として甕がわずかに出土している。

SK35 (第30・53図、表10、図版18)

楕円形で長さ1.6m、幅0.8mの土壇で、深さ40-90cm、東側が低くなる。遺物として甕がわずかに出土している。

SK36 (第30・53図、表10、図版18)

隅丸長方形で長さ2.7m、幅1.0mの土壇で、深さ40-50cm。遺物として壺、甕が出土している。

SK37 (第30・53・66図、表10・11、図版19)

隅丸長方形で長さ1.7m、幅0.9mの土壇で、深さ20-45cm。遺物として壺、甕、支脚が出土している。

SK38 (第30・54図、表11、図版19)

隅丸長方形で長さ1.35m、幅0.5mの小型土壇で、深さ60cm。遺物として甕がわずかに出土している。

SK40 (第30・67・70図、表20・23、図版19)

隅丸長方形で直径1.95m、幅1.4mの土壇で、深さ90cm。SK41に切られる。遺物は片岩製の石庖丁1点と凹石がわずかに出土した。

SK49 (第30図、図版20)

長方形で長さ1.4m、幅0.75mの小型土壇で、SX01を切る。深さ70cm。遺物は出土しなかった。

墳墓 (SX)

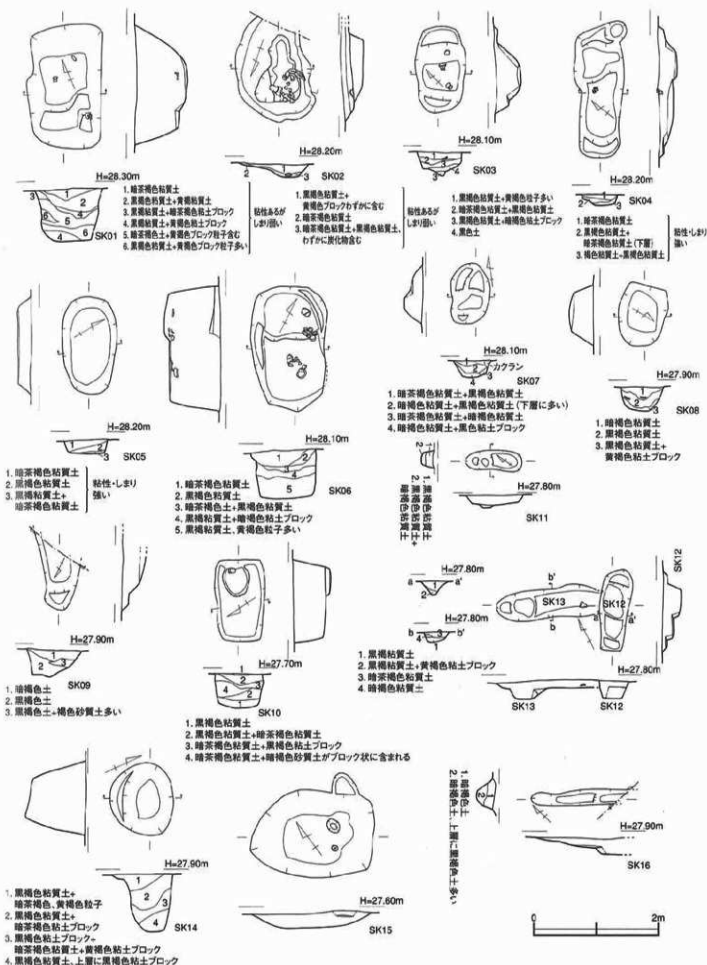
弥生時代の墳墓は調査区の中央から西より5基検出された。1基 (SX01) 以外は環濠 (SD02) の外で、3基 (SX02、03、04) が集中しており、1基 (SX05) は単独で分布している。

SX01 (第31図、図版23)

木蓋土壇で二段に掘り込まれている。一段目は隅丸長方形で長さ2.2m、幅1.3m、深さ30cm。墓壇は長方形で長さ1.7m、幅0.5m、深さ25cmで、南側が少し広くつくられている。

SX02 (第31図、図版24)

石蓋土壇で二段に掘り込まれている。一段目は隅丸長方形で長さ1.7m、幅0.7m、深さ12cm。墓壇は長方形で長さ1.45m、幅0.35m、深さ30cmで、西側が少し広くつくられ、墓壇には片岩の扁平な割石が5枚、蓋として使用されている。遺物は出土していない。



第28図 土壌 (SK01~16) 実測図 [1/60]

SX03 (第31図、図版24)

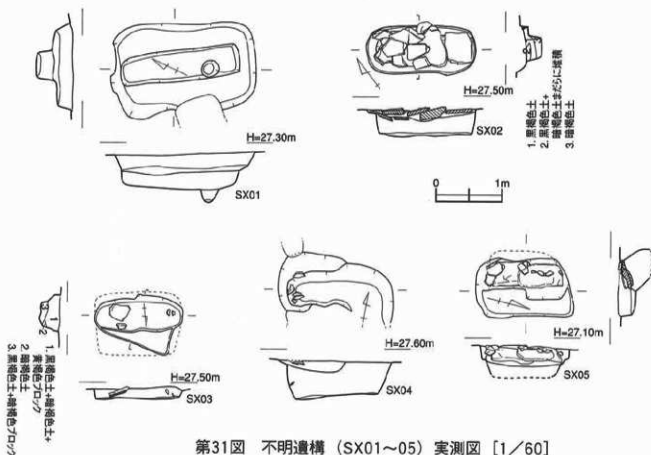
一段目は削平されているが隅丸長方形と推定される。墓壇は長方形で長さ1.3 m、幅0.5 m、深さ15 cmの小型の石蓋土壇で、西側がわずかに広くつくられ、墓壇には片岩の扁平な割石が1枚、残っている。遺物は出土していない。

SX04 (第31図)

一段目は削平されているが。墓壇は隅丸長方形で長さ1.6 m、幅は切り合いにより不明。深さ50 cmの石蓋土壇で、西側が広くつくられ、墓壇には片岩片がわずかに残っている。遺物は出土していない。

SX05 (第31図、図版24)

横口式の石蓋土壇で二段に掘り込まれている。一段目は隅丸長方形で長さ1.4 m、幅0.9 m、深さ20 cm。墓壇は一段目の西端から横に掘削してつくる。ややいびつな隅丸長方形で長さ1.2 m、幅0.6 m、深さ30 cmで、南側が少し広くつくられ、墓壇には片岩の扁平な割石が2枚、蓋として使用されている。遺物は出土していない。



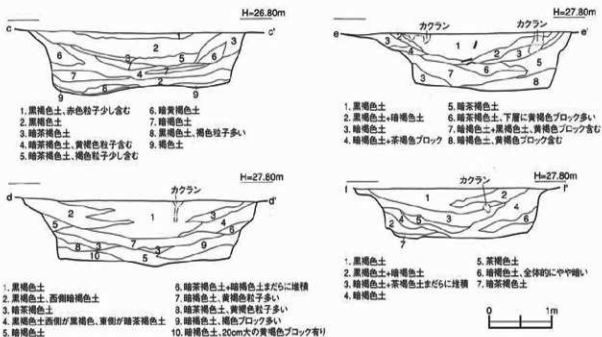
第31図 不明遺構 (SX01~05) 実測図 [1/60]

溝 (SD)

弥生時代の溝として、南北に延びる溝1条を検出した。この溝は平成13・14年度調査の西山ノ上遺跡から続く環濠 (SD02) で、今回の調査では環濠の直線部分のみ確認した。

SD02 (第32・59・66・67・70図、表15・20・23、図版14)

調査区の南北に40mを確認した。ほぼ直線に伸びるが南側でわずかにカーブする。溝の規模は北側で上部幅3.5m、下部幅2.8m、深さ100cm、中程で上部幅3-3.7m、下部幅2.7m、深さ100cm、南側で上部幅3m下部幅2.1m、深さ80cmでU字状を呈しており、南側がやや幅が狭い。濠内の堆積状況は大きく上下に分れ、底から40-50cmまでは地山の茶褐色土を多く含んだ土が堆積するが、上層は黒褐色土の堆積によって短い期間に埋没したと思われる、埋没後に中世の遺構がつくられている事より、中世には既に完全に埋没していたと思われる。遺物として濠内から壺、甕などの土器が出土しているが、量的には少ない。



第32図 溝 (SD02) 土層実測図 [1/60]

(3) 中世の遺構と遺物

中世の遺構として掘立柱建物8棟、柵列5条、土壇14基、井戸1基と遺構を取り囲む溝が検出された。

掘立柱建物 (SB)

溝に囲まれた部分の北側に小型建物が、ほぼ中央に四面虎の大型建物が発見された。

SB04 (第33図、図版10)

調査区の北側で検出された東西棟の大型の建物で、ほぼ単独で存在している。規模は5間×2間(梁行10.6m、桁行4.7m)の掘立柱建物で柱間は7尺、柱穴は直径30-40cm。庇は東西6間×南北4間で、四面に4尺の庇を伴っている。庇部分を含めると梁行13.4m、桁行7.4mで、柱穴は直径20-25cmと庇部分の柱穴はやや小さい。遺物は出土していない。

SB05 (第34図、図版10)

SB04の北東に隣接して検出された南北棟小型の掘立柱建物で、2間×2間(梁行2.5m、桁行2.1m)、柱穴は直径25-35cm。遺物は出土していない。

SB06 (第34図、図版10)

SB04の南側に隣接した、東西棟で、2間×1間(梁行3.0m、桁行2.5m)、小型の掘立柱建物で、柱穴は直径25-35cm。遺物は出土していない。

SB08 (第34図、図版10)

ほぼ南東-北西棟で、南側のSD04に隣接し、SB11と切りあっている。2間×2間(梁行3.5m、桁行3.0m)、小型の掘立柱建物で、柱穴は直径25-55cm。遺物は出土していない。

SB09 (第34図、図版11)

SB08、11の西側、10m程離れて発見された。SB08とはほぼ同じ南東-北西棟で、2間×2間(梁行3.6m、桁行2.7m)、小型で総柱の掘立柱建物で、柱穴は直径25-45cm。遺物は出土していない。

SB10 (第35図、図版11)

ほぼ南東-北西棟で、南側のSD04に隣接している。2間×2間(梁行3.6m、桁行3.0m)、小型の掘立柱建物で、柱穴は直径25-35cm。遺物は出土していない。

SB11 (第35図、図版11)

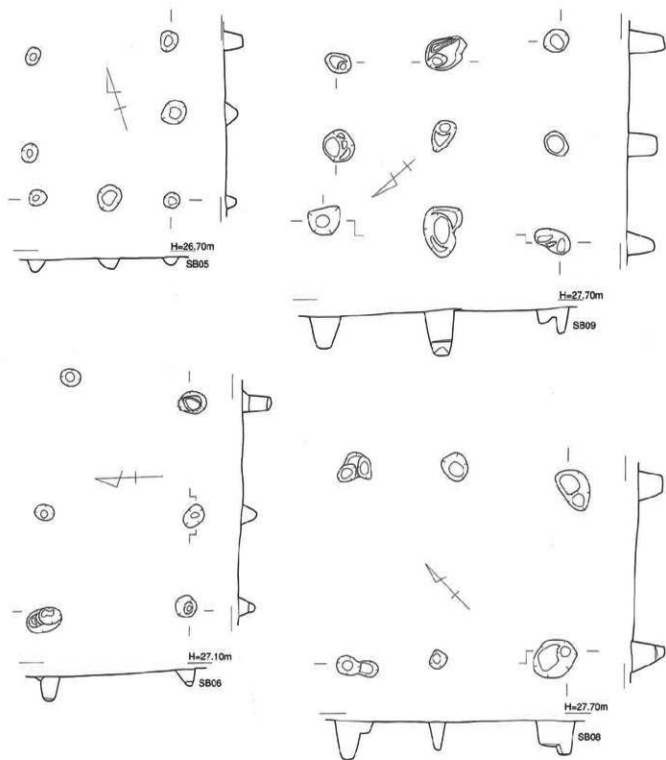
ほぼ南東-北西棟で、南側のSD04に隣接し、SB08と切りあっている。3間×2間(梁行3.6m、桁行3.0m)、小型の掘立柱建物で、柱穴は直径25-35cm。遺物は出土していない。

SB12 (第36図、図版11)

ほぼ東-西棟で、東側のSB04に近接している。2間×1間(梁行3.3m、桁行2.7m)、小型の掘立柱建物で、柱穴は直径25-35cm。遺物は出土していない。

柵列 (SA)

SD01、04、05に囲まれた部分より、掘立柱建物と共に柵列が5条検出された。いずれの柵列も溝や建物と並行につくられている。



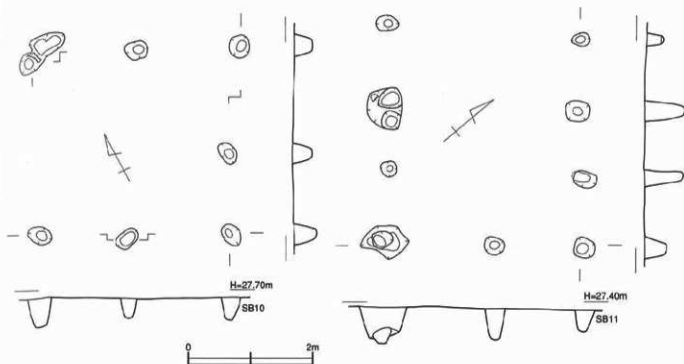
第34図 掘立柱建物 (SB05・06・08・09) 実測図 [1/60]

SA01

SD01の内側5mの所に、溝と並行につくられており、柱間は1.2-3.5mと揃わないが、11本の柱穴を確認した。柱穴は直径約20-30cm。遺物は出土していない。

SA02

SA03の北側1.5mの所に、SA03とはほぼ並行につくられており、柱間は1.5-2.0mと揃わないが、8本の柱穴を確認した。柱穴は直径約20-40cm。遺物は出土していない。



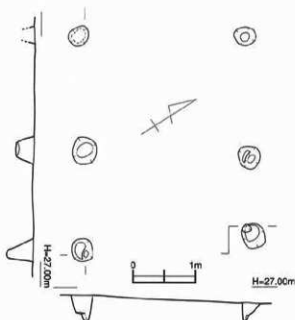
第35図 掘立柱建物 (SB10・11) 実測図 [1/60]

SA03

SD04の内側10mの所に、溝と並行につくられており、柱間は1.5-1.8mと揃って、6本の柱穴を確認した。柱穴は直径約20-40cm。遺物は出土していない。

SA04

SB04と切り合うが、前後関係は不明である。しかし、SB04の棟方向が同じなため、何らかの関係があるものと考えられる。柱間は1m、1.5m、2.0mと揃わないが、8本の柱穴を確認した。柱穴は直径約20-30cm。



第36図 掘立柱建物 (SB12) 実測図 [1/60]

SA05 (第42図、図版23)

SB09、10の北側にあり、ほぼ並行につくられる。長さ7.8m、幅30-40cmのSD07の溝内に整然と並んでいる。柱間は0.8-1.0mと揃わないが、7本の柱穴を確認した。柱穴は直径約20cm。遺物は出土していない。

土壌 (SK)

中世の土壌は調査区の中央から東よりに14基検出された。

SK28 (第29・52図、表10、図版17)

楕円形で長さ1.2m、幅0.65mの小型土壌で、深さ45cm。遺物として白磁碗が1点出土している。

SK39 (第37・54・71図、表11・24、図版17)

SK39、46、42、45の4基の土壌が複雑に重なり、切りあい以前後関係はつかむ事が出来なかった。SK39は西端にあり、隅丸長方形で長さ2.5m、幅2.0mの土壌で、深さ50cm。遺物として白磁碗、土師器杯、皿、瓦器碗、皿が多量に出土している。

SK41 (第30・55図、表11・12、図版19)

隅丸長方形で長さ1.4m、幅0.9mの土壌で、深さ70-90cm。遺物として白磁碗、土師器杯、瓦器碗、弥生式土器の甕が出土している。

SK42 (第37・55図、表12、図版17)

形は不明で長さ3.9+αm、幅2.7mの土壌で、深さ50-90cm。切り合いは不明である。遺物として白磁碗、小皿、青磁碗、陶器鉢、土師器杯、皿が多量に出土している。

SK44 (第30・55図、表12、図版20)

楕円形で長さ2.7m、幅1.4mの土壌で、深さ50-60cm。SX04を切る。焼土が多い。遺物として青磁碗、土師器杯、皿が出土している。

SK45 (第37・56図、表12、図版17)

不整形で長さ3.5m、幅2.5mの土壌で、深さ75cm。切り合いは不明。遺物として青磁碗、土師器皿が出土している。

SK46 (第37・56・70図、表12・13・23、図版17)

形、長さ、幅も不明の土壌で、深さ40-90cm。遺物として陶器鉢、土師器杯、皿が多く出土、凹石も出土している。

SK47 (第30・56図、表13、図版20)

円形で長さ1.6mの土壌で、深さ35cm。SK48を切る。土器の量が多い。遺物として白磁碗、小皿、瓦器碗、蓋、陶器甕、土師器皿が多量に出土している。

SK48 (第30・56・66図、表13・19、図版20)

隅丸長方形で長さ2.2+αm、幅1.2mの土壌で、深さ20cm。遺物として瓦器碗、土師器皿が多く出土し、土製品として土玉が1点出土している。

SK50 (第30・56図、表13、図版21)

隅丸方形で長さ0.9m、幅0.6mの土壌で、深さ35cm。遺物として白磁碗、弥生式土器の甕が出土している。

SK51 (第30図)

楕円形で長さ1.1+αm、幅0.6mの土壌で、深さ40cm。SB02に切られる。遺物は出土しなかった。

SK52 (第37図、図版21)

隅丸長方形で長さ1.4m、幅0.4mの土壌で、深さ35cm。南側が狭く、北側は広い。墳墓の可能性もある。遺物は出土しなかった。

SK53 (第37図)

形、長さ、幅も不明の土壌で、深さ45cm。SK50とほぼ同じ掘り方である。遺物は出土しなかった。

SK54 (第37図)

形、長さ、幅も不明の土壌で、深さ25cm。遺物は出土しなかった。

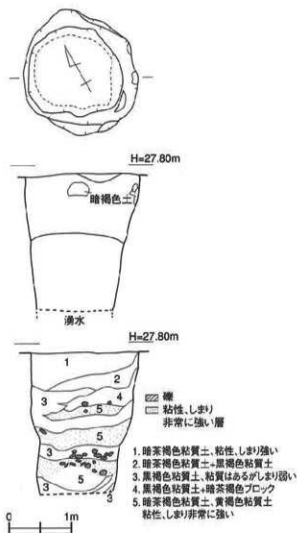
井戸 (SE)

東側の南北溝に隣接して、井戸が発見された。本調査区で井戸と確認されたのはわずかに1基のみである。

SE01 (第38・65・69・70図、

表18・22・23、図版23)

SD01の東側3.5mにあり、上面は直径1.7mの円形を呈している。最下面までの掘削を試みたが湧水等もあり危険なため、2.3mまでの掘削で中止した。上面は円形に掘るが、上面から1.4m部分下がったあたりから、一辺1.3mの方形知味となり、下面まで続くため、木製枠が取り付けられていたものと考えられる。井戸内の土の堆積状況は上面から約50cmは表土等からの自然の流れ込みであり、1m付近から粘土に礫が混じり、下層に粘土に砂礫が多くなる。遺物は中層から下層を中心に白磁碗、青磁碗、須恵器甕、土師器杯、皿、甕、鉢、瓦器碗、鉢が多量に出土した。これらに混じって、弥生式土器の甕、甕が出土した。



第38図 井戸 (SE01) 実測図 [1/60]

溝 (SD)

南北に延びる溝2条 (SD01・05)、東西に延びる溝1条 (SD04)と東西に延び途中から直角に南側に曲がる溝1条 (SD03)を検出した。SD01・04・05は平成14年度調査の西山ノ上遺跡から発見された溝 (SD01)と同一で、両地区にまたがる長方形の溝となる。

SD01 (第39・57・58・66・67・69・70図、表14・15・19・20・22・23、図版21)

調査区の北側から南側に延びる37m分を検出した。溝の幅は1.3mでほぼ変わらない。深さは北側で45cm、南側で45cmとほとんど変わらないが、溝底は南端が北端より約30cm高い。溝内の堆積状況は大きく上下に分れ、底から15-20cmまでは地山の土を多く含んだ土が堆積するが、上層は黒褐色土の堆積によって短

い期間に埋没したと思われる。溝内から白磁埴、青磁埴、青磁小皿、陶器水注、陶器鉢、陶器壺、須恵器鉢、壺、土師器壺、坏、皿、瓦器坏、埴が多量に出土している。

SD03 (第40・59図、表15・16、図版22)

調査区の東側から西側に延びる11m分と、南側に直角に曲がる3m分を検出した。カーブ付近でSD04と切りあっており、土層観察により、SD04の埋没後、SD03を掘削している。切りあい付近の溝の上部幅は1.5m程となるが、下部では幅30cmとV字に近い形となる。溝の東西方向はほぼ同一で、深さは深い所で90cm、溝内の堆積状況は大きく上下に分れ、底から45cmまではSD04の埋土が混じり、上層は黒褐色土の堆積によって短い期間に埋没したと思

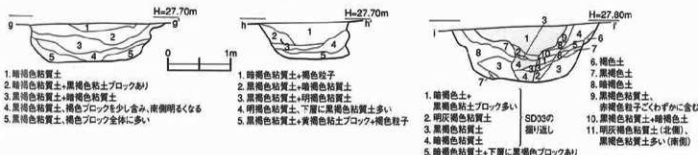
われる。溝内から陶器埴、蓋、摺鉢、水注が出土している。

SD04 (第40・60・61・62・68・69・70図、表16・17・21・22・23、図版22)

調査区の東側から西側に延びる44.5m分を検出した。溝の幅は上部で1.7-2.5mで、下部で1.1-1.4mとU字形となる。深さは中程で60cm、西側で60cmとほとんど変わらないが、溝底は中程より西端が約15cm低い。溝内の堆積状況は大きく上下に分れ、底から20-30cmまでは地山の土を多く含んだ土が堆積するが、上層は黒褐色土の堆積によって短い期間に埋没したと思われる。溝内から白磁埴、青磁埴、青磁皿、陶器埴、陶器水注、陶器壺、須恵器壺、土師器壺、坏、皿、鉢、瓦器埴が多量に出土している。



第39図 溝 (SD01) 土層実測図 [1/60]



第40図 溝 (SD03・04) 土層実測図 [1/60]

SD05 (第41・63・64・69・70図、表17・20・22・23、図版22)

調査区の北側から南側に延びる30m分を検出した。溝の幅は上部で1.4-1.6mで、下部で60-70cmとU字形となる。深さは北側で25cm、南側で35cmとほとんど変わらないが、溝底は南端が北端より約25cm高い。溝内の堆積状況は大きく上下に分れ、底から15cmまでは地山を多く



第41図 溝 (SD05) 土層実測図 [1/60]

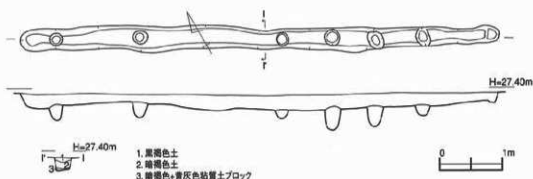
く含んだ土が堆積するが、上層は黒褐色土の堆積によって短い期間に埋没したと思われる、溝内から白磁碗、白磁皿、青磁碗、陶器四耳壺、土師器、坏、皿、鉢、瓦器碗が多量に出土している。

SD06 (第64図、表17、図版22)

調査区の北側で9.5m分を検出した。溝の幅は40-60cmで直角に曲がる。深さは浅い。溝内から青磁碗が出土している。

SD07 (第42図、図版23)

長さ7.6m、幅40cmの溝中に柵列をつくる。



第42図 溝 (SD07)・柵列 (SA05) 実測図 [1/60]

(4) 近世・近代の遺構と遺物

調査区の南西側でほぼ10m四方の範囲から集中して18基の近世墓を確認した。発掘前は生垣で囲まれており墓碑等は見られなかった。

1号墓 (第43図)

長さ1.65m、幅1.05m、長方形で、深さ1.1m。

2号墓 (第43図)

長さ1.9m、幅1.35m、長方形で、深さ1.2m。

3号墓 (第43図)

長さ2.1m、幅1.4m、長方形で、深さ0.9m。

4号墓 (第43図)

長さ1.6m、幅1.05m、長方形で、深さ1.15m。甕が棺として埋められていた。

5号墓 (第43図)

10号墓と切り合う。長さ1.3m、幅1.0m、長方形で、深さ0.75m。

6号墓 (第43図)

一段目は長さ1.95m、幅1.5m、長方形で、二段目は長さ1.25m、幅0.9m、深さは0.95m。

7号墓 (第43図)

8号墓と並ぶ。長さ1.1m、幅1.1m、方形で、深さ $1.0 + a$ m。小形甕が棺として埋められていた。

8号墓 (第43図)

長さ1.1m、幅1.1m、方形で、深さ $1.0 + a$ m。小形甕が棺として埋められていた。

9号墓 (第43図)

長さ1.35m、幅1.2m、長方形で、深さ1.0m。

10号墓 (第43図)

長さ1.7m、幅1.2m、階段状に二段に掘り下がる。方形で、深さ1.45m。

11号墓 (第43図)

12号墓と切り合う。一辺長さ0.85mの方形で、深さ0.6m。

12号墓 (第43図)

長さ1.3m、幅1.1m、長方形で、深さ1.05m。

13号墓 (第43図)

長さ1.0m、幅0.8m、ほぼ方形で、深さ90cm。

14号墓 (第43図)

長さ1.6m、幅1.0m、長方形で、深さ1.5m。甕と壺が棺として埋められていた。

15号墓 (第43図)

長さ1.2m、幅1.2m、方形で、深さ $1.2 + a$ m。甕が棺として埋められていた。

16号墓 (第43図)

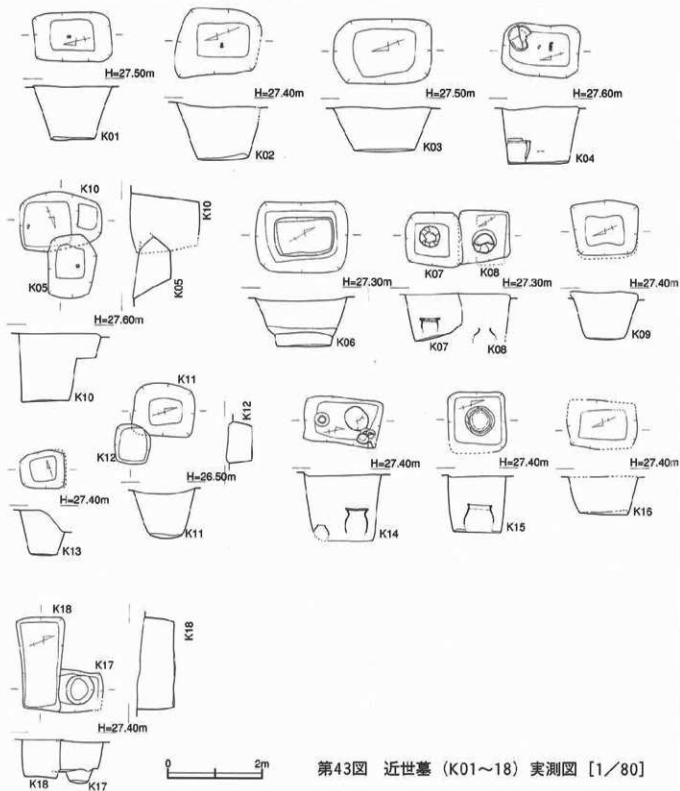
長さ1.6m、幅1.0m、長方形で、深さ1.5m。甕と壺が棺として埋められていた。

17号墓 (第43図)

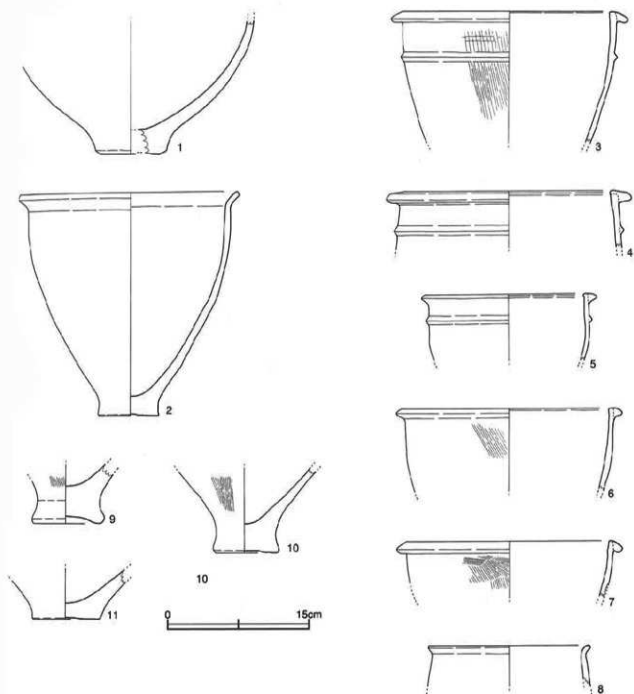
18号墓に切られている。長さ $1.0 + \alpha$ m、幅0.85 m、方形で、深さ95 cm。中央部に直径50 cmのピット。

18号墓 (第43図)

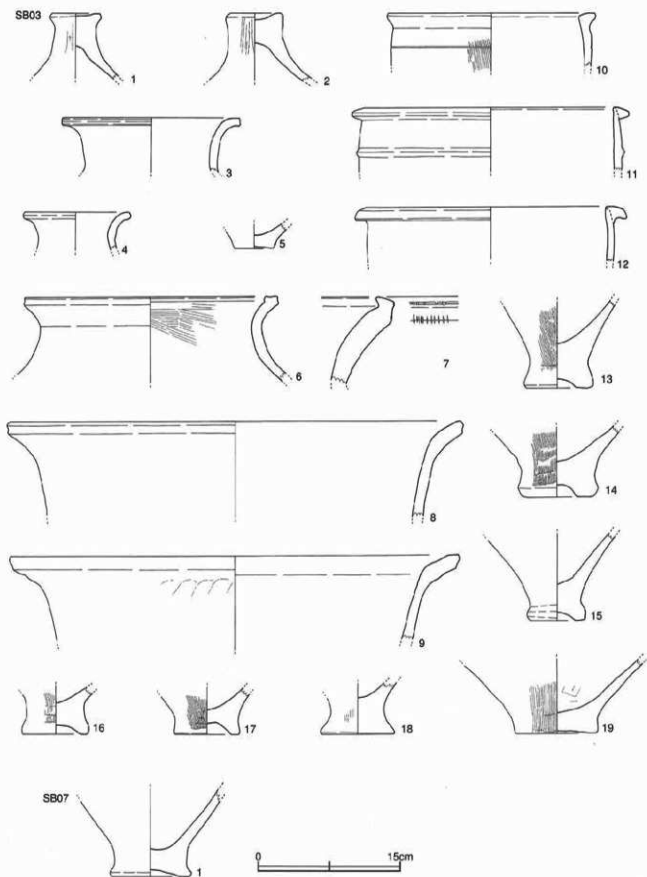
長さ1.95 m、幅0.8-1.0 m、長方形で、深さ80 cm。



第43図 近世墓 (K01~18) 実測図 [1/80]



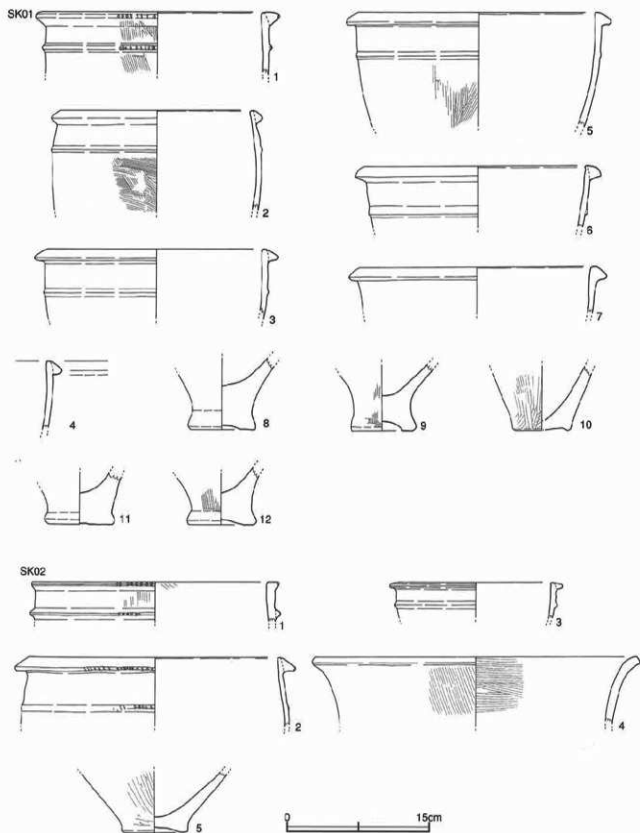
第44図 竪穴住居 (SB02) 出土土器実測図 [1/4]



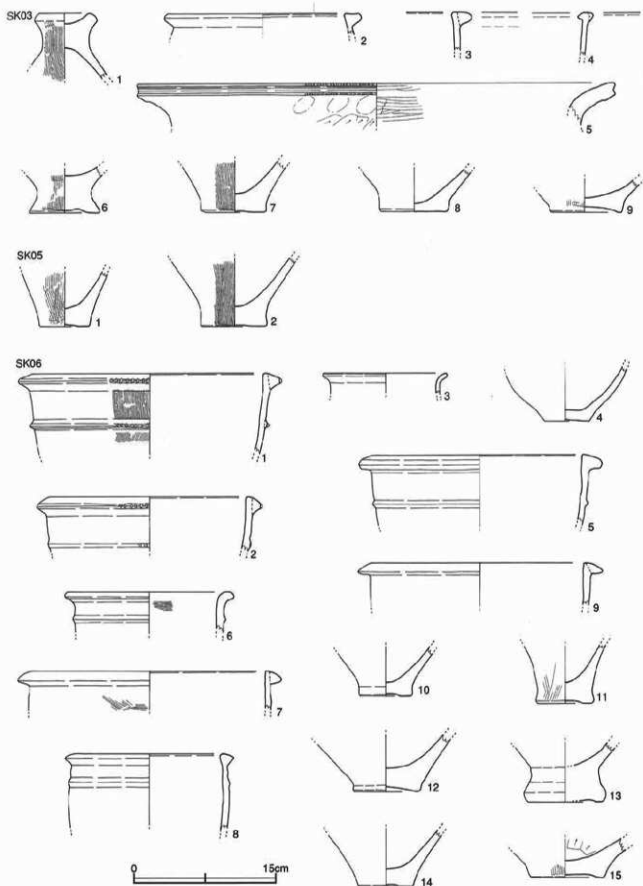
第45図 竪穴住居 (SB03・07) 出土土器実測図 [1/4]

採出 番号	出土 遺構	遺物 番号	鉢 種	口径 (cm)	器高 (cm)	胎 土	色 調	焼成	調 整		備 考	
									外 面	内 面		
第4区 SB02		1	■			1~3mm次の小石が混じる 砂粒を含む	暗茶褐色	やや不良	磨きのちナデ	ナデ		
		2	■	23.1	21.2	1~4mm次の小石が混じる 砂粒を含む・赤灰土混じる	淡黄茶褐色	普通	ヨコナデ	ナデ	一部スス付着・黒斑有り	
		3	■	25.2		1~5mm次の小石が混じる 砂粒を含む	淡黄褐色/黄褐色	普通	ヨコナデ	ハケ目	ナデ	
		4	■	26		1~4mm次の小石が混じる 砂粒を含む	黄灰茶褐色	普通	ヨコナデ	ナデ		
		5	■	18.6		1~3mm次の小石が混じる 砂粒を含む	暗黄褐色	普通	ヨコナデ	ナデ	外面にスス付着	
		6	■	24		1~3mm次の小石が混じる 砂粒を含む	黄褐色	やや不良	ヨコナデ	ハケ目	ナデ	
		7	■	21.8		1~4mm次の小石が混じる 砂粒を含む	赤茶褐色	普通	ヨコナデ	ハケ目	ナデ	
		8	■	17		1~3mm次の小石が混じる 砂粒を含む	暗黄褐色	やや不良	ヨコナデ	不明	ナデ	
		9	■			1~4mm次の小石が混じる 砂粒を含む	黄褐色/暗褐色	普通	ハケ目	ヨコナデ	ナデ	
		10	■			1~4mm次の小石が混じる 砂粒を含む	黄赤褐色/黄褐色	普通	ハケ目のちヨコナデ	ナデ		
		11	■			1~6mm次の小石が混じる 砂粒を含む	暗茶褐色	普通	ナデ	ナデ		
第4区 SB03		1	■			1~3mm次の小石が混じる 砂粒を含む・赤灰土混じる	淡黄褐色	普通	ナデ・ヘウ調整のちナデ	ナデ	黒斑有り	
		2	■			1~5mm次の小石が混じる 砂粒を含む	淡黄赤茶褐色/黄灰褐色	普通	ハケ目	不明	ナデ	
		3	■	18.6		1~5mm次の小石が混じる 砂粒を含む	黄茶褐色	普通	ヨコナデ	ヨコナデ	ヘウ調整	
		4	■	11.1		1~2mm次の小石が混じる 砂粒を含む	黄灰褐色	やや不良	不明	不明		
		5	■			1~3mm次の小石が混じる 砂粒を含む	黄茶褐色	普通	ヘウ調整のちナデ	ナデ	底部スス付着	
		6	■	27		1~3mm次の小石が混じる 砂粒を含む	黄褐色/暗黄灰褐色	普通	ヨコナデ	ナデ	ハケ目	ナデ
		7	■			1~5mm次の小石が混じる 砂粒を含む	淡黄褐色/黄茶褐色	普通	ヨコナデ	ヨコナデ	刻目・沈着・スス付着	
		8	■	47.6		1~6mm次の小石が混じる 砂粒を含む	暗黄褐色/淡黄褐色	やや不良	ヨコナデ	不明	ヨコナデ	ナデ
		9	■	47.4		1~5mm次の小石が混じる 砂粒を含む	暗黄茶褐色	やや不良	ヨコナデ	ナデ	不明	ヨコナデ
		10	■	21.6		1~5mm次の小石が混じる 砂粒を含む	淡黄茶褐色	やや不良	ヨコナデ	ハケ目	ナデ	沈線
		11	■	26.8			黄茶褐色/明茶褐色	やや不良	ヨコナデ	不明	ナデ	
		12	■	24.6		砂粒を含む	淡黄褐色	普通	ヨコナデ	ナデ		
		13	■			1~3mm次の小石が混じる 砂粒を含む	暗黄褐色	普通	ハケ目	ナデ	ナデ	
		14	■			1~5mm次の小石が混じる 砂粒を含む・赤灰土混じる	淡黄褐色	普通	ハケ目	ヨコナデ	不明	ナデ
		15	■			1~4mm次の小石が混じる 砂粒を含む	黄褐色/淡黄褐色	やや不良	不明	ナデ	ナデ	
		16	■			1~4mm次の小石が混じる 砂粒を含む	暗黄褐色	普通	ハケ目のちナデ	ナデ		
		17	■			1~6mm次の小石が混じる 砂粒を含む	暗茶褐色/暗黄褐色	普通	ハケ目	ナデ	不明	
		18	■			1~5mm次の小石が混じる 砂粒を含む	黄茶褐色	普通	ハケ目のちナデ	ナデ		
		19	■			1~7mm次の小石が混じる 砂粒を含む	暗黄褐色	普通	ナデ	ハケ目	ヘウ調整	黒斑有り
SB07		1	■			1~4mm次の小石が混じる 砂粒を含む	暗茶褐色	やや不良	ハケ目	不明	ナデ	不明

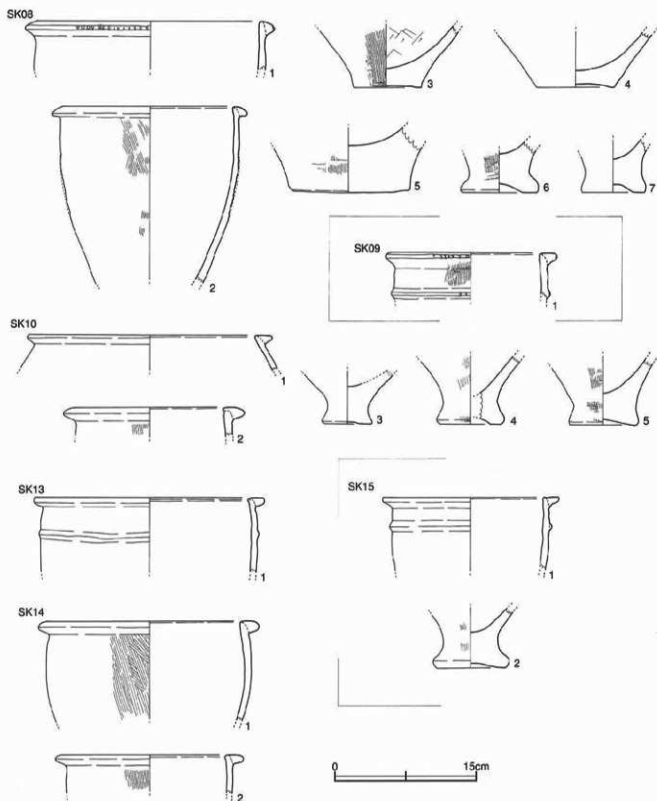
表7 SB02・03・07 出土土器観察表



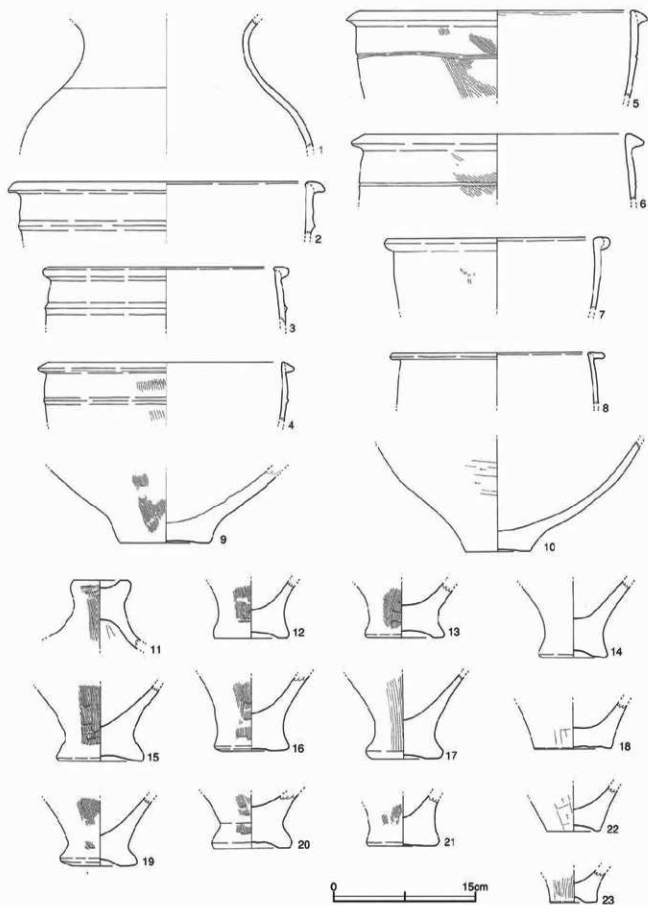
第46図 土壙（SK01・02）出土土器実測図 [1/4]



第47図 土壙 (SK03・05・06) 出土土器実測図 [1/4]

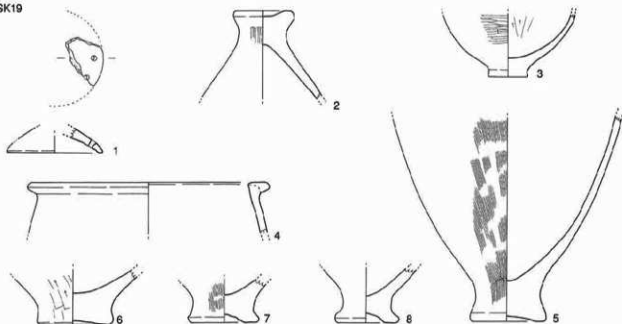


第48図 土壙 (SK08・09・10・13・14・15) 出土土器実測図 [1/4]

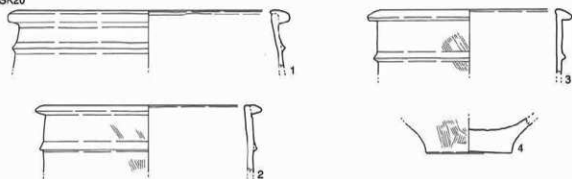


第49図 土壙 (SK18) 出土土器実測図 [1/4]

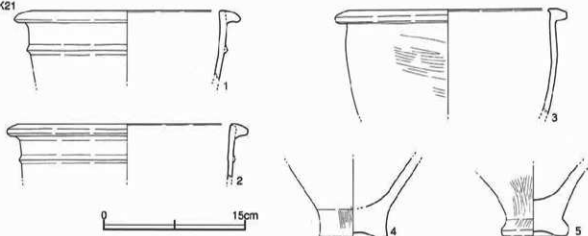
SK19



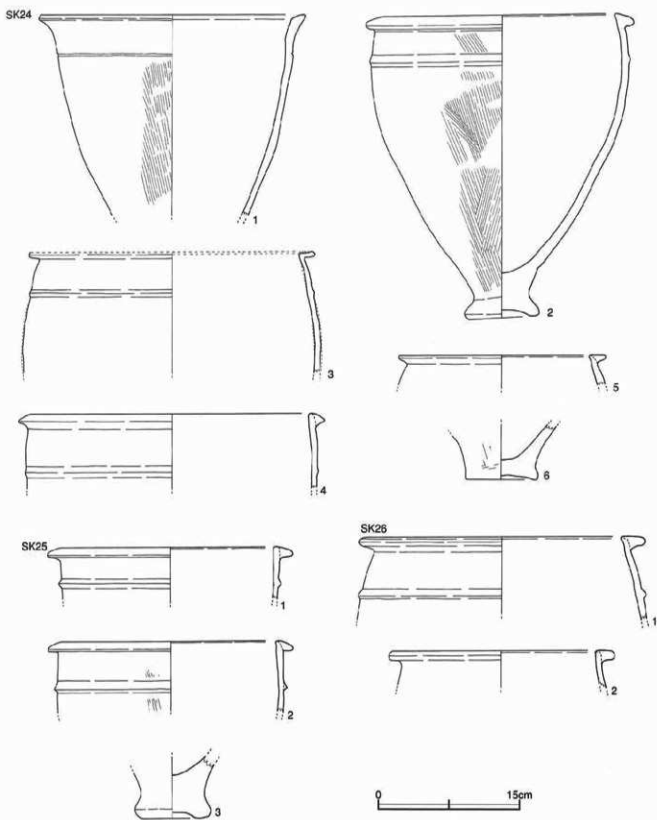
SK20



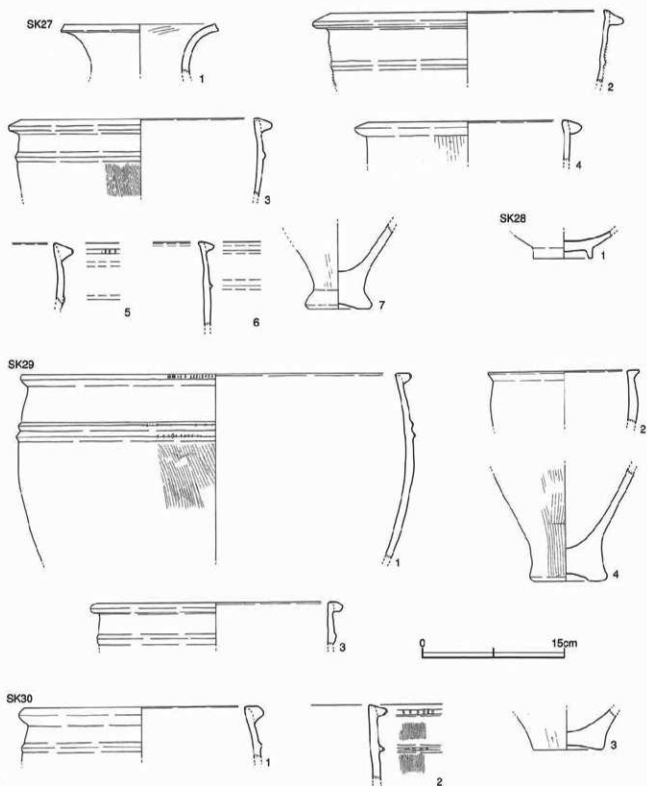
SK21



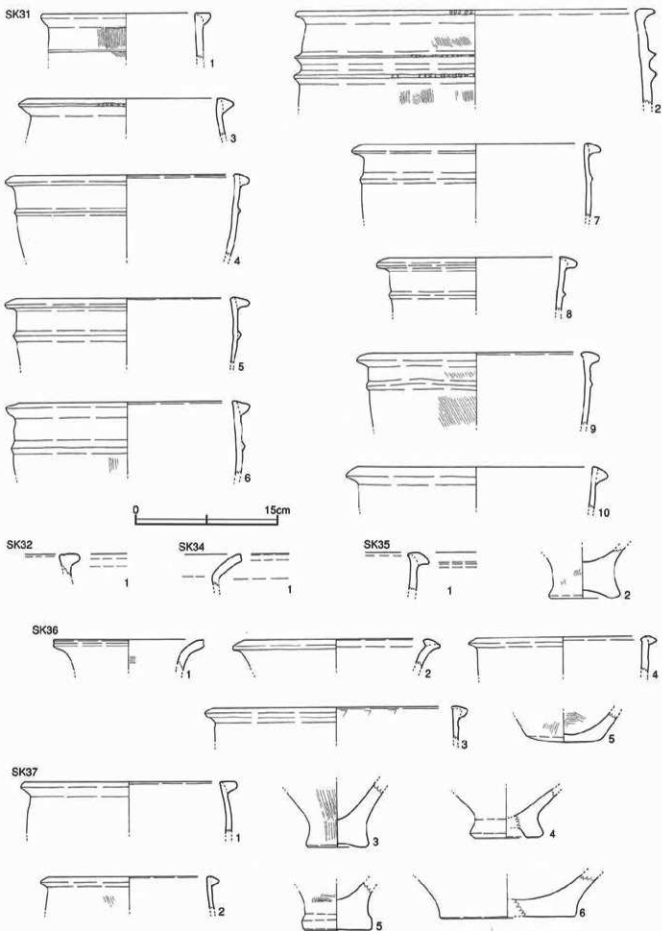
第50図 土壇 (SK19・20・21) 出土土器実測図 [1/4]



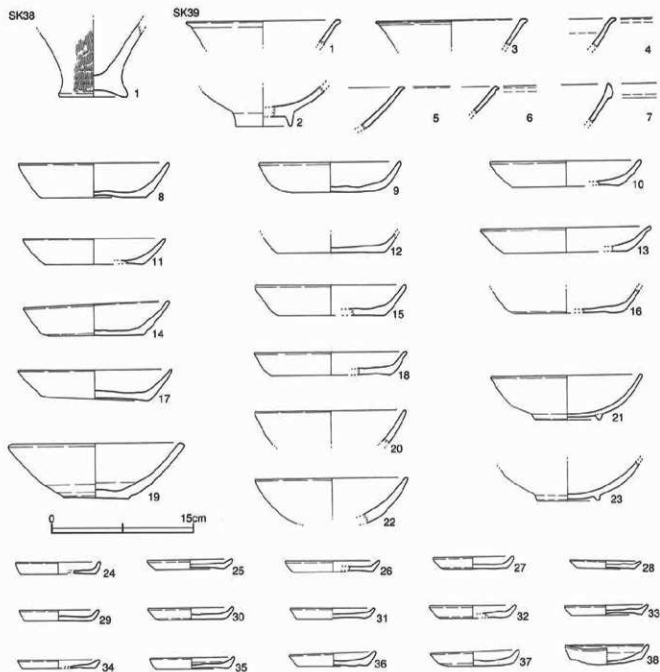
第51図 土壙 (SK24・25・26) 出土土器実測図 [1/4]



第52図 土壇 (SK27・28・29・30) 出土土器実測図 [1/4]

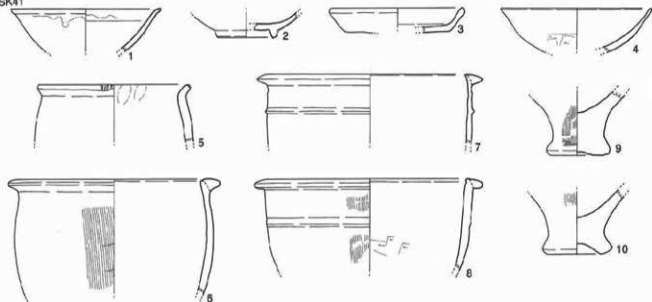


第53図 土壙 (SK31・32・34・35・36・37) 出土土器実測図 [1/4]

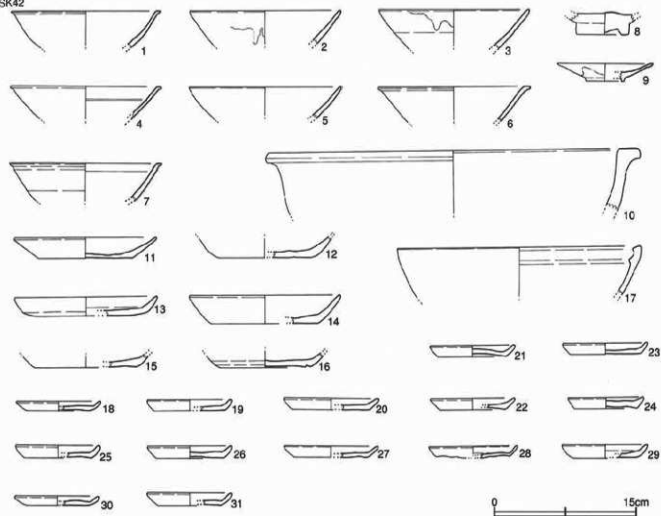


第54図 土墳 (SK38・39) 出土土器実測図 [1/4]

SK41



SK42



SK44

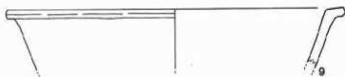
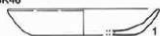


第55図 土壙 (SK41・42・44) 出土土器実測図 [1/4]

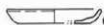
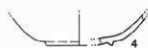
SK45



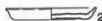
SK46



SK47



SK48



SK50



第56図 土壙 (SK45・46・47・48・50) 出土土器実測図 [1/4]

群別 番号	出土 通称	通称 番号	器 種	口径 (cm)	器高 (cm)	胎 土	色 調	焼成	調 整		備 考	
									外 面	内 面		
第48区	SK01	1	甕	26		1~3mm大の小石が混じる 砂粒を含む	暗黄褐色	普通	ヨコナデ	ハケ目	ナデ	刻目
		2	甕	20		1~4mm大の小石が混じる 砂粒を含む	暗褐色	普通	ヨコナデ	ハケ目	ナデ	
		3	甕	26		1~5mm大の小石が混じる 砂粒を含む	暗茶黄褐色	普通	ヨコナデ	ナデ		スス付着
		4	甕			1~3mm大の小石が混じる 砂粒を含む	黄褐色	普通	ヨコナデ	ハケ目	ナデ	スス付着
		5	甕	28		1~4mm大の小石が混じる 砂粒を含む	黄茶褐色	普通	ヨコナデ	ハケ目	ナデ	スス付着
		6	甕	23		1~4mm大の小石が混じる 砂粒を含む	黄褐色	やや不良	不明	ナデ		
		7	甕	27.4		1~6mm大の小石が混じる 砂粒を含む	黄褐色	やや不良	不明	ナデ		
		8	甕			1~4mm大の小石が混じる 砂粒を含む	黄褐色/暗褐色	やや不良	ハケ目 不明	ナデ		
		9	甕			1~5mm大の小石が混じる 砂粒を含む	黄赤茶褐色/黒褐色	やや不良	ハケ目 不明	ナデ		
		10	甕			1~5mm大の小石が混じる 砂粒を含む	淡黄褐色/黄褐色	やや不良	ハケ目	ナデ	不明	
		11	甕			1~4mm大の小石が混じる 砂粒を含む	淡黄赤褐色/暗褐色	普通	ハケ目	ナデ	ナデ	スス付着
		12	甕			1~4mm大の小石が混じる 砂粒を含む	黄赤褐色	やや不良	ハケ目のちナデ	不明		
SK02		1	甕	24		砂粒を含む	淡黄褐色	普通	30° 45° 60° 75°	ハケ目のちナデ		
		2	甕	26.2		1~3mm大の小石が混じる 砂粒を含む	淡黄褐色	普通	ヨコナデ	ヨコナデ	ナデ	刻目
		3	甕	16		砂粒を含む	淡黒褐色/淡褐色	普通	ヨコナデ	ナデ		
		4	甕	34		1~5mm大の小石が混じる 砂粒を含む	暗黄黒灰褐色	普通	30° 45° 60° 75°	ハケ目		
		5	甕			1~3mm大の小石が混じる 砂粒を含む	黄褐色/暗黄褐色	やや不良	45° 60° 75°	不明		黒斑有り
第47区	SK03	1	甕			1~3mm大の小石が混じる 砂粒を含む	黄赤赤褐色/暗褐色	普通	70° 30°	ハケ目	ナデ	
		2	甕	21		小石が混じる 砂粒を含む	黄褐色	普通	ヨコナデ	ヨコナデ		スス付着
		3	甕			1~5mm大の小石が混じる 砂粒を含む	黄灰褐色	普通	ヨコナデ	ナデ		
		4	甕			1~3mm大の小石が混じる 砂粒を含む	淡茶褐色	普通	30° 45° 60° 75°	ナデ		
		5	甕	50.6		1~5mm大の小石が混じる 砂粒を含む	暗褐色/暗黄灰褐色	普通	ヨコナデ	ヘラ調整	ヘラ磨き	刻目
		6	甕			1~6mm大の小石が混じる 砂粒を含む	暗黄褐色	普通	ハケ目のちナデ	ナデ		
		7	甕			1~3mm大の小石が混じる 砂粒を含む	淡黄灰黒褐色	普通	ハケ目	ヘラ調整	ナデ	
		8	甕			1~3mm大の小石が混じる 砂粒を含む・赤粒も混じる	淡黄褐色	普通	ハケ目の磨き	ナデ	ナデ	黒斑有り
		9	甕			1~6mm大の小石が混じる 砂粒を含む	黄褐色	やや不良	ハケ目のちナデ	不明		
SK05		1	甕			1~7mm大の小石が混じる 砂粒を含む・赤粒も混じる	黄茶褐色	普通	ハケ目	不明	ナデ	
		2	甕			1~6mm大の小石が混じる 砂粒を含む・赤粒も混じる	淡黄褐色	普通	ハケ目	ナデ	磨きがかる	ナデ
SK06		1	甕	28		1~3mm大の小石が混じる 砂粒を含む	暗黄褐色	普通	30° 45°	ハケ目	ナデ	刻目
		2	甕	24		1~4mm大の小石が混じる 砂粒を含む	黄褐色	普通	ヨコナデ	ナデ	ナデ	刻目
		3	甕	13		小石が混じる 砂粒を含む	黄褐色	普通	ナデ	ナデ		
		4	甕			1~4mm大の小石が混じる 砂粒を含む	赤茶黄褐色	やや不良	ヘラ磨き	ナデ	磨きがかる	ナデ
		5	甕	26		1~3mm大の小石が混じる 砂粒を含む	黄褐色	普通	ヨコナデ	ナデ		
		6	甕	18		小石が混じる 砂粒を含む	黄褐色	不良	不明	ハケ目	ナデ	
		7	甕	25		小石が混じる 砂粒を含む	暗黄褐色	普通	ヨコナデ	ナデ		
		8	甕	16		1~3mm大の小石が混じる 砂粒を含む	暗黄褐色	不良	不明	ナデ		
		9	甕	23		1~4mm大の小石が混じる 砂粒を含む	黄褐色	不良	不明	不明		
		10	甕			小石が混じる 砂粒を含む	黄褐色	不良	ナデ	不明		
		11	甕			1~6mm大の小石が混じる 砂粒を含む	淡黄茶褐色/暗黄褐色	不良	ハケ目	ナデ		スス付着
		12	甕			1~6mm大の小石が混じる 砂粒を含む	淡黄灰褐色	やや不良	ナデ	ナデ		
		13	甕			1~4mm大の小石が混じる 砂粒を含む	赤茶黄褐色/黄褐色	やや不良	不明	ナデ	ナデ	
		14	甕			1~3mm大の小石が混じる 砂粒を含む	黄灰赤褐色/黄褐色	やや不良	ナデ	不明		
		15	甕			1~5mm大の小石が混じる 砂粒を含む	黄灰褐色/茶褐色	普通	ハケ目の磨き	ヘラ調整		
第48区	SK08	1	甕	23.4		1~3mm大の小石が混じる 砂粒を含む	淡黄褐色	普通	ヨコナデ	ヨコナデ		刻目
		2	甕	13		1~5mm大の小石が混じる 砂粒を含む	暗黄茶褐色/淡黄褐色	やや不良	ハケ目	ナデ	ナデ	スス付着
		3	甕			1~6mm大の小石が混じる 砂粒を含む	黄灰褐色/暗茶褐色	普通	ハケ目のちナデ	ヘラ調整		スス付着
		4	甕			砂粒を含む	淡褐色/黄茶褐色	普通	磨きがかる	ナデ		
		5	甕			1~5mm大の小石が混じる 砂粒を含む	暗黄褐色/淡褐色	やや不良	ハケ目のちナデ	不明	ナデ	
		6	甕			1~3mm大の小石が混じる 砂粒を含む	黄褐色/淡褐色	普通	ハケ目ヨコナデ	不明	ヘラ調整	

表8 SK01・02・03・05・06・08 出土土器観察表

採出 番号	出土 遺物 番号	器 種	口径 (mm)	底高 (cm)	胎 土	色 調	焼成	調 整		備 考		
								外 面	内 面			
第4区	SK08	7	甕		1~5mm大の小石が混じる 砂粒を含む	暗黄茶褐色	普通	ナデ	ヨコナデ	ナデ		
	SK09	1	甕	18	砂粒を含む	暗褐色	普通	ヨコナデ	ハゲ目	ナデ	刻目	
	SK10	1	甕	22.6	1~4mm大の小石が混じる 砂粒を含む	黄灰褐色	普通	ヨコナデ	ヨコナデ			
	2	甕	20.2	1~3mm大の小石が混じる 砂粒を含む	黄茶褐色	普通	ヨコナデ	ハゲ目	ナデ			
	3	甕		1~10mm大の小石が混じる 砂粒を含む	暗茶褐色	やや不良	不明	ナデ				
	4	甕		砂粒を含む	黄灰褐色	普通	ハゲ目	ナデ	ナデ			
	5	甕		1~5mm大の小石が混じる 砂粒を含む	暗黄茶褐色/淡黄褐色	やや不良	ハゲ目	ナデ	ナデ			
	SK13	1	甕	24.2	1~3mm大の小石が混じる 砂粒を含む	暗黄褐色/淡黄褐色	やや不良	ヨコナデ	不明	ハゲ目(摩耗)		
	SK14	1	甕	23.4	1~3mm大の小石が混じる 砂粒を含む	淡黄暗褐色	普通	ヨコナデ	ハゲ目	ヨコナデ	ナデ	黒斑有り
	2	甕	20	砂粒を含む	淡黄茶褐色/淡黄黒褐色	やや不良	ヨコナデ	ハゲ目	不明			
第5区	SK15	1	甕	15.4	砂粒を含む	淡褐色	やや不良	不明	ナデ	ヨコナデ	不明	ナデ
	2	甕		砂粒を含む	暗黄茶褐色	やや不良	ハゲ目	ヨコナデ	ナデ			
	SK18	1	甕		1~5mm大の小石が混じる 砂粒を含む	黄灰褐色	やや不良	不明	不明			沈線
	2	甕	33.6	1~4mm大の小石が混じる 砂粒を含む	淡黄褐色	普通	ヨコナデ	ヨコナデ	ナデ			
	3	甕	26	1~3mm大の小石が混じる 砂粒を含む	赤茶黄褐色	普通	ヨコナデ	ナデ				
	4	甕	24.6	砂粒を含む	黄茶褐色	普通	ハゲ目のヨコナデ				スス付着	
	5	甕	29	1~3mm大の小石が混じる 砂粒を含む	黄灰褐色/黄褐色	普通	ヨコナデ	ハゲ目	ナデ			沈線
	6	甕	27.2	1~5mm大の小石が混じる 砂粒を含む	淡黄褐色	普通	ヨコナデ	ハゲ目	ナデ			沈線
	7	甕	24	1~3mm大の小石が混じる 砂粒を含む	暗灰黒褐色/黄灰褐色	不良	ヨコナデ	ハゲ目	ナデ			
	8	甕	22.8	1~5mm大の小石が混じる 砂粒を含む	淡黄灰褐色	やや不良	ヨコナデ	不明	ヨコナデ			スス付着
第6区	9	甕		1~5mm大の小石が混じる 砂粒を含む・産地不明	暗黄茶褐色	やや不良	ハゲ目	ナデ	不明			黒斑有り
	10	甕		1~5mm大の小石が混じる 砂粒を含む・産地不明	淡黄褐色/黄灰褐色	やや不良	ナデ	産地不明	ナデ			
	11	甕		1~3mm大の小石が混じる 砂粒を含む	暗黄茶褐色	普通	不明	ヨコナデ	ハゲ目	ヘラ調整の5ナデ		
	12	甕		1~5mm大の小石が混じる 砂粒を含む	淡茶灰褐色/黄灰褐色	やや不良	ハゲ目	ヨコナデ	不明			
	13	甕		1~3mm大の小石が混じる 砂粒を含む	淡黄茶褐色/淡褐色	普通	ハゲ目のヨコナデ	ナデ				
	14	甕		1~4mm大の小石が混じる 砂粒を含む	黄灰褐色	普通	ナデ	ハゲ目のヨコナデ	ナデ			
	15	甕		1~7mm大の小石が混じる 砂粒を含む	淡黄褐色	普通	ハゲ目	ハゲ目のヨコナデ	ナデ			黒斑有り
	16	甕		1~3mm大の小石が混じる 砂粒を含む	淡黄褐色/淡黒褐色	普通	ハゲ目	ヨコナデ	ナデ			スス付着
	17	甕		1~5mm大の小石が混じる 砂粒を含む	淡黄灰褐色/淡褐色	普通	ハゲ目	ヨコナデ	不明	ナデ		
	18	甕		1~5mm大の小石が混じる 砂粒を含む	暗黄灰褐色	やや不良	ヘラ調整	ナデ	ヘラ調整の5ナデ			
第7区	19	甕		砂粒を含む	黄灰褐色/淡褐色	普通	ハゲ目のヨコナデ	ナデ				
	20	甕		1~3mm大の小石が混じる 砂粒を含む	淡黄褐色	やや不良	ハゲ目	ヨコナデ	ナデ			
	21	甕		1~3mm大の小石が混じる 砂粒を含む	淡黄褐色/淡褐色	普通	ハゲ目	ヨコナデ	ナデ			スス付着
	22	甕		1~5mm大の小石が混じる 砂粒を含む・産地不明	淡黄茶褐色/淡黄灰褐色	普通	ヘラ調整	ナデ	ナデ			
	23	甕		1~3mm大の小石が混じる 砂粒を含む	黄灰褐色	やや不良	ハゲ目	不明	ナデ	ナデ		
	SK19	1	壺		砂粒を含む	淡褐色	普通	ナデ	ナデ			孔
	2	壺		1~3mm大の小石が混じる 砂粒を含む	黄茶褐色/暗褐色	やや不良	ナデ	ハゲ目のヨコナデ	不明			スス付着
	3	壺		1~3mm大の小石が混じる 砂粒を含む	暗黄黒褐色	やや不良	ヘラ磨き	不明	ヘラ調整	不明		
	4	壺		1~4mm大の小石が混じる 砂粒を含む	黄灰褐色	やや不良	ヨコナデ	不明	不明			
	5	壺		1~5mm大の小石が混じる 砂粒を含む	暗黄茶褐色/暗黄褐色	やや不良	ハゲ目	ヨコナデ	ナデ	不明	ナデ	スス付着 黒斑有り
第8区	6	壺		1~5mm大の小石が混じる 砂粒を含む	暗茶褐色/淡黄褐色	普通	ヘラ調整	ナデ	ナデ			
	7	壺		1~5mm大の小石が混じる 砂粒を含む	暗黄褐色/黄褐色	やや不良	ハゲ目	不明	ナデ	ナデ		
	8	壺		1~5mm大の小石が混じる 砂粒を含む	黄茶褐色	やや不良	不明	ヨコナデ	ナデ	ナデ		
	SK20	1	甕	26	1~3mm大の小石が混じる 砂粒を含む	黄灰褐色	普通	ヨコナデ	ナデ			
	2	甕	20.4	1~3mm大の小石が混じる 砂粒を含む	暗黄褐色/黄灰褐色	普通	ヨコナデ	ハゲ目のヨコナデ	ナデ			
	3	甕	19	小石が混じる 砂粒を含む	淡黄茶褐色	普通	ヨコナデ	ハゲ目のヨコナデ	ナデ			スス付着
	4	甕		1~4mm大の小石が混じる 砂粒を含む	淡黄褐色	普通	ハゲ目	ヨコナデ	ナデ	ナデ		
	SK21	1	甕	19.6	小石が混じる 砂粒を含む	黄褐色	普通	ヨコナデ	ナデ	ナデ		
	2	甕	22	1~5mm大の小石が混じる 砂粒を含む	黄褐色	普通	ヨコナデ	ナデ	ナデ			スス付着

表9 SK08・09・10・13・14・15・18・19・20・21 出土土器観察表

採出 番号	出土 遺構	遺物 番号	器 種	口 径 (cm)	器 高 (cm)	胎 土	色 調	焼成	装 飾		備 考	
									外 面	内 面		
第50区	SK21	3	甕	21.2		1~7mm大の小石が混じる 砂粒を含む	暗黄灰褐色	普通	ヨコナデ ハケ目	ヨコナデ ナデ		
		4	甕			1~3mm大の小石が混じる 砂粒を含む	黄灰褐色/黄茶褐色	普通	ナデ 内面ナデナデ	ヘラ調整		
		5	甕			1~3mm大の小石が混じる 砂粒を含む	暗黄褐色/暗褐色	普通	ナデ 内面ナデナデ	ナデ		
		1	甕	28.3		1~9mm大の小石が混じる 砂粒を含む	暗茶褐色	普通	ヨコナデ ハケ目	ヨコナデ ナデ	スス付 黒斑有り	
		2	甕	24	31.6	1~4mm大の小石が混じる 砂粒を含む	茶黄灰褐色	普通	ヨコナデ ハケ目 ナデ	ナデ	スス付 黒斑有り	
第51区	SK24	3	甕	27		1~5mm大の小石が混じる 砂粒を含む	明黄赤茶褐色/暗黄灰褐色	不良	不明	不明		
		4	甕	20.2		1~3mm大の小石が混じる 砂粒を含む・底面ナデ	淡黄褐色	やや不良	不明	不明		
		5	甕	18.6		砂粒を含む	淡黒褐色	普通	ヨコナデ 内面ナデナデ	ヨコナデ ナデ		
		6	甕			1~5mm大の小石が混じる 砂粒を含む	暗茶暗褐色/暗褐色	やや不良	ヘラ調整 ナデ	ヘラ調整のナデ		
		1	甕	22		1~5mm大の小石が混じる 砂粒を含む	黄褐色/暗黄灰褐色	普通	ヨコナデ	ヨコナデ ナデ		
		2	甕	22.4		1~3mm大の小石が混じる 砂粒を含む	黄灰褐色	やや不良	ヨコナデ 内面ナデナデ	ナデ	スス付 黒斑有り	
第52区	SK27	3	甕			1~4mm大の小石が混じる 砂粒を含む	黄赤褐色/暗黄褐色	やや不良	ナデ 不明	不明		
		1	甕	25.2		1~9mm大の小石が混じる 砂粒を含む	淡黄灰黒褐色	普通	ヨコナデ	ナデ		
		2	甕	19.8		砂粒を含む	暗茶褐色/明茶褐色	普通	ヨコナデ ナデ	ヨコナデ ナデ		
		1	甕	16		1~3mm大の小石が混じる 砂粒を含む	淡黄灰褐色/暗黄灰褐色	普通	ヨコナデ	内面ナデナデ	ナデ	
		2	甕	29		1~3mm大の小石が混じる 砂粒を含む	黒褐色	やや不良	ヨコナデ 不明	ヨコナデ ナデ		
		3	甕	24.2		1~3mm大の小石が混じる 砂粒を含む	暗黄褐色/黄褐色	普通	ヨコナデ ハケ目	ヨコナデ ナデ		
		4	甕	20		1~4mm大の小石が混じる 砂粒を含む	暗黄褐色/淡黄褐色	普通	ヨコナデ ナデ	ヨコナデ ナデ		
第53区	SK30	5	甕			1~3mm大の小石が混じる 砂粒を含む	暗黄褐色	不良	ヨコナデ 不明	不明		
		6	甕			1~5mm大の小石が混じる 砂粒を含む	暗褐色	普通	ヨコナデ ハケ目	ヨコナデ ヘラ調整		
		7	甕			1~4mm大の小石が混じる 砂粒を含む	黄茶褐色	不良	ナデ 内面ナデナデ	不明		
		1	白磁 埴			精選されている	淡灰色の胎に透明釉がかかる	良好	黒斑ナデ 内面ナデ	施釉		
		1	甕	38.6		砂粒を含む	暗黄灰褐色/暗黄褐色	普通	ヨコナデ ハケ目	ヨコナデ ナデ	黒目 スス付 黒斑有り	
		2	甕	13.4		1~3mm大の小石が混じる 砂粒を含む	暗茶灰黒褐色/淡黄褐色	やや不良	ヨコナデ 不明	ヨコナデ ナデ		
		3	甕	24		1~5mm大の小石が混じる 砂粒を含む	黄灰褐色	やや不良	不明	不明		
第54区	SK31	4	甕			1~5mm大の小石が混じる 砂粒を含む	黄茶褐色/暗褐色	普通	ハケ目 ナデ	ナデ	スス付 黒斑有り	
		1	甕	22		1~3mm大の小石が混じる 砂粒を含む	淡黄灰褐色	普通	ヨコナデ	ヨコナデ ナデ		
		2	甕			1~3mm大の小石が混じる 砂粒を含む	黄茶褐色	普通	ヨコナデ ハケ目	ナデ	黒目	
		3	甕			1~5mm大の小石が混じる 砂粒を含む	暗黄褐色	やや不良	ヘラ調整 ナデ	ナデ		
		1	甕	14.8		1~5mm大の小石が混じる 砂粒を含む	淡黄褐色	普通	ヨコナデ ハケ目	ヨコナデ ナデ	沈線 黒斑有り	
		2	甕	35.2		砂粒を含む	暗黄褐色/淡黄褐色	普通	ヨコナデ 内面ナデナデ	ヨコナデ ナデ		
		3	甕	19.2		砂粒を含む	黄茶褐色	普通	ヨコナデ	ヨコナデ	黒目	
		4	甕	22.6		1~3mm大の小石が混じる 砂粒を含む	黄灰褐色/茶褐色	やや不良	ヨコナデ 不明	ナデ		
		5	甕	22		1~3mm大の小石が混じる 砂粒を含む	黄褐色	普通	ヨコナデ 不明	ナデ		
		6	甕	22.2		1~5mm大の小石が混じる 砂粒を含む	暗黄茶褐色	やや不良	ヨコナデ ハケ目	ヨコナデ ナデ	スス付 黒斑有り	
第55区	SK32	7	甕	23		1~5mm大の小石が混じる 砂粒を含む	暗黄灰褐色/暗黄茶褐色	やや不良	不明	ナデ	スス付 黒斑有り	
		8	甕	17.8		砂粒を含む	淡黄灰褐色/暗黄褐色	普通	ヨコナデ	ナデ		
		9	甕	22.4		1~7mm大の小石が混じる 砂粒を含む	暗黄灰褐色	やや不良	ヨコナデ ハケ目	ヨコナデ ナデ	スス付 黒斑有り	
		10	甕	25.4		1~4mm大の小石が混じる 砂粒を含む	淡黄褐色	普通	ヨコナデ	ナデ		
		1	甕			1~4mm大の小石が混じる 砂粒を含む	淡黄褐色	普通	ヨコナデ	ヨコナデ		
		1	甕			1~4mm大の小石が混じる 砂粒を含む	黄褐色	普通	ヨコナデ	ヨコナデ		
		1	甕			1~3mm大の小石が混じる 砂粒を含む	淡黄褐色	普通	ヨコナデ	ヨコナデ		
		2	甕			1~3mm大の小石が混じる 砂粒を含む	黄茶灰褐色/暗灰褐色	やや不良	不明	ナデ 内面ナデナデ	ナデ	
		1	甕	16		小石が混じる 砂粒を含む	暗褐色	普通	ヨコナデ	ヨコナデ ハケ目		
		2	甕	20		1~3mm大の小石が混じる 砂粒を含む	黄茶褐色	普通	ヨコナデ	ヨコナデ ナデ		
第56区	SK33	3	甕	26		1~3mm大の小石が混じる 砂粒を含む	黄茶褐色	普通	ヨコナデ	ナデ		
		4	甕	18		1~3mm大の小石が混じる 砂粒を含む	淡黄褐色一部茶褐色	普通	ヨコナデ ナデ	ナデ		
		5	甕			1~3mm大の小石が混じる 砂粒を含む	黄褐色/黄灰褐色	不良	ハケ目 不明	ハケ目	黒斑有り	
		1	甕	20		1~5mm大の小石が混じる 砂粒を含む	黄灰赤褐色	やや不良	不明	ヨコナデ ナデ		

表10 SK21・24・25・26・27・28・29・30・31・32・35・36・37 出土土器観察表

標記 番号	出土 遺跡	遺物 番号	器 種	口径 (cm)	高さ (cm)	胎 土	色 調	焼成	調 整		備 考
									外 面	内 面	
第55回 SK37	*	2	甕	17		1~3mm次の小石が混じる 砂粒を含む	黄褐色	普通	ハケ目のヨコナデ	ヨコナデ	黒斑有り
		3	甕			1~4mm次の小石が混じる 砂粒を含む	暗黄褐色	普通	ハケ目 ナデ	ナデ	
		4	甕			1~4mm次の小石が混じる 砂粒を含む	黄灰褐色	やや不良	ハケ目 ヨコナデ ナデ	不明	
		5	甕			1~3mm次の小石が混じる 砂粒を含む	暗黄褐色	やや不良	ハケ目のヨコナデ ナデ	不明 ナデ	
		6	甕			1~4mm次の小石が混じる 砂粒を含む	黄灰褐色	普通	磨きがかかるナデ	ナデ	
第56回 SK38	*	1	甕			砂粒を含む	淡黄褐色/暗黄褐色	普通	ハケ目 ナデ	ナデ	黒斑有り
		SK38	白磁 埴	16		精選されている	淡灰色の胎に透明釉がかかる	良好	施釉	施釉	
		2	白磁 埴			精選されている	白灰色の胎に淡灰色の釉がかかる	良好	施釉 面取ハケ目	施釉	
		3	白磁 埴	16.2		精選されている	白灰色の胎に透明釉がかかる	良好	施釉	施釉	貫入がある
		4	白磁 埴			精選されている	白灰色の胎に透明釉がかかる	良好	施釉	施釉	気泡が多数有る
		5	白磁 埴			精選されている	乳白色の胎に淡黄白色の釉がかかる	良好	施釉	施釉	気泡が多数有る
第57回 SK39	*	6	白磁 埴			精選されている	淡白色の胎に光沢のある透明釉がかかる	良好	施釉	施釉	
		SK39	白磁 埴			精選されている	淡灰色の胎に淡灰色の釉	良好	施釉	施釉	玉縁口縁 貫入がある
		8	土師器 埴	16	3.6	1~4mm次の小石が混じる 砂粒を含む	黄茶褐色/淡黄褐色	やや不良	ヨコナデ 磨きの痕跡	ヨコナデ ナデ	
		9	土師器 埴	15	3.2	1~3mm次の小石が混じる 砂粒を含む	淡黄褐色	やや不良	ナデ 磨きの痕跡	不明 ナデ	
		10	土師器 埴	16	2.7	砂粒を含む	淡黄褐色	やや不良	不明	ナデ	
		11	土師器 埴	15	2.7	砂粒を含む 黄灰土混入	茶褐色	不良	不明	不明	
第58回 SK40	*	12	土師器 埴			小石が混じる 砂粒を含む	淡黄灰褐色	やや不良	ヨコナデ 糸切り	ナデ	
		13	土師器 埴	18	2.6	砂粒を含む	淡黄褐色	普通	ヨコナデ 糸切り	ヨコナデ ナデ	
		14	土師器 埴	15.3	3.3	1~3mm次の小石が混じる 砂粒を含む	淡黄褐色	普通	ヨコナデ 磨きの痕跡	ナデ	
		15	土師器 埴	16	3.2	小石が混じる 砂粒を含む	淡黄灰褐色に茶が混じる	普通	ヨコナデ 磨きの痕跡	ヨコナデ ナデ	
		16	土師器 埴			1~3mm次の小石が混じる 砂粒を含む	淡黄褐色	普通	ヨコナデ 磨きの痕跡	ナデ	
		17	土師器 埴	16.3	3.1	砂粒を含む 赤砂土混入	濃黄褐色	やや不良	ヨコナデ 不明	ヨコナデ 磨きの痕跡	黒斑有り
第59回 SK41	*	18	土師器 埴	16.2	2.4	砂粒を含む	淡黄灰褐色	やや不良	ヨコナデ 磨きの痕跡	ヨコナデ 不明	
		19	瓦器 埴	17.8	5.7	1~10mm次の小石が混じる 砂粒を含む	灰黄黒褐色	普通	ヨコナデ 糸切り	ヨコナデ ナデ	
		20	埴	15		1~4mm次の小石が混じる 砂粒を含む	黒褐色	不良	不明	不明	
		21	瓦器 埴	16	4.6	1~6mm次の小石が混じる 砂粒を含む	暗灰褐色	普通	ナデ ハケ目 ナデ	ヨコナデ ナデ	
		22	瓦器 埴	16		1~4mm次の小石が混じる 砂粒を含む	黒褐色/淡灰黒褐色	やや不良	ヨコナデ 不明	ヨコナデ 磨きの痕跡	
		23	瓦器 埴			1~4mm次の小石が混じる 砂粒を含む	淡黄褐色	不良	不明 ナデ	不明	黒斑有り
第60回 SK42	*	24	土師器 皿	9	1.3	小石が混じる 砂粒を含む	淡茶褐色	不良	不明	不明	
		25	土師器 皿	9	1	小石が混じる 砂粒を含む	淡黄褐色	不良	ヨコナデ 糸切り	不明	
		26	土師器 皿	10	1.2	砂粒を含む	暗黄褐色	普通	ヨコナデ 糸切り	ヨコナデ	
		27	土師器 皿	8.4	1.3	砂粒を含む	淡灰黄褐色	普通	ヨコナデ 磨きの痕跡	ナデ	
		28	土師器 皿	7.1	0.9	砂粒を含む	淡黄褐色	やや不良	ヨコナデ 磨きの痕跡	ヨコナデ ナデ	
		29	土師器 皿	8.3	1.1	小石が混じる 砂粒を含む	黄灰褐色/淡黄灰褐色に明黄褐色	普通	ヨコナデ 磨きの痕跡	ナデ	
第61回 SK43	*	30	土師器 皿	9	1.3	砂粒を含む	淡黄灰褐色	やや不良	ヨコナデ 磨きの痕跡	ナデ	
		31	土師器 皿	8.7	1.2	砂粒を含む	黄褐色	やや不良	ヨコナデ 不明	ナデ	
		32	土師器 皿	9	1.3	小石が混じる 砂粒を含む	淡黄褐色	不良	不明 糸切り	不明	
		33	土師器 皿	8.8	1	小石が混じる 砂粒を含む	黄灰明茶褐色	普通	ヨコナデ 磨きの痕跡	ナデ	
		34	土師器 皿	8.6	0.9	砂粒を含む	淡茶褐色	普通	ナデ 磨きの痕跡	ナデ	
		35	土師器 皿	8.8	1.2	砂粒を含む	黄茶褐色	やや不良	不明 磨きの痕跡	不明	
第62回 SK44	*	36	土師器 皿	8.9	1.4	1~6mm次の小石が混じる 砂粒を含む	黄茶褐色	やや不良	ヨコナデ ハケ目の痕跡	ヨコナデ ナデ	
		37	土師器 皿	9.4	0.8	1~8mm次の小石が混じる 砂粒を含む	暗黄褐色/暗黄茶褐色	やや不良	ヨコナデ 磨きの痕跡	ヨコナデ ナデ	
		38	瓦器 皿	8.8	2	細砂粒を含む	濃黒褐色	やや不良	ヨコナデ ハケ目の痕跡	ヨコナデ ハケ目調整	
		SK44	白磁 埴	16		精選されている	暗灰色の胎に灰色の釉がかかる	良好	施釉 面取ハケ目	施釉	気泡がある
		2	白磁 埴			精選されている	淡灰黄色の胎に淡灰色/淡灰褐色の釉がかかる	良好	施釉 面取ハケ目	施釉	
		3	土師器 埴	14		砂粒を含む	淡黄褐色	やや不良	ヨコナデ 糸切り	ヨコナデ 磨きの痕跡	生焼
第63回 SK45	*	4	瓦器 埴	16		1~3mm次の小石が混じる 砂粒を含む	濃黄灰褐色	やや不良	ヨコナデ 磨きの痕跡	ヨコナデ 磨きがかかる	生焼
		5	弥生 甕	15.8		1~3mm次の小石が混じる 砂粒を含む	淡黒褐色/淡黄褐色	普通	ヨコナデ ナデ	ヨコナデ 不明	割目

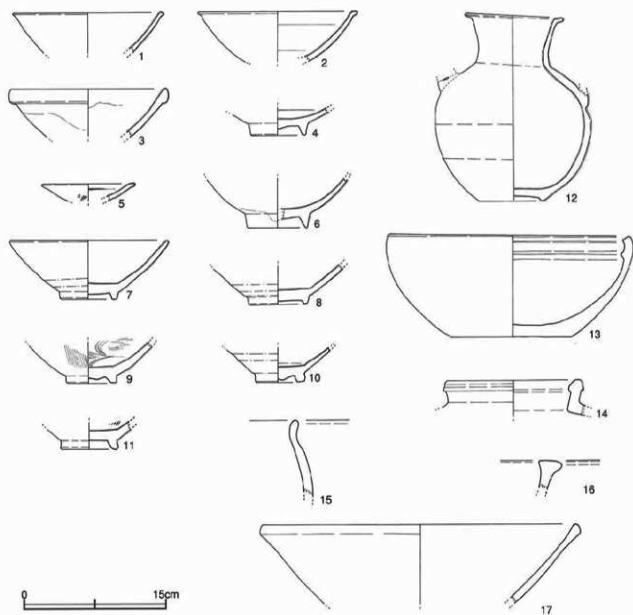
表 11 SK37・38・39・41 出土土器観察表

採出 番号	出土 遺構	遺物 番号	器 種	口径 (cm)	高さ (cm)	胎 土	色 調	焼 成	調 整		備 考
									外 面	内 面	
第50区 SK41		6	弥生 甕	18.4		1~5mm程度の小石が混じる 砂粒を含む	暗褐色・暗黄褐色	普通	ヨコナデ ハケ目	ナデ	
		7	弥生 甕	20.8		1~3mm程度の小石が混じる 砂粒を含む	淡黄褐色	普通	ヨコナデ ナデ	ヨコナデ ナデ	スス付着
		8	弥生 甕	20.8		1~8mm程度の小石が混じる 砂粒を含む	暗黄灰黒褐色/黄褐色	普通	ヨコナデ 絞め縞	ヨコナデ ハケ目調整	スス付着
		9	弥生 甕			1~4mm程度の小石が混じる 砂粒を含む	黄明茶褐色/黄褐色	やや不良	ハケ目 ナデ 不明	ナデ	
		10	弥生 甕			1~5mm程度の小石が混じる 砂粒を含む	暗黄褐色	普通	ハケ目 ナデ	ナデ	
		SK42 1	白磁 埴	14.8		精選されている	灰色の胎に淡灰色の釉がかかる	良好	施釉	施釉	気泡がわずかに入る
		2	白磁 埴	15		精選されている	灰色の胎に淡灰緑色の釉がかかる	良好	施釉	施釉	貫入がある
		3	白磁 埴	15		精選されている	灰色の胎に淡灰緑色の釉がかかる	良好	施釉	施釉	貫入がある
		4	白磁 埴	15		精選されている	濁白色の胎に濁白色の釉がかかる	良好	施釉	施釉	気泡が多量に 広範囲
		5	白磁 埴	15		精選されている	灰色の胎に淡灰色の釉がかかる	良好	施釉	施釉	
		6	白磁 埴	15		精選されている	灰色の胎に淡灰色の釉がかかる	良好	施釉	施釉	
		7	白磁 埴	15		精選されている	灰色の胎に淡灰色の釉がかかる	良好	施釉	施釉	気泡がある
		8	青磁 埴			精選されている	暗灰色の胎に濃緑色の釉がかかる	良好	絞め縞/ハケ目	施釉	わずかに貫入有り
		9	白磁 小皿	4 1.8		精選されている	灰白色の胎に白灰色の釉がかかる	良好	施釉	施釉	
		10	陶器 鉢	35		1~7mm程度の小石が混じる 砂粒を含む	暗黄褐色/黄褐色	普通	ヨコナデ ナデ	ナデ	
		11	土師器 坏	15.2 2.2		1~3mm程度の小石が混じる 砂粒を含む	淡黄灰褐色	不良	不明	不明	
		12	土師器 坏			1~5mm程度の小石が混じる 砂粒を含む	黄褐色	不良	不明	不明	
		13	土師器 坏	15		1~5mm程度の小石が混じる 砂粒を含む	暗黄灰褐色/淡黄褐色	やや不良	絞め縞/ハケ目	不明	
		14	土師器 坏	15 3		砂粒を含む 底砂粒混入	黄茶褐色	やや不良	不明 糸切り	不明	
		15	土師器 坏			砂粒を含む	淡黄褐色	不良	不明 糸切り	不明	
		16	土師器 坏			砂粒を含む 底砂粒混入	暗黄灰褐色	普通	絞め縞	ナデ	
		17	陶器 鉢	25		1~5mm程度の小石が混じる 砂粒を含む	暗黄灰褐色	普通	ヨコナデ	ナデ	
		18	土師器 皿	9 1		砂粒を含む	淡黄褐色	やや不良	ヨコナデ 糸切り	不明	
		19	土師器 皿	9 1.2		砂粒を含む	淡黄灰色	やや不良	ヨコナデ 不明	ナデ	
		20	土師器 皿	10 1.2		砂粒を含む	淡茶褐色	普通	絞め縞	ナデ	
		21	土師器 皿	9 1.2		砂粒を含む	淡黄褐色	不良	不明	不明	
		22	土師器 皿	9		砂粒を含む	淡茶褐色	不良	不明	不明	
		SK42 23	土師器 皿	9 1.2		砂粒を含む	黄褐色	やや不良	不明 糸切り	ナデ	
		24	土師器 皿	8 1.1		砂粒を含む	淡黄褐色	不良	不明	不明	
		25	土師器 皿	9 1.3		砂粒を含む	淡黄褐色	不良	不明	不明	
		26	土師器 皿	9 1.3		小石が混じる 砂粒を含む	淡黄灰褐色	不良	不明	不明	
		27	土師器 皿	10 1.2		砂粒を含む	淡黄褐色	やや不良	不明 糸切り	不明	
		28	土師器 皿	9.3 1.2		細砂粒を含む 底砂粒混入	淡黄褐色	やや不良	絞め縞	不明	
		29	土師器 皿	9 1.4		細砂粒を含む	淡黄褐色	やや不良	ヨコナデ 不明	ヨコナデ ナデ	
		30	土師器 皿	9 1		砂粒を含む	淡黄褐色	不良	不明	不明	
		31	土師器 皿	9 1.3		砂粒を含む	淡黄褐色	普通	絞め縞	ナデ	
		SK44 1	青磁 埴	15		精選されている	淡黄色の胎に緑黄褐色の釉	良好	施釉	施釉	
		2	土師器 坏	15.2 3.2		砂粒を含む	淡黄灰褐色	普通	ヨコナデ 糸切り	ヨコナデ ナデ	
		3	土師器 皿	8 1.4		砂粒を含む	淡黄褐色	普通	絞め縞	ナデ	
		4	土師器 皿	9 1.4		砂粒を含む	暗黄褐色	普通	ヨコナデ 糸切り	ナデ	
第54区 SK45		青磁 埴	16			精選されている	灰色の胎に青緑色を帯びた透明釉がかかる	良好	施釉	施釉	貫入がある
		2	土師器 皿	6 1		1~4mm程度の小石が混じる 砂粒を含む	黄褐色	普通	ヨコナデ 糸切り	ナデ	
		3	土師器 皿	8 1.1		砂粒を含む	淡黄灰褐色	不良	不明	不明	
		SK46 1	土師器 坏	11 2.3		小石が混じる 砂粒を含む	黄灰褐色	不良	不明	不明	
		2	土師器 皿	9 1.3		1~8mm程度の小石が混じる 砂粒を含む	淡黄褐色	不良	不明	不明	
		3	土師器 皿	9.2 1.3		細砂粒を含む	淡黄褐色	やや不良	絞め縞	ヨコナデ ナデ	
		4	土師器 皿	9 1		砂粒を含む	灰黄褐色	やや不良	ヨコナデ 不明	ナデ	
		5	土師器 皿	8		1~3mm程度の小石が混じる 砂粒を含む	淡茶灰褐色	不良	不明	不明	
		6	土師器 皿	8.4 1.1		砂粒を含む	淡黄灰褐色	普通	絞め縞	ナデ	

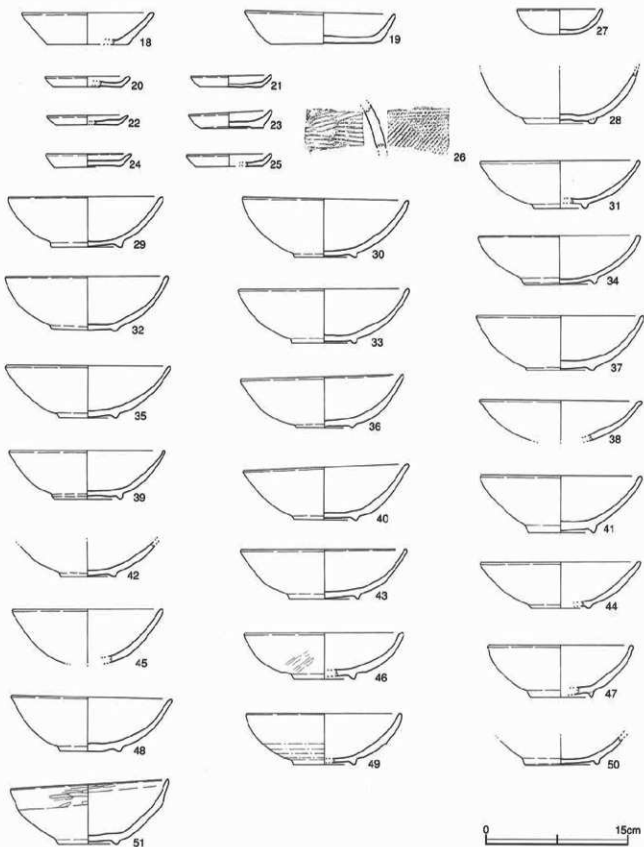
表 12 SK41・42・44・45・46 出土土器観察表

採定 番号	出土 遺構	遺物 番号	器 種	口径 (cm)	器高 (cm)	胎 土	色 調	焼成	調 整		備 考
									外 面	内 面	
SK46	SK46	7	土師器 皿	8.2	1.4	砂粒を含む	淡赤黄褐色	普通	ヨコナデ 糸切り	ナデ	
※	※	8	陶器 鉢	35.8		1~5mm程度の小石が混じる 砂粒を含む	暗黒褐色/暗黄褐色	やや不良	ヨコナデ	不明	スス付着
※	※	9	陶器 鉢	36		1~5mm程度の小石が混じる 砂粒を含む/黒褐色が混じる	黄灰褐色	普通	ヨコナデ	ナデ	スス付着
※	SK47	1	白磁 埴	15.8		精選されている	淡黄色の胎に淡黄色の釉がかかる	良好	施釉	施釉	気泡が多量有る
※	※	2	白磁 小皿	9.7	2.8	精選されている	淡黄灰色の胎に淡灰色の釉がかかる	良好	施釉	施釉	
※	※	3	瓦器 埴	15.5	5.5	1~3mm程度の小石が混じる 砂粒を含む	淡灰黄褐色	普通	ヨコナデ ヘラ削り	ヨコナデ	ナデ
※	※	4	瓦器 埴			1~3mm程度の小石が混じる 砂粒を含む	淡黄灰色	不良	不明	不明	
※	※	5	瓦器 蓋	9		砂粒を含む	灰色	普通	ナデ ヨコナデ	ナデ ヨコナデ	
※	※	6	土師器 皿	10	1.5	砂粒を含む	淡黄灰色	不良	不明	不明	
※	※	7	土師器 皿	9	0.9	砂粒を含む	淡黄茶褐色	不良	ヨコナデ 不明	ヨコナデ	ナデ
※	SK47	8	土師器 皿	9.8	1.3	1~3mm程度の小石が混じる 砂粒を含む	淡黄茶褐色	普通	ヨコナデ 線の内縁部	ヨコナデ	ナデ
※	※	9	土師器 皿	9	1.5	砂粒を含む 赤土が混じる	淡黄茶褐色	不良	不明	不明	
※	※	10	土師器 皿	9	1.2	砂粒を含む 赤土が混じる	淡茶褐色	やや不良	ヨコナデ 糸切り	ナデ	
※	※	11	土師器 皿	9	1.2	砂粒を含む	淡黄茶褐色	やや不良	ヨコナデ 不明	ナデ	
※	※	12	土師器 皿	10	1.1	小石が混じる 砂粒を含む	淡黄褐色	不良	不明	不明	
※	※	13	土師器 皿	8	1	小石が混じる 砂粒を含む	淡黄灰褐色	やや不良	ヨコナデ 不明	ナデ	
※	※	14	土師器 皿	8	1.2	砂粒を含む	淡黄褐色	不良	不明	不明	
※	※	15	陶器 壺	34		1~4mm程度の小石が混じる 砂粒を含む	暗黄茶黒褐色	普通	ヨコナデ	ナデ	ヨコナデ
※	※	16	陶器 壺			1~4mm程度の小石が混じる 砂粒を含む	暗茶黒褐色/茶黄褐色	普通	ヨコナデ	ナデ	
※	SK48	1	瓦器 埴			砂粒を含む	灰黄色/灰色	やや不良	磨き 回転ナデ	ナデ	
※	※	2	土師器 皿	9.7	1.2	細砂粒を含む	淡黄褐色	やや不良	ヨコナデ 線の内縁部	ヨコナデ	
※	※	3	土師器 皿	9.2	1.3	細砂粒を含む	淡黄灰褐色	普通	ヨコナデ 線の内縁部	ナデ	
※	※	4	土師器 皿	9.3	1.3	細砂粒を含む	淡黄茶褐色	やや不良	ヨコナデ 線の内縁部	ヨコナデ	ナデ
※	※	5	土師器 皿	7.6	1	細砂粒を含む	黄褐色	普通	ヨコナデ 線の内縁部	ヨコナデ	ナデ
※	※	6	土師器 皿	10	1.2	細砂粒を含む	淡茶褐色	やや不良	ヨコナデ 線の内縁部	ヨコナデ	ナデ
※	SK50	1	白磁 埴	15.8		精選されている	淡灰色の胎に淡灰緑色の釉	良好	施釉	施釉	玉縁口縁
※	※	2	白磁 埴			精選されている	淡灰色の胎に透明釉がかかる	良好	施釉 ヘラ切り	施釉	
※	※	3	白磁 埴			精選されている	淡灰色の胎に灰色の釉がかかる	良好	磨きヘラ削り	施釉	
※	※	4	弥生 壺			1~4mm程度の小石が混じる 砂粒を含む	黄茶褐色	普通	ハケ目	ナデ	

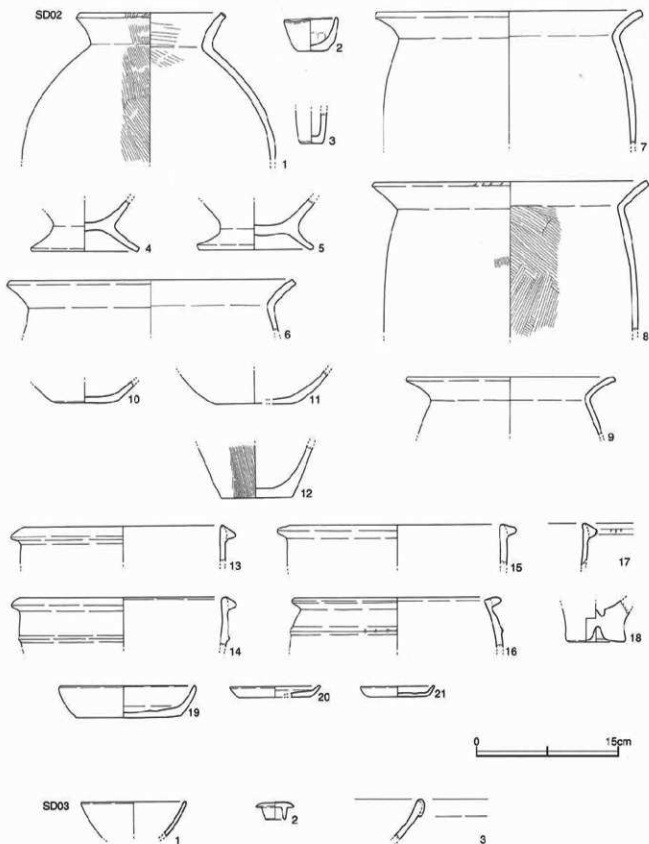
表 13 SK46・47・48・50 出土土器観察表



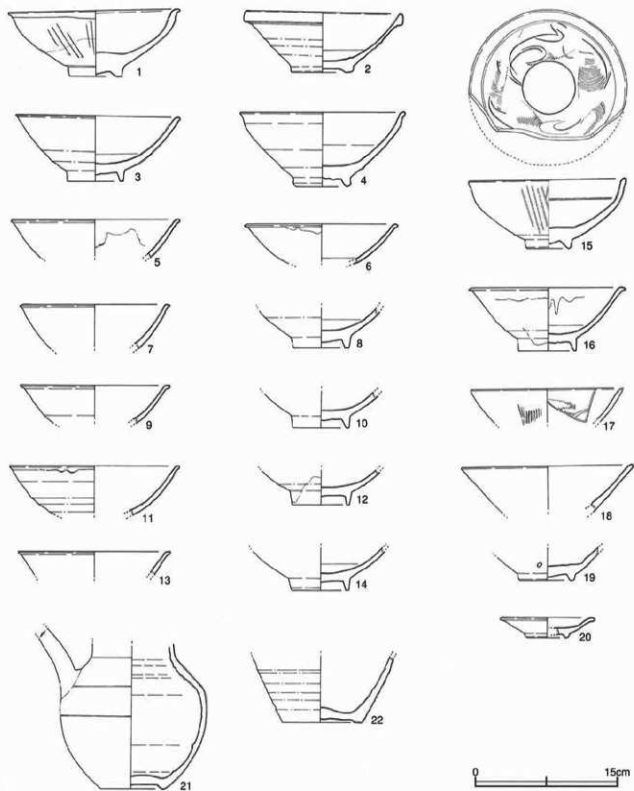
第57図 溝 (SD01) その1 出土土器実測図 [1/4]



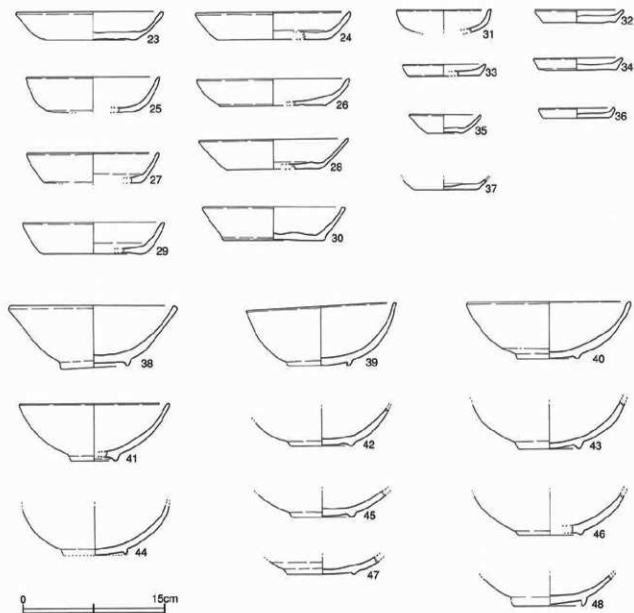
第58図 溝 (SD01) その2 出土土器実測図 [1/4]



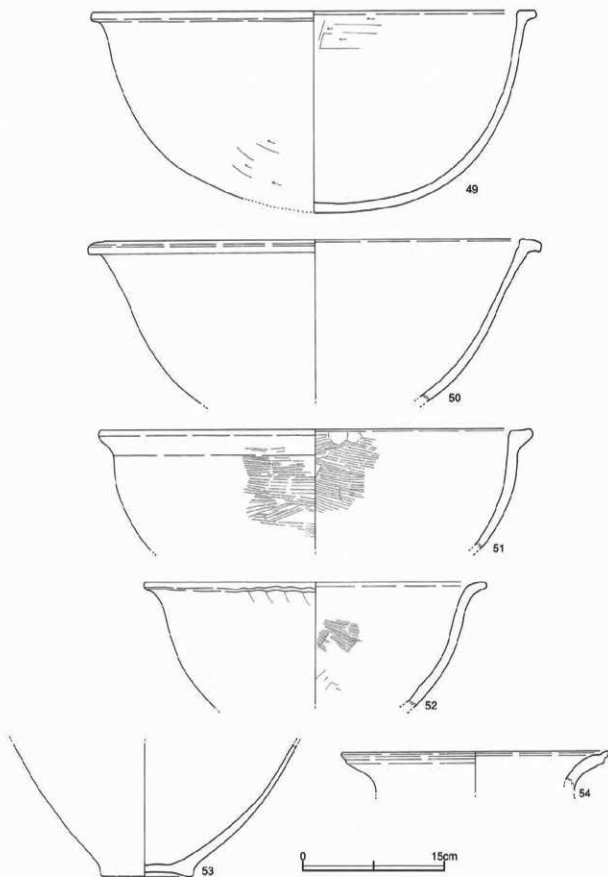
第59図 溝 (SD02・03) 出土土器実測図 [1/4]



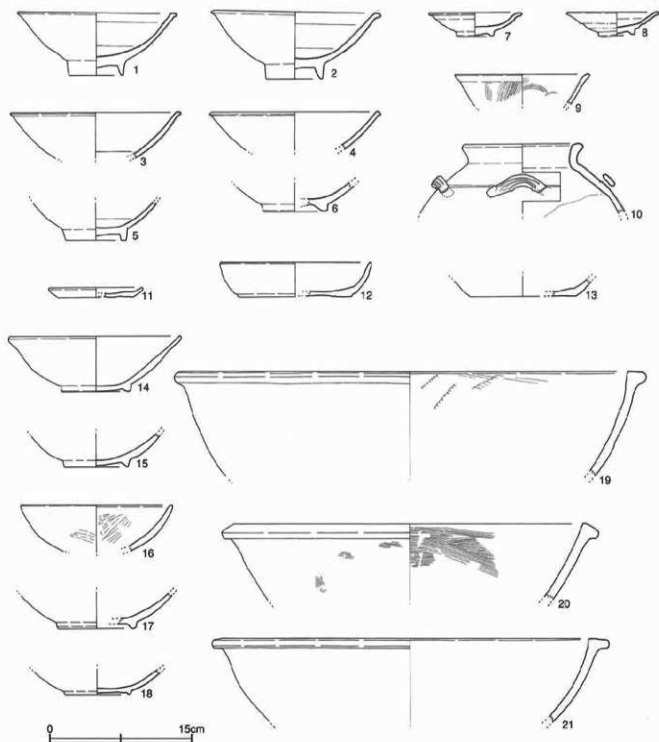
第60図 溝 (SD04) その1 出土土器実測図 [1/4]



第61図 溝 (SD04) その2 出土土器実測図 [1/4]

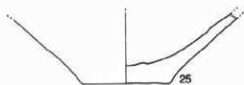
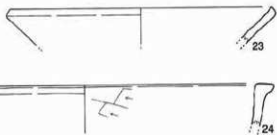
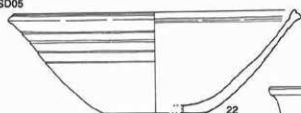


第62図 溝 (SD04) その3 出土土器実測図 [1/4]

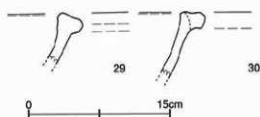


第63図 溝 (SD05) その1 出土土器実測図 [1/4]

SD05



SD06



第64図 溝 (SD05) その2 (SD06) 出土土器実測図 [1/4]

検出 番号	出土 遺構	器 種	口径 (cm)	器高 (cm)	胎 土	色 調	焼成	調 整		備 考
								外 面	内 面	
第67図	SD01	1 白磁 埴	16		精選されている	灰色の胎に透明釉がかかる	良好	施釉	施釉	
"	"	2 白磁 埴			砂粒を含む精選されている	淡黄色の胎に淡黄色の釉がかかる	良好	施釉 ヨコナデ	施釉	沈線
"	"	3 白磁 埴	16.6		砂粒を含む精選されている	黄灰色の胎に乳灰色の釉がかかる	良好	施釉 ヨコナデ	施釉	玉口縁 貫入がある
"	"	4 白磁 埴			砂粒を含む精選されている	灰色の胎に灰色の光沢のある釉がかかる	良好	施釉 ヨコナデ切	施釉	沈線
"	"	5 青磁 小皿			砂粒を含む精選されている	灰色の胎に淡緑色の光沢のある釉がかかる	良好	施釉	施釉	
"	"	6 青磁 埴			砂粒を含む精選されている	淡黄灰色の胎に淡黄緑色の釉がかかる	良好	施釉 ヨコナデ	施釉	貫入がある
"	"	7 青磁 埴	17		砂粒を含む精選されている	灰色の胎に淡緑色の釉がかかる	良好	施釉 回転ヘラ削	施釉	
"	"	8 青磁 埴			砂粒を含む精選されている	淡灰色の胎に光沢のある淡緑色の釉がかかる	良好	施釉 ヘラ削	施釉	
"	"	9 青磁 埴			砂粒を含む精選されている	灰色の胎に光沢のある淡緑色の釉がかかる	良好	施釉 ヘラ削	施釉	脚状工具による文様
"	"	10 青磁 埴			砂粒を含む精選されている	淡灰色の胎に光沢のある淡緑色の釉がかかる	良好	施釉 ヘラ削	施釉	貫入がある
"	"	11 青磁 埴			精選されている	灰色の胎に淡緑色の光沢のある透明釉がかかる	良好	施釉 回転ヘラ削	施釉	貫入がある
"	"	12 陶器 水注	10.3	19.6		黄灰色の胎に濃い緑灰色の釉がかかる	普通	施釉 ヘラ削	施釉	
"	"	13 陶器 鉢	25.8	10.7	小石が混じる砂粒を含む	暗茶褐色	やや不良	ヨコナデ 不明	ヨコナデ 不明	
"	"	14 陶器 壺	14		1~3mm程度の小石が混じる砂粒を含む	灰色の胎に自然釉がかかる	普通	ヨコナデ	ナデ	
"	"	15 土師器 壺			1~4mm程度の小石が混じる砂粒を含む	茶褐色	やや不良	ヨコナデ ハケ目	ヨコナデ ナデ	
"	"	16 土師器 壺			小石が混じる砂粒を含む	暗茶黒褐色/黄褐色	普通	ナデ	ハケ調整	工具による圧痕
"	"	17 須恵器 鉢			1~5mm程度の小石が混じる砂粒を含む	淡灰褐色	普通	ヨコナデ	ヨコナデ ナデ	
第68図	"	18 土師器 杯	14	3.3	砂粒を含む	淡黄褐色	普通	ヨコナデ 糸切り	ヨコナデ	
"	"	19 土師器 杯	15.7	3.2	砂粒を含む	黄褐色	普通	ヨコナデ 糸切り	ヨコナデ ナデ	
"	"	20 土師器 皿	8.8	1.1	砂粒を含む	淡黄褐色	不良	不明	不明	
"	"	21 土師器 皿	8.6	1.1	1~3mm程度の小石が混じる砂粒を含む	黄褐色	普通	ヨコナデ 糸切り調整	ナデ	
"	"	22 土師器 皿	8.6	1	砂粒を含む	淡黄褐色	やや不良	ヨコナデ 不明	ナデ	
"	"	23 土師器 皿	8.7	1.6	砂粒を含む	茶褐色	普通	ヨコナデ 糸切り調整	ナデ	
"	"	24 土師器 皿	8.9	1.4	小石が混じる砂粒を含む	黄褐色	普通	ヨコナデ 糸切り調整	ナデ	
"	"	25 土師器 皿	9	1.3	砂粒を含む	淡黄赤褐色	不良	不明 板状圧痕	不明	

表 14 SD01 出土土器観察表

検出 番号	出土 遺物 番号	遺物 種類	器 種	口 径 (cm)	高さ (cm)	胎 土	色 調	焼成	図 案		備 考
									外 面	内 面	
第500型	SD01	26	須恵系 甕			1~3mm大の小石が混じる 砂粒を含む	黄茶褐色/黄褐色	普通	格目 タタキ	タタキ	
		27	瓦器 坏	9	2.6	小石が混じる 砂粒を含む	淡黄灰褐色	不良	不明	不明	黒斑有り
		28	瓦器 埴			1~12mm大の小石が混じる 砂粒を含む	黒褐色	やや不良	不明 ヘラ切り	ナデ	
		29	瓦器 埴	16.2	5.4	砂粒を含む	淡黄黒褐色	やや不良	不明	ナデ	
		30	瓦器 埴	17.5	6.1	小石が混じる 砂粒を含む	淡黄黄褐色/淡黄灰褐色	やや不良	面割れ 井戸割れ	ヨコナデ	
		31	瓦器 埴	16.0	5	砂粒を含む	淡黄黒褐色	不良	不明	不明	
		32	瓦器 埴	17	5.6	細砂粒を含む	黒灰黄褐色	やや不良	不明	ヨコナデ ナデ	
		33	瓦器 埴	18	5.7	1~3mm大の小石が混じる 砂粒を含む	暗灰黄褐色/淡灰黄褐色	やや不良	ヨコナデ 不明	不明	
		34	瓦器 埴	17.1	5.1	1~3mm大の小石が混じる 砂粒を含む	黒褐色	不良	不明	不明	
		35	瓦器 埴	17.2	5.5	1~5mm大の小石が混じる 砂粒を含む	淡灰褐色	やや不良	不明 ヨコナデ	ナデ	黒斑有り
		36	瓦器 埴	17.2	5.3	1~4mm大の小石が混じる 砂粒を含む	黒淡黄褐色/淡黄暗灰褐色	不良	不明	不明	
		37	瓦器 埴	17.6	5.7	1~6mm大の小石が混じる 砂粒を含む	淡灰褐色	不良	不明	不明	黒斑有り
		38	瓦器 埴	17.2		小石が混じる 砂粒を含む	淡黄灰色 □縁部に黒褐色	普通	ヨコナデ ヘラ割	ナデ	
		39	瓦器 埴	16.5	5.2	砂粒を含む	淡黄黒褐色	やや不良	不明	ヨコナデ 不明	
		40	瓦器 埴	17.5	5.5	小石が混じる 砂粒を含む	淡黄灰褐色	不良	不明	不明	
		41	瓦器 埴	16.8	6	砂粒を含む	淡黄灰黒褐色	やや不良	不明 ヨコナデ ナデ	不明	
		42	瓦器 埴			砂粒を含む	黒褐色/黒淡灰色	不良	不明	不明	
		43	瓦器 埴	17.4	5.2	砂粒を含む	黒褐色/淡灰色	普通	ヨコナデ	ナデ	
		44	瓦器 埴	17	4.8	1~3mm大の小石が混じる 砂粒を含む	暗灰褐色	不良	不明	不明	黒斑有り
		45	瓦器 埴	16		砂粒を含む	淡灰黒褐色	不良	不明	不明	
		46	瓦器 埴	16.8	4.9	小石が混じる 砂粒を含む	淡黄褐色	やや不良	面割れ 井戸割れ	ナデ	磨きがかかる
		47	瓦器 埴	15	5.5	小石が混じる 砂粒を含む	淡灰褐色	良好	ヨコナデ ヘラ割	ナデ	
		48	瓦器 埴	17.2	5.7	小石が混じる 砂粒を含む	淡灰褐色	やや不良	ヨコナデ ヘラ割	ナデ	ヨコナデ 不明 黒斑有り
		49	瓦器 埴	16.2	5.4	1~3mm大の小石が混じる 砂粒を含む	淡黄灰褐色	やや不良	面割れ 井戸割れ	ナデ	
		50	瓦器 埴			小石が混じる 砂粒を含む	淡黄黒褐色	不良	不明	不明	
		51	瓦器 埴	16.6	6.3	1~3mm大の小石が混じる 砂粒を含む	黒褐色 明灰褐色 淡黄灰褐色	普通	磨き 目割 ナデ	ヨコナデ ナデ調整	
第500型	SD02	1	弥生 甕	15.1		1~6mm大の小石が混じる 砂粒を含む	黄灰褐色	やや不良	ハケ目	ハケ目	押圧痕
		2	弥生 手捏土器	5.4	2.9	細砂粒を含む	黄茶褐色	普通	ナデ	ナデ	
		3	弥生 手捏土器			砂粒を含む	淡黄褐色	普通	ナデ	ナデ	
		4	縄文 甕			1~2mm大の小石が混じる 砂粒を含む	明茶黄褐色	やや不良	不明	不明	
		5	縄文 甕			1~3mm大の小石が混じる 砂粒を含む	暗黄褐色/明茶黄褐色	やや不良	不明	不明	
		6	甕	30		1~4mm大の小石が混じる 砂粒を含む	明茶黄褐色	やや不良	不明	不明	
		7	甕	26		1~10mm大の小石が混じる 砂粒を含む	赤茶褐色	やや不良	ヨコナデ ナデ	ヨコナデ ナデ	
		8	甕	28.5		1~8mm大の小石が混じる 砂粒を含む	暗黄茶褐色	やや不良	不明 ハケ目のナデ	ハケ目	刻目
		9	甕	21.5		砂粒を含む	明茶黄褐色/明灰褐色	やや不良	不明	不明 ナデ	
		10	甕			1~6mm大の小石が混じる 砂粒を含む	黄褐色	やや不良	不明	不明	
		11	甕			砂粒を含む 赤粘土混じる	黒褐色/暗黄褐色	やや不良	ナデ	不明	
		12	甕			1~6mm大の小石が混じる 砂粒を含む	暗黄褐色	普通	ハケ目 ナデ	ナデ	
		13	弥生 甕	21.2		1~3mm大の小石が混じる 砂粒を含む	茶褐色	やや不良	ヨコナデ ナデ	ナデ	
		14	弥生 甕	22		砂粒を含む	明黄褐色	普通	ヨコナデ ナデ	ナデ	
		15	弥生 甕	22.5		1~4mm大の小石が混じる 砂粒を含む	黄茶褐色	やや不良	ヨコナデ 不明	ナデ	
		16	弥生 甕	21.5		砂粒を含む 赤粘土混じる	淡黄褐色	普通	ヨコナデ ハケ目	ナデ	刻目
		17	弥生 甕			砂粒を含む 赤粘土混じる	黄茶褐色	普通	ヨコナデ ナデ	ナデ	刻目
		18	弥生 甕			1~7mm大の小石が混じる 砂粒を含む	黄茶褐色	やや不良	ヘラ割 井戸割	不明	未穿孔
		19	土師器 坏	14.3	3.3	砂粒を含む	淡黄褐色/淡黄黒褐色	普通	面割れ 井戸割	ヨコナデ ヘラ割のナデ	
		20	土師器 甕	9.4	1.2	細砂粒を含む 赤粘土混じる	淡黄茶褐色	普通	ヨコナデ 井戸割	ナデ	
		21	土師器 甕	7.8	1.1	細砂粒を含む 赤粘土混じる	淡黄褐色	普通	ヨコナデ 井戸割	ヨコナデ ナデ	
SD03		1	陶器 埴	11		積層されている	白色の胎に白色の釉がかかる	良好	施釉	施釉	型紙印刷有り
		2	陶器 甕			積層されている	白色の胎に淡緑色の釉がかかる	良好	施釉	無釉	

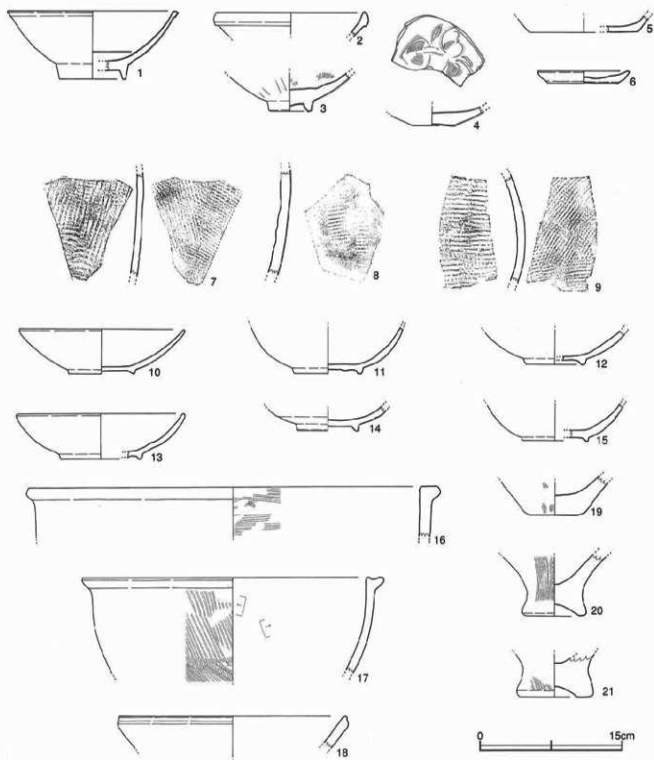
表 15 SD01・02・03 出土土器観察表

調査 番号	出土 遺物 番号	遺物 種類	口径 (cm)	高さ (cm)	胎土	色 調	焼成	調 整		備 考
								外 面	内 面	
第50回	SD03	3			砂粒を含む	暗茶褐色	普通	ヨコナデ	ヨコナデ	
第60回	SD04	1	白磁 埴	18 7	精選されている	白灰色の胎に淡緑灰色の釉がかかる	良好	施釉 ヘラ削り	施釉	ヘラ状工具による片彫
※	※	2	白磁 埴	15.3 6.3	白石が混入しが精選されている	淡灰色の胎に緑灰色の釉がかかる	良好	施釉 目轆へう削り	施釉	玉轆に緑
※	※	3	白磁 埴	17.5 6.9	砂粒を含むが精選されている	淡灰色の胎に灰色の釉がかかる	良好	施釉 目轆へう削り	施釉	
※	※	4	陶器 埴	17.4 5.4	砂粒を含むが精選されている	淡黄白色の胎に淡黄灰色の釉がかかる	良好	施釉 目轆へう削り	施釉	
※	※	5	白磁 埴	18	精選されている	淡灰色の胎に淡黄緑色の釉がかかる	良好	施釉	施釉	
※	※	6	白磁 埴	15.2	精選されている	淡灰色の胎に淡緑灰色の釉がかかる	良好	施釉 目轆へう削り	施釉	
※	※	7	白磁 埴	15.2	精選されている	淡黄白色の胎に淡黄緑色の釉がかかる	良好	施釉	施釉	
※	※	8	白磁 埴		砂粒を含むが精選されている	灰色の胎に淡緑灰色の釉がかかる	良好	施釉 目轆へう削り	施釉	
※	※	9	白磁 埴	16	精選されている	白灰色の胎に灰白色の釉がかかる	良好	施釉	施釉	
※	※	10	白磁 埴		砂粒を含むが精選されている	灰白の胎に光沢のある灰白の釉がかかる	良好	施釉	施釉	
※	※	11	白磁 埴	18	精選されている	淡灰色の胎に淡緑灰色の釉がかかる	良好	施釉 目轆へう削り	施釉	
※	※	12	白磁 埴		精選されている	淡灰色の胎に淡緑白の釉がかかる	良好	施釉 目轆へう削り	施釉	
※	※	13	白磁 埴		精選されている	灰白の胎に透明釉がかかる	良好	施釉	施釉	
※	※	14	白磁 埴		砂粒を含むが精選されている	白灰の胎に青灰白色の釉がかかる	良好	施釉 目轆へう削り	施釉	
※	※	15	青磁 埴	16.3 7.3	砂粒を含むが精選されている	灰色の胎に灰緑色の釉がかかる	良好	施釉 目轆へう削り	施釉	御江東区御江に47番 通
※	※	16	青磁 埴	14.2 6.5	精選されている	淡灰色の胎に淡黄緑色の釉がかかる	良好	施釉 目轆へう削り	施釉	沈線
※	※	17	青磁 埴	16	精選されている	淡白色の胎に灰緑色の釉がかかる	良好	施釉	施釉	神社工芸社片切彫による文様
※	※	18	青磁 埴		精選されている	緑黄褐色の胎に淡緑色の釉がかかる	良好	施釉 目轆へう削り	施釉	
※	※	19	青磁 埴		精選されている	淡黄灰色の胎に淡黄緑色の釉がかかる	良好	施釉 目轆へう削り	施釉	
※	※	20	青磁 皿	10 2.1	精選されている	灰色の胎に灰色の光沢のある釉がかかる	良好	施釉	施釉	
※	※	21	陶器 水注		砂粒を含むが精選されている	黄茶褐色の胎に光沢の釉がかかる	やや不良	施釉	施釉	沈線
※	※	22	陶器 壺		1～4mm程度の小石が混入する 砂粒を含むが精選されている	淡黄褐色の胎に淡黄灰色の釉がかかる	良好	目轆へう削り 施釉	目轆へう削り 施釉	削り出し 高台
第61回	※	23	土師器 埴	15.5 2.9	細砂粒を含む 赤土子混入	黄茶褐色/黄茶灰褐色	やや不良	ヨコナデ 緑の刻線	不明	
※	※	24	土師器 埴	16.2 2.9	砂粒を含む	淡黄褐色	やや不良	不明	不明	
※	※	25	土師器 埴	14	砂粒を含む	淡黄褐色	やや不良	ヨコナデ 不明	ヨコナデ ナデ	
※	※	26	土師器 埴	16	細砂粒を含む 赤土子混入	淡黄褐色	やや不良	不明	不明	
※	※	27	土師器 埴	14	砂粒を含む 赤土子混入	淡黄褐色	不良	不明	不明	
※	※	28	土師器 埴	15.3	細砂粒を含む 赤土子混入	淡黄褐色	やや不良	不明	不明	
※	※	29	土師器 埴	15 3.3	砂粒を含む	淡黄褐色	やや不良	不明	不明	
※	※	30	土師器 埴	14.9 3.6	細砂粒を含む	淡黄褐色	やや不良	ヨコナデ 緑の刻線	ヨコナデ ヘラ調整	
※	※	31	土師器 埴	10	1～3mm程度の小石が混入する 細砂粒を含む	淡黄茶褐色	やや不良	ヨコナデ 不明	ヨコナデ ナデ	
※	※	32	土師器 皿	9.2 1.3	細砂粒を含む	淡黄褐色	やや不良	不明	不明	
※	※	33	土師器 皿	8.6 1.1	1～5mm程度の小石が混入する 砂粒を含む	淡黄褐色	やや不良	不明	不明	
※	※	34	土師器 皿	9.4 1.3	細砂粒を含む	淡黄褐色	やや不良	ヨコナデ 緑の刻線	不明	
※	※	35	土師器 埴	7.6 1.9	細砂粒を含む	淡黄褐色	やや不良	ヨコナデ 糸切り	ヨコナデ ナデ	
※	※	36	土師器 皿	8	細砂粒を含む	淡黄褐色	やや不良	不明	不明	
※	※	37	土師器 埴		細砂粒を含む 赤土子混入	黄茶褐色	やや不良	不明	不明	
※	※	38	瓦器 埴	17.3 6.6	小石が混入する 砂粒を含む	黒灰黄褐色	やや不良	ヨコナデ 不明	ナデ	
※	※	39	瓦器 埴	15.8 6.2	砂粒を含む	暗黄黒灰褐色	やや不良	不明	ナデ	
※	※	40	瓦器 埴	17.2 6	砂粒を含む 赤土子混入	淡黄褐色	やや不良	不明	ヨコナデ ナデ	黒斑有り
※	※	41	瓦器 埴	15.6	砂粒を含む	淡黄黒灰褐色/淡黄褐色	やや不良	不明	不明	
※	※	42	瓦器 埴		1～4mm程度の小石が混入する 砂粒を含む	暗黄黒褐色/暗黄褐色	やや不良	不明	不明	
※	※	43	瓦器 埴		1～4mm程度の小石が混入する 砂粒を含む	黒褐色/淡灰黒褐色	やや不良	不明	不明	
※	※	44	瓦器 埴		1～3mm程度の小石が混入する 砂粒を含む	乳灰黒褐色	不良	不明	不明	
※	※	45	瓦器 埴		1～3mm程度の小石が混入する 砂粒を含む	淡乳灰褐色	やや不良	不明	不明	
※	※	46	瓦器 埴		細砂粒を含む	暗灰黒褐色	やや不良	不明	不明	
※	※	47	瓦器 埴		細砂粒を含む	黒色	やや不良	ヘラ調整 ナデ へう削り	ナデ	
※	※	48	瓦器 埴		細砂粒を含む	暗黄灰黒褐色/淡黄褐色	やや不良	不明	ヨコナデ ナデ	

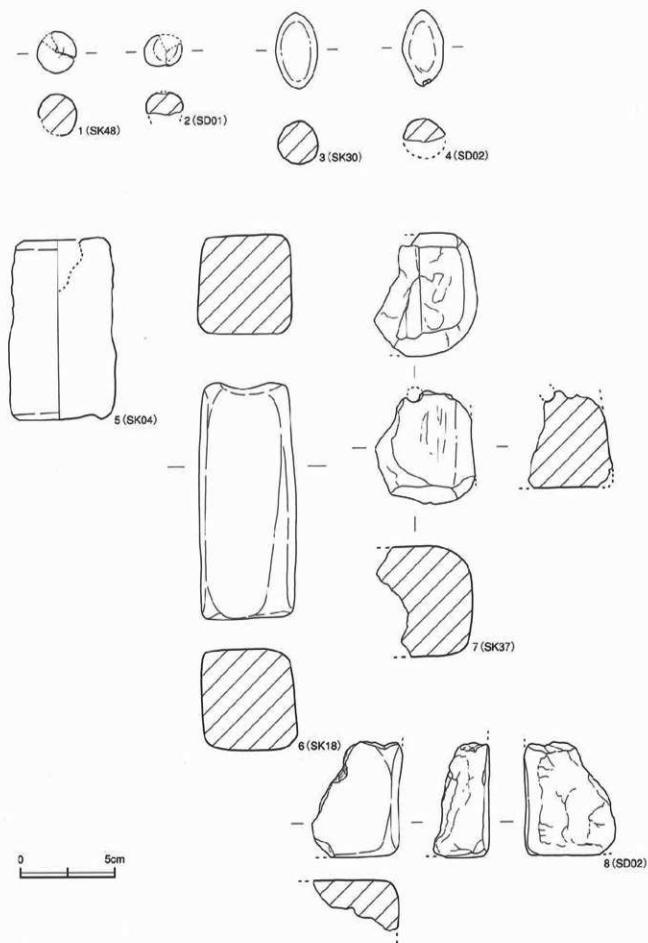
表 16 SD03・04 出土土器観察表

採出 番号	出土 遺構	遺物 番号	器 種	口径 (cm)	器高 (cm)	胎 土	色 調	焼成	調 整		備 考
									外 面	内 面	
第32区SD04		49	土師器 鉢	43		1~5mm大の小石が混じる 砂粒を含む	淡黄茶黒褐色/暗黄灰黒褐色	普通	ヨコナデ ナデ	へう調整 ナデ	
		50	土師器 鉢	44		1~9mm大の小石が混じる	赤茶褐色	普通	ヨコナデ	ナデ	スス付着
		51	土師器 鉢	45		1~7mm大の小石が混じる 砂粒を含む	暗黄黒褐色	普通	ヨコナデ ハケ目	ハゲ0分付 ハゲ1分	スス付着
		52	土師器 鉢	36		砂粒を含む	暗茶褐色	普通	ヨコナデ ナデ	コナデハゲ0分付 ハゲ1分	スス付着
		53	土師器 壺			1~4mm大の小石が混じる 砂粒を含む	淡黄褐色	普通	へう調整のもナデ	ナデ	黒斑有り
		54	須恵器 壺	28		砂粒を含むが精選されている	暗茶黒褐色/暗灰褐色	良好	ヨコナデ	ヨコナデ	自然釉がかかる
第33区SD05		1	白磁 埴	16.8	6.5	砂粒を含む	淡白色の胎に光沢のある灰色の釉がかかる	良好	施釉	施釉	沈線
		2	陶器 埴	17.9	7.1	砂粒を含む	淡黄色の胎に黄褐色の釉がかかる	良好	施釉 へう切り	施釉	沈線
		3	白磁 埴	18		精選されている	灰色の胎に光沢のある透明釉がかかる	良好	施釉	施釉	沈線
		4	白磁 埴	18		精選されている	灰色の胎に若干緑色をおびた灰色の釉がかかる		施釉	施釉	小さな気泡がある
		5	青磁 埴			砂粒を含むが精選されている	灰色の胎に黄褐色の光沢のある透明釉がかかる	良好	施釉		沈線
		6	白磁 埴			砂粒を含むが精選されている	灰色の胎に光沢のある灰色の釉がかかる	良好	施釉 ハゲ0分付 ハゲ1分	施釉	沈線
		7	白磁 皿	10	2.5	砂粒を含むが精選されている	淡灰色の胎に淡灰緑色の釉がかかる	良好	施釉 施釉ハゲ0分付	施釉	
		8	白磁 皿	9.8	2.5	小石が混じるが精選されている	白灰色の胎に淡黄白色の釉がかかる	良好	施釉 施釉ハゲ0分付	施釉	沈線
		9	青磁 埴	14.2		精選されている	淡黄灰色の胎に淡緑灰色の釉がかかる	良好	施釉	施釉	樹状工具による文様
		10	陶器 四耳壺	12.8		砂粒を含むが精選されている	黄灰褐色の胎に淡緑灰色の釉がかかる	良好	施釉	施釉	沈線
		11	土師器 皿	10	1	砂粒を含む	淡黄褐色	やや不良	ヨコナデ 不明	ヨコナデ ナデ	
		12	土師器 埴	16	3.6	砂粒を含む 無紋子混じる	淡黄褐色	普通	ヨコナデ 板状瓦重	ヨコナデ ナデ	
		13	土師器 埴			1~3mm大の小石が混じる 砂粒を含む	淡茶褐色	普通	ナデ ハゲ0分付 施釉	ヨコナデ ナデ	
		14	瓦器 埴	18.3	5.8	1~2mm大の小石が混じる 砂粒を含む	黒黄褐色	やや不良	不明	ナデ	
		15	瓦器 埴			砂粒を含む	淡灰色/黒灰色	やや不良	ナデ 不明	ナデ	
		16	瓦器 埴	16		砂粒を含む	淡灰黒褐色/黒褐色	やや不良	不明 磨きがかかる	磨きがかかる	
		17	瓦器 埴			砂粒を含む	淡黄灰褐色	やや不良	不明 へう切り	磨きがかかる	
		18	瓦器 埴			1~3mm大の小石が混じる 砂粒を含む	淡黄灰褐色	不良	不明	不明	
		19	土師器 鉢	46		1~5mm大の小石が混じる 砂粒を含む	暗黄褐色	やや不良	ヨコナデ ナデ	ハケ目のちナデ	スス付着
		20	土師器 鉢	36.4		小石が混じる 砂粒を含む	暗黄褐色/黄褐色	普通	コナデ ハゲ0分付	ハケ目	スス付着
		21	土師器 鉢	38		小石が混じる 砂粒を含む	暗褐色/黄褐色	やや不良	ヨコナデ ナデ	ナデ ハゲ調整 不明	スス付着
第34区		22	土師器 鉢	30		1~8mm大の小石が混じる 砂粒を含む	淡灰黄褐色	不良	ヨコナデ ナデ	不明	沈線
		23	土師器 鉢	27.8		1~5mm大の小石が混じる 砂粒を含む	灰黄褐色	普通	ヨコナデ	ヨコナデ	
		24	土師器 鉢	36		1~4mm大の小石が混じる 砂粒を含む	暗褐色/黄褐色	普通	ヨコナデ ナデ	へう調整	
		25	土師器 壺			1~8mm大の小石が混じる 砂粒を含む	黄褐色	やや不良	ナデ 不明	ナデ	黒斑有り
		26	土師器 鉢			1~4mm大の小石が混じる 砂粒を含む	暗茶黒褐色/黄茶褐色	普通	ナデ	ナデ	
		27	土師器 鉢			1~8mm大の小石が混じる 砂粒を含む	暗黄褐色/黄褐色	普通	ヨコナデ へう調整	ハケ目	
		28	土師器 鉢			1~4mm大の小石が混じる 砂粒を含む	黒黄褐色/黄褐色	普通	ヨコナデ	ヨコナデ	
		29	土師器 鉢			1~6mm大の小石が混じる 砂粒を含む	暗褐色	普通	ヨコナデ ハケ目	ヨコナデ	
		30	土師器 鉢			1~5mm大の小石が混じる 砂粒を含む	暗黄茶褐色	やや不良	ヨコナデ ハケ目	ハケ目	工具による圧痕
第34区SD06		1	青磁 埴	16.8	7.3	砂粒を含むが精選されている	淡黄褐色の胎に淡黄緑色の釉	良好	施釉ハゲ0分付	施釉	點状の気泡散在

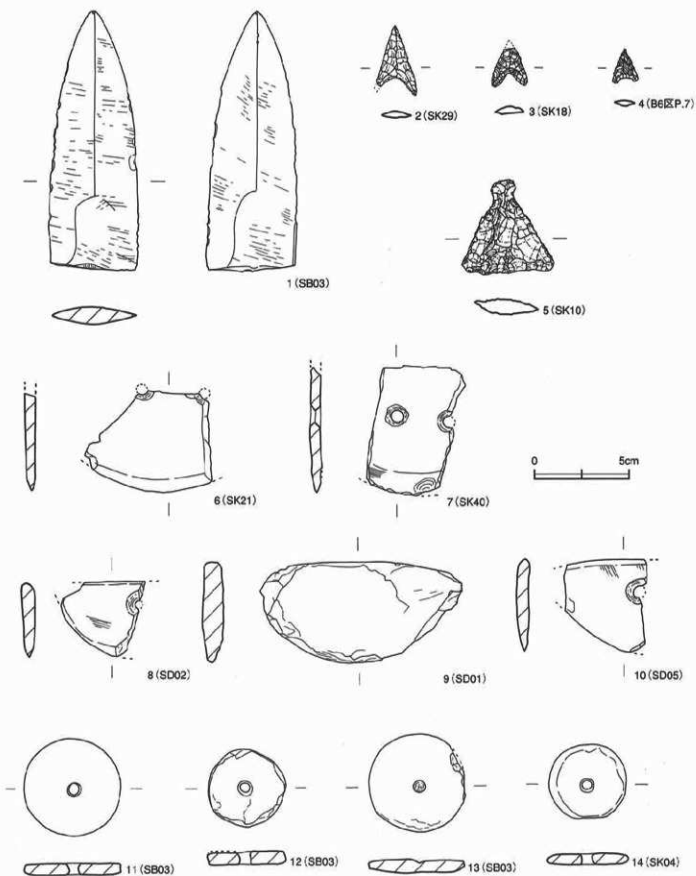
表17 SD04・05・06 出土土器観察表



第65図 井戸 (SE01) 出土土器実測図 [1/4]



第66図 土塊 (SK04・18・30・37・48) 溝 (SD01・02) 出土土製品実測図 [1/2]



第67図 竪穴住居 (SB03) 土壌 (SK04・10・18・21・29・40)
溝 (SD01・02) B6区P.7 出土石製品実測図 [1/2]

採図 番号	出土 遺構	遺物 番号	器 種	口徑 (cm)	器底 (cm)	胎 土	色 調	焼成	調 整		備 考	
									外 面	内 面		
第65図	SE01	1	白磁 埴	18	7.1	精選されている	淡黄灰色の淡灰色の釉がかかる	良好	施釉	ヘラ削り	施釉	沈線
※	※	2	白磁 埴	15.5		精選されている	灰白色の胎に淡灰色の釉がかかる	良好	施釉		施釉	玉縁口縁
※	※	3	青磁 埴			精選されている	灰色の胎に黄緑色の釉がかかる	良好	施釉		施釉	口縁部1/4に黄緑色の釉がかかる
※	※	4	青磁 埴			精選されている	灰白色の胎に透明釉がかかる	良好	施釉		施釉	口縁部1/4に黄緑色の釉がかかる
※	※	5	土師器 埴			細砂粒を含む	黄褐色/黄茶褐色	普通	ヨコナデ	器軸ナデ	ヨコナデ	
※	※	6	土師器 皿	9.6	13	細砂粒を含む 赤褐色に染まる	淡黄茶黒褐色	普通	ヨコナデ	器軸ナデ	ナデ	
※	※	7	須恵器 甕			精選されている	暗茶褐色/黄褐色	良好	楊目	タタキ	楊目ナデ	黄緑色の釉がかかる
※	※	8	須恵器 甕			精選されている	灰色の胎に黄褐色の釉がかかる	普通	タタキ	施釉	ナデ	
※	※	9	須恵器 甕			砂粒を含む	淡黄褐色	良好	楊目	タタキ	タタキ	
※	※	10	瓦器 埴	17.2	47	細砂粒を含む	暗灰乳褐色/暗灰淡黄乳褐色	普通	ナデ		ナデ	
※	※	11	瓦器 埴			細砂粒を含む	淡黄茶灰褐色/暗灰褐色	普通	ナデ	板状正産	ナデ	
※	※	12	瓦器 埴			細砂粒を含む	淡灰褐色	普通	ナデ		施きがかかる	
※	※	13	瓦器 埴			細砂粒を含む	淡灰茶褐色/暗灰色	良好	ヨコナデ	ナデ	ナデ	
※	※	14	瓦器 埴			細砂粒を含む	暗灰色	普通	ナデ	ヨコナデ	ナデ	
※	※	15	瓦器 埴			1mm程度の小石が混じる 細砂粒を含む	淡乳黄褐色/灰褐色	普通	ナデ		ナデ	
※	※	16	土師器 甕	40		1~10mm程度の小石が混じる 砂粒を含む	淡黄褐色/淡黄灰褐色	普通	ヨコナデ	ナデ	ハケ目	工具による押印痕あり
※	※	17	土師器 鉢	32		1~7mm程度の小石が混じる 砂粒を含む	黄褐色口縁部黒褐色	普通	ヨコナデ	ハケ目	ヘラ調整	
※	※	18	瓦器 鉢	24		1~4mm程度の小石が混じる 砂粒を含む	淡灰褐色	普通	ヨコナデ		ヨコナデ	
※	※	19	弥生 甕			1~6mm程度の小石が混じる 砂粒を含む	黄茶褐色/灰黄褐色	やや不良	ハケ目	不明	不明	
※	※	20	弥生 甕			1~5mm程度の小石が混じる 砂粒を含む	黄褐色/暗茶褐色	やや不良	ハケ目	ナデ	ナデ	
※	※	21	弥生 甕			1~5mm程度の小石が混じる 砂粒を含む	黄褐色	やや不良	ナデ	ハケ目	不明	

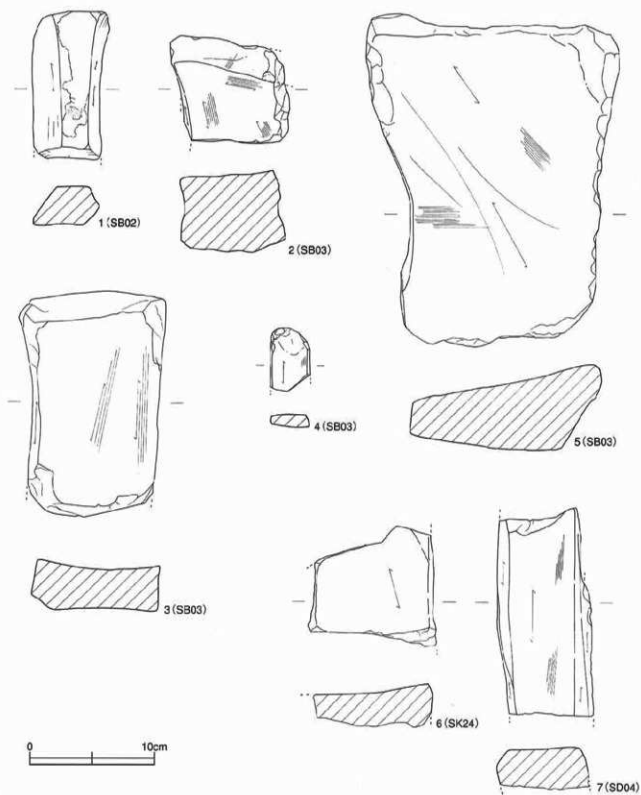
表 18 SE01 出土土器観察表

採図 番号	出土 遺構	遺物 番号	器 種	口径 (cm)	器底 (cm)	胎 土	色 調	焼成	調 整		備 考
									外 面	内 面	
第66図	SK48	1	土玉	2.2	2.2			やや不良			
※	SD01	2	土玉	2	2			やや不良			
※	SK30	3	投弾	3.9	2.3	砂粒を含む	淡褐色	普通			土製
※	SD02	4	投弾	4	2.2	1~4mm程度の小石が混じる 砂粒を含む	淡黄灰褐色	普通			土製
※	SK04	5	支脚		5.5	1~4mm程度の小石が混じる 砂粒を含む	茶褐色	普通	ナデ		
※	SK18	6	支脚			砂粒を含む	暗黄茶褐色	普通			
※	SK37	7	支脚			1~3mm程度の小石が混じる 砂粒を含む	黄褐色	普通			突穴
※	SD02	8	支脚			砂粒を含む	淡黄茶褐色	普通			

表 19 SK04・18・30・37・48、SD01・02 出土土製品観察表

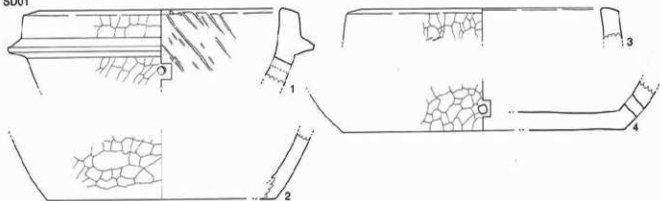
採図 番号	出土 遺構	遺物 番号	器 種	長さ (cm)	厚さ (cm)	岩 質	色 調	備 考
第67図	SB03	1	石 刻	13.6	0.9			
※	SK29	2	石 皿	3.7	0.4	サヌカイト		下部欠損
※	SK18	3	石 皿	2	0.4	黒曜石		上部欠損
※	P7	4	石 皿	1.7	0.3	黒曜石		
※	SK10	5	石 匙	4.9	0.8	サヌカイト		
※	SK21	6	石 泡丁			片岩		
※	SK40	7	石 泡丁			片岩		
※	SD02	8	石 泡丁			片岩		
※	SD01	9	石 泡丁			片岩		未製品
※	SD05	10	石 泡丁			片岩		
※	SB03	11	紡錘車	5.1	0.6	片岩		
※	SB03	12	紡錘車	4.2	0.5	片岩		
※	SB03	13	紡錘車	5	0.7	片岩		未製品
※	SK04	14	紡錘車	4.2	0.5	片岩		

表 20 SB03、SK04・10・18・21・29・40、SD01・02・05、ピット 出土石製品観察表

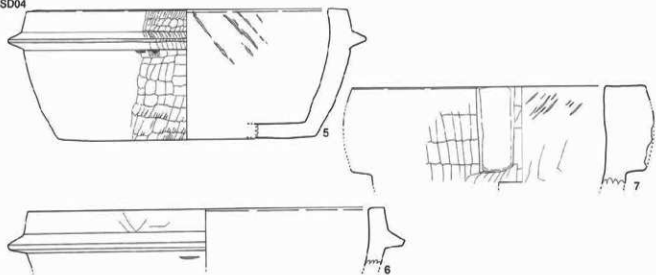


第68図 竪穴住居 (SB02・03) 土壙 (SK24) 溝 (SD04) 出土石製品実測図 [1/3]

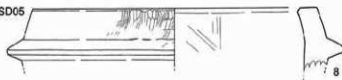
SD01



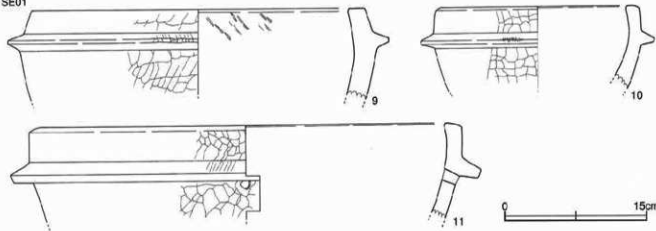
SD04



SD05

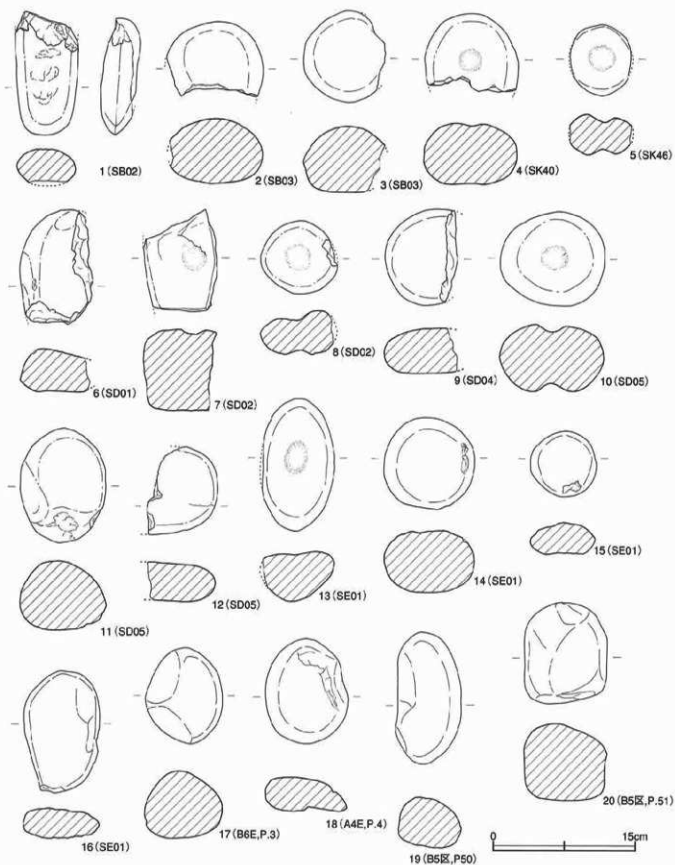


SE01



0 15cm

第69図 溝 (SD01・04・05) 井戸 (SE01) 出土石製品実測図 [1/4]



第70図 竪穴住居 (SB02・03) 土壌 (SK40・46) 溝 (SD01・02・04・05)
井戸 (SE01) ビット 出土石製品実測図 [1/4]

挿入 番号	出土 遺構	遺物 番号	器 種	長さ (cm)	厚さ (cm)	岩 質	色 調	備 考
第68図	SB02	1	砥石	11.7	3	片岩		
＊	SB03	2	砥石	8.5	6	安山岩		
＊	SB03	3	砥石	18	3.5	砂岩		
＊	SB03	4	扁平片刃石斧	5	1	砂岩		
＊	SB03	5	砥石	26	6	砂岩		
＊	SK24	6	砥石	9	3.5	砂岩		一部赤変
＊	SD04	7	砥石	17	3.3	砂岩		

表 21 SB02・03、SK24、SD04 出土石製品観察表

挿入 番号	出土 遺構	遺物 番号	器 種	長さ (cm)	厚さ (cm)	岩 質	色 調	備 考
第69図	SD01	1	石鍋	25.8		滑石	灰黒褐色	
＊	＊	2	石鍋			滑石	黒色	スス付着
＊	＊	3	石鍋	25.2		滑石	暗灰褐色/黒色	
＊	＊	4	石鍋			滑石	黒灰色/暗灰色	スス付着
＊	SD04	5	石鍋	34	13.6	滑石	淡灰色/暗黄黒褐色	スス付着
＊	＊	6	石鍋	34.4		滑石	暗灰色	
＊	＊	7	石鍋	31.2		滑石	淡灰青色一部黒褐色	
＊	SD05	8	石鍋	30		滑石	暗灰褐色	スス付着
＊	SE01	9	石鍋	32		滑石	黒灰褐色	
＊	SE01	10	石鍋	18.8		滑石	暗灰色	スス付着
＊	SE01	11	石鍋	42.2		滑石	灰黒褐色/黒褐色	

表 22 SD01・04・05、SE01 出土石製品観察表

挿入 番号	出土 遺構	遺物 番号	器 種	長さ (cm)	厚さ (cm)	岩 質	色 調	備 考
第70図	SB02	1	大型鉾刃石斧	13	3.5	安山岩		
＊	SB03	2	磨石	7	6.9	安山岩		
＊	SB03	3	磨石	9.7	7	安山岩		
＊	SK40	4	くぼみ石	86	6.3	安山岩		
＊	SK46	5	くぼみ石	7.5	4	安山岩		両面くぼみ
＊	SD01	6	台石	12	4.5	安山岩		
＊	SD02	7	くぼみ石	10.5	8.5	安山岩		
＊	SD02	8	くぼみ石	7.8	4.5	安山岩		両面くぼみ
＊	SD04	9	磨石	10	4.8	安山岩		
＊	SD05	10	くぼみ石	10	7	安山岩		両面くぼみ
＊	SD05	11	磨石	12	7.2	安山岩		
＊	SD05	12	磨石	9	4	安山岩		
＊	SE01	13	くぼみ石	14	5	安山岩		
＊	SE01	14	磨石	9.5	6.4	安山岩		
＊	SE01	15	磨石	7	3	安山岩		
＊	SE01	16	磨石	12.7	3.2	安山岩		
＊	P3	17	磨石	10	7	安山岩		
＊	P4	18	磨石	11	3.5	安山岩		
＊	P50	19	磨石	14	5	安山岩		
＊	P51	20	磨石	10.5	8	安山岩		

表 23 SB02・03、SK40・46、SD01・02・04・05、SE01、ビット 出土石製品観察表



第71図 土壌 (SK39)
出土鉄製品実測図 [1/2]

検出 番号	出土 遺構	遺物 番号	器 種	長さ (cm)	厚さ (cm)	岩 質	色 調	備 考
第71図	SK39	1	不明鉄製品	7.5	0.5			断面板状

表 24 SK39 出土鉄製品観察表

4 まとめ

(1) 四丁堀遺跡

四丁堀遺跡は、西山ノ上遺跡から西側に約10m下った台地上にあり、周辺は果樹園としての利用が多い。

調査地点は道路幅約25mと限られているため各遺構の広がりには確認できなかったが、調査の結果、三ヶ所の地点より土壌45基、溝17条、不明遺構4基が発見された。その多くは近代の遺構が多い。わずかに、1地点から発見されたSD01は東西に約70m確認され、さらに東西に延びており、幅3.0-4.5m、深さ70-100cmと大規模な溝である。溝内からの遺物は少ないが土師器、須恵器、陶器が出土しており江戸期のものと思われる。また、2地点から発見されたSD01は東西に約31m確認され、東西に延びており、幅0.7-1.2m、深さ38-56cmの溝で途中二ヶ所直角に折れ曲がっており灌漑のための施設と考えられる。溝内からの遺物は少ないが土師器片、陶器片が出土しており江戸期のものと思われる。

1地点から発見された溝は、当地の小字名の四丁堀を彷彿させるものであり、南側に堀を必要とする大規模な施設の存在が考えられ、この地が江戸期になってようやく開発され始めたものと推察される。

(2) 西山ノ上遺跡

① 縄文時代

今回発見されたのは、わずかに落とし穴と考えられる土壌1基であるが、北側に隣接する西山の上遺跡(1・2次調査)でも多くの落とし穴土壌が発見されており、台地上にも縄文時代人の足跡

が残っている。

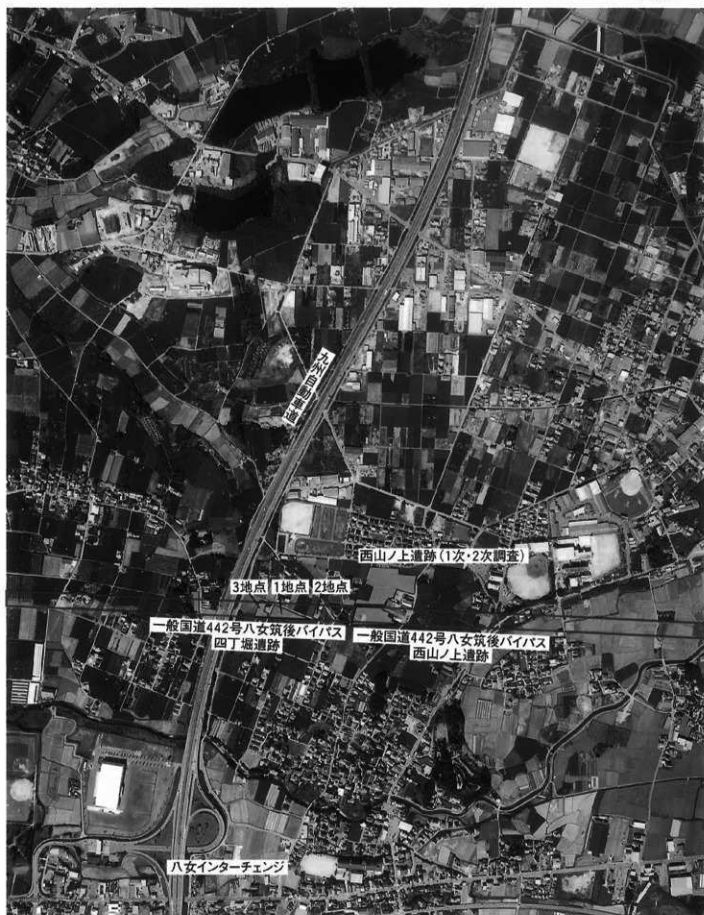
② 弥生時代

今回調査で発見された遺構は、前期後半から中期初めの竪穴住居3軒、土塋38基、後期に属する墳墓5基、環濠1条、と時期不明の多数の柱穴がある。

前期後半から中期初めの遺構の大半は調査区の東側で検出されている。竪穴住居は2基が円形、1基は方形であり、そのうち円形の2軒の住居は隣接し、構造的にも近似しており、同時に存在した可能性が強い。特にSB03は火災を受け焼失しており、柱等の構造が良く残っている。土塋はほぼ単独で分布し比較的小型の土塋が多い。竪穴住居と同時期で土塋同士の切り合いも少ない所から、ほぼ同時に存在していた可能性が強い。

後期の遺構として南北に延びる環濠と、主に環濠外で発見された墳墓がある。環濠は西山ノ上遺跡(1・2次調査)から続くもので40mを調査し、さらに南側に延びることを確認した。しかし、溝の形態等は変わらないが遺物の量が少ない。5基発見された墳墓の内1基を除いて環濠外側に造られているが、これら墳墓群は西山ノ上遺跡(2次調査)によって発見された列状の墳墓群と一群をなすものかどうかは不明である。墳墓の種類も木蓋土塋墓1基、石蓋土塋墓4基で、特に横口式石蓋土塋(SX05)は辻ノ西遺跡(1次調査)等の後期墳墓群からも発見されている。

圖 版



(1) 一般国道442号八女筑後バイパス調査地航空写真 (H.11年撮影)



(1) 一般国道442号八女筑後バイパス四丁堀遺跡 (1地点、3地点) 全景 東から



(2) 一般国道442号八女筑後バイパス四丁堀遺跡 (2地点) 全景 北東から



(1) 四丁堀遺跡1地点西側半分



(3) 1地点SD01



(2) 四丁堀遺跡3地点東側半分



(4) 1地点SD01



(1) 1地点SD02. SX01



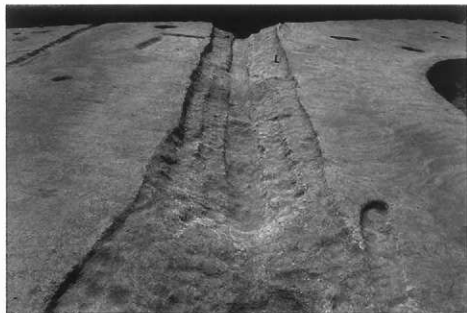
(3) 1地点SD06



(2) 1地点SD03



(4) 1地点SD06



(1) 1地点SD09



(3) 1地点SD10



(2) 1地点SD09



(4) 1地点SD11. 12



(1) 2地点SK02. 03



(3) 2地点SD02



(2) 2地点SD02. SK02. 03



(4) 3地点SD01



(1) 一般国道442号八女筑後バイパス西山ノ上遺跡全景 西から



(1) 一般国道442号八女筑後バイパス西山ノ上遺跡全景 北から



(1) SB02



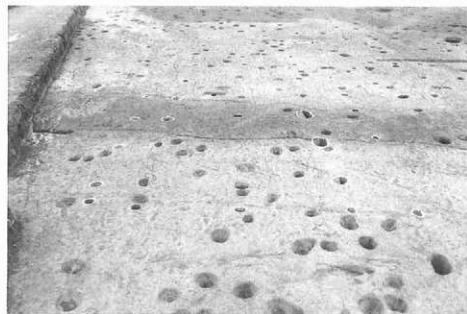
(3) SB03



(2) SB02中央土墳



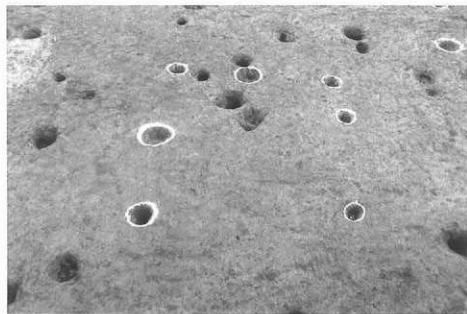
(4) SB07



(1) SB04



(3) SB06



(2) SB05



(4) SB08



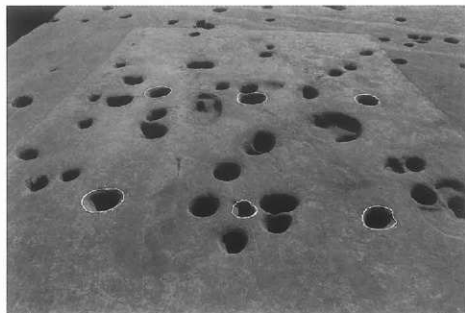
(1) SB09



(3) SB11



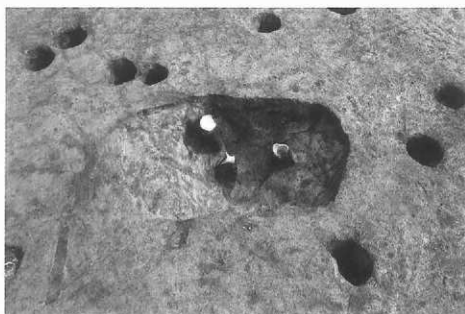
(2) SB10



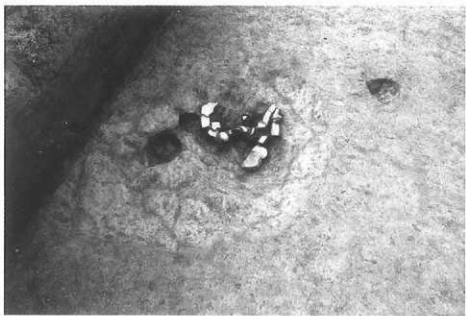
(4) SB12



(1) SK01



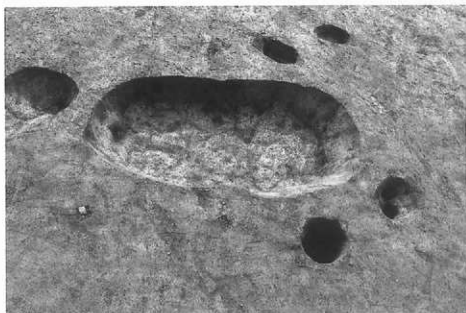
(3) SK03



(2) SK02



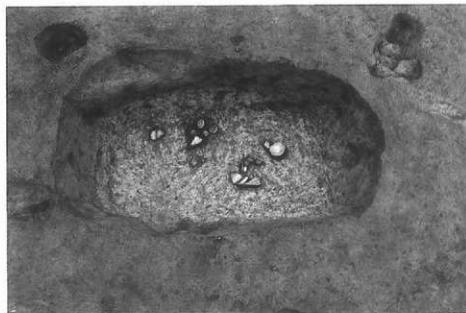
(4) SK04



(1) SK05



(3) SK07



(2) SK06



(4) SK08



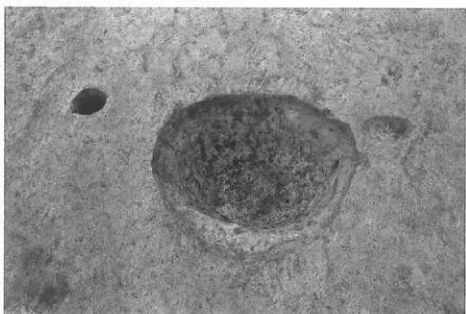
(1) SK09 (奥) SK11 (左) SK16 (右)



(3) SK12 (左) SK13 (右)



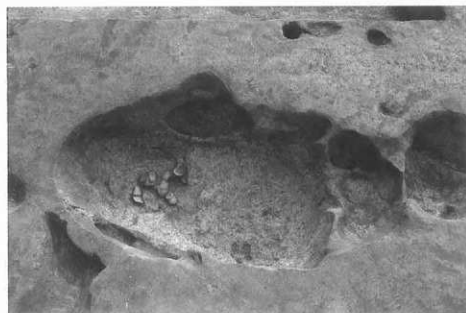
(2) SK10



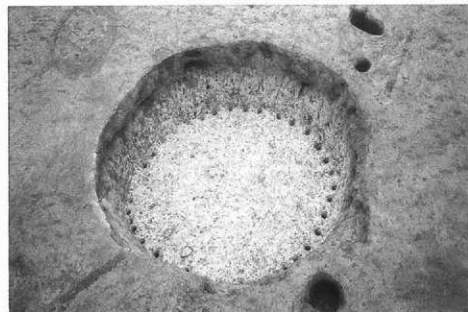
(4) SK14



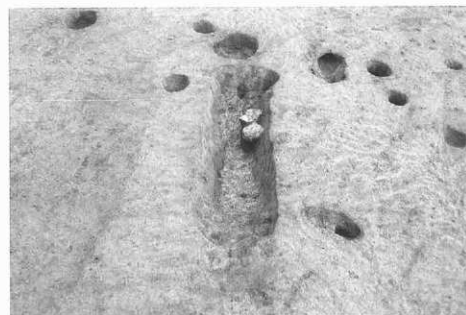
(1) SK15



(3) SK19



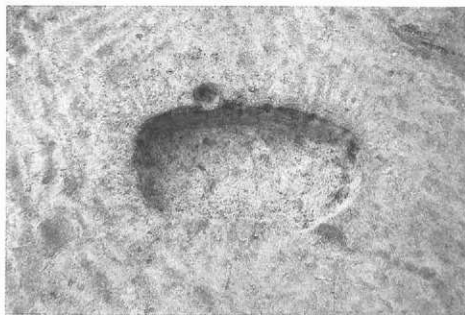
(2) SK18



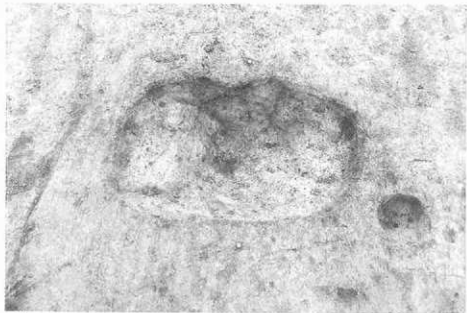
(4) SK20



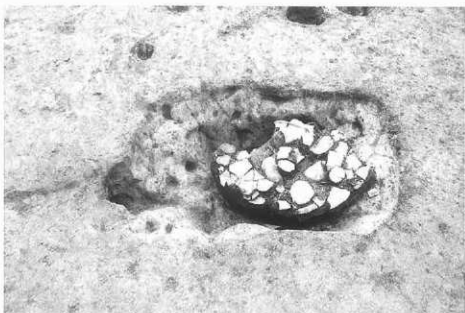
(1) SK21



(3) SK23



(2) SK22



(4) SK24



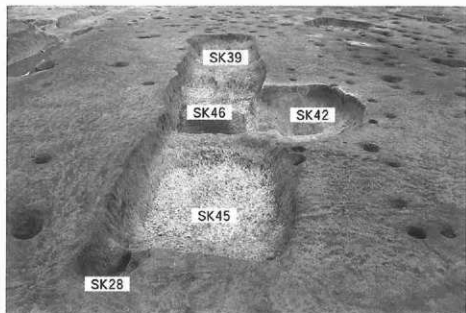
(1) SK25



(3) SK29



(2) SK26



(4) SK28. 39. 42. 45. 46



(1) SK31



(3) SK35



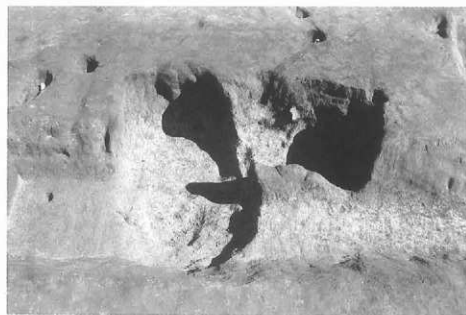
(2) SK33



(4) SK36



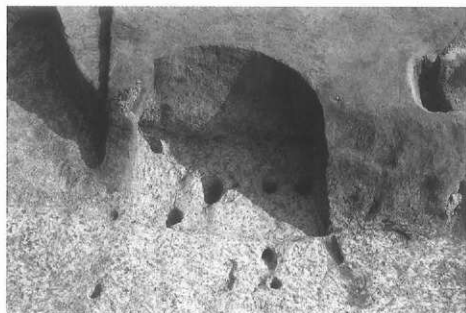
(1) SK37



(3) SK40 (左) SK41 (右)



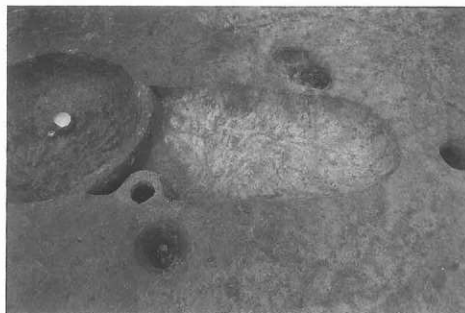
(2) SK38



(4) SK43



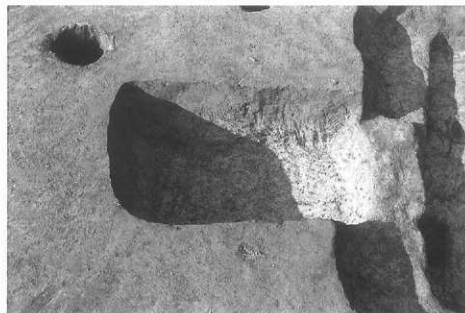
(1) SK44



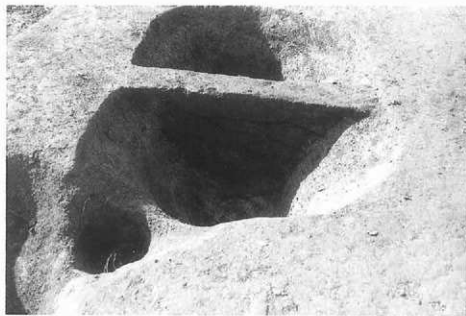
(3) SK48



(2) SK47



(4) SK49



(1) SK50



(3) SD01



(2) SK52



(4) SD02



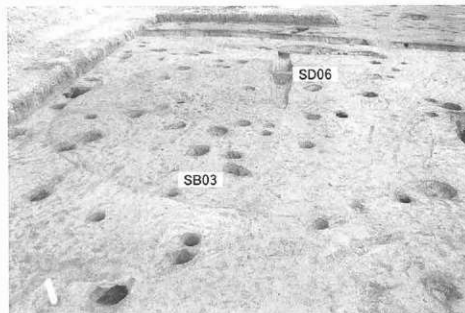
(1) SD03. 04 西から



(3) SD05



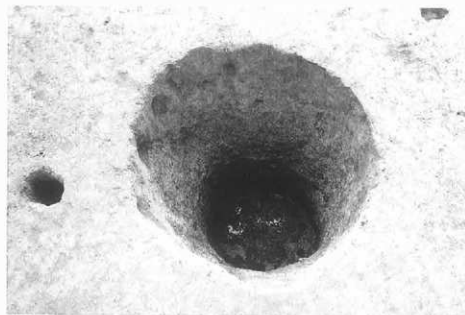
(2) SD03. 04 南東から



(4) SD06



(1) SD07. SA05



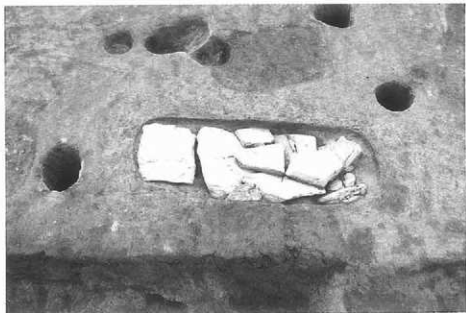
(3) SE01



(2) SD07. SA05



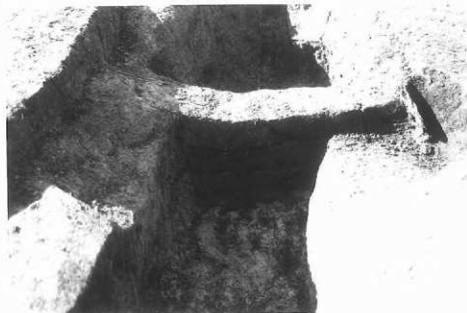
(4) SX01



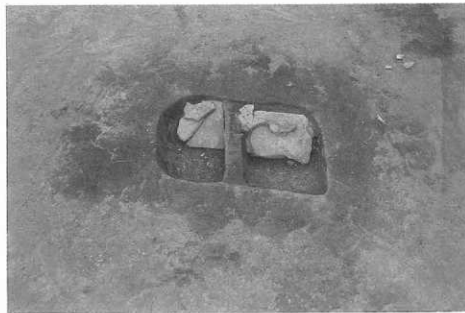
(1) SX02



(3) SX03



(2) SX02



(4) SX05

報告書抄録

ふりがな	いづばんこくどう442ごうやめちくこばいばすまいぞうふんかざいちようさほうこくしよ						
書名	一般国道442号八女筑後バイパス埋蔵文化財調査報告書						
副書名	福岡県八女市大字室岡所在遺跡の調査報告書						
巻次	I						
シリーズ名	八女市文化財調査報告書						
シリーズ番号	第73集						
編著者名	赤崎敏男						
編集機関	八女市教育委員会						
所在地	834-8585 福岡県八女市大字本町647 TEL 0943-23-1982						
発行年月日	西暦 2006年3月31日						
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村 遺跡番号	北緯 ° ' "	東経 ° ' "	調査期間	調査面積	調査原因
ふくおかけん 福岡県 やめし ちちおおか 八女市大字室岡 よんちようぢやう 字四丁堀 やめし ちちおおか 八女市大字室岡 にしやま うん 西山ノ上遺跡	ふくおかけん 福岡県 やめし ちちおおか 八女市大字室岡 よんちようぢやう 字四丁堀 やめし ちちおおか 八女市大字室岡 にしやま うん 西山ノ上遺跡	402109	33°12'45"	130°32'15"	020109~020328	約3,500㎡	道路建設
33°12'45"	130°32'16"	011015~020328	約3,600㎡				
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項		
西丁堀遺跡	集落	中世 ↓ 近世	土塀、溝	土師器 陶器 磁器			
西山ノ上遺跡	集落 墓地 館跡	縄文 弥生・近世 中世	落とし穴土塀 住居跡、土塀、溝 環濠、土塀墓 掘立柱建物、櫓列 土塀 井戸 溝 近世墓	弥生式土器、土製品 石器、鉄器 青磁、白磁、陶器 土師器、瓦器 須恵器、石鏃			

埋藏文化財調査報告書 I

八女市文化財調査報告書

第 73 集

平成18年3月31日

発行 八女市教育委員会
八女市大字本町647
印刷 橋 爪 印 刷
八女市大字吉田1899-1